

美濃加茂市

基礎調査分析報告書

美濃加茂市
令和 6 年 5 月

はじめに

将来のまちづくりの計画書である美濃加茂市第6次総合計画(令和2年度~令和11年度)の前期基本計画の計画期間が令和6年度で終了を迎えることに伴い、令和7年度から令和11年度までの5年間の計画期間とする美濃加茂市第6次総合計画後期基本計画(以下「後期基本計画」という。)を策定する。

この資料は、後期基本計画の策定にあたり、当市の現状、課題、今後の方向性を考える際の検討材料として作成したものである。

「Ⅱ.まちの現況と課題の整理」では、一部のデータについて、類似団体や近隣市等との比較を行っている。なお、類似団体や近隣市等は、当市との位置関係、および総務省による類似団体の分類^{※1}に基づき抽出した。指標によってはデータが無いものがあり、その指標についてはデータが揃っている市のみで比較している。

比較を行った類似団体・近隣市

(岐阜県)	関市
	中津川市
	羽島市
	土岐市
	各務原市
	可児市
(愛知県)	犬山市
	江南市

※1 総務省「都道府県別類似団体区分一覧表」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/ruiji-dantai/index.html

目 次

I. 第6次総合計画政策 KPI の進捗	1
II. まちの現況と課題の整理	5
1. 人口	5
(1) 概要	5
(2) 関連データ	6
① 人口	6
② 世帯	8
③ 人口動態	9
2. 都市基盤	14
(1) 概要	14
(2) 関連データ	14
① 都市空間	15
② 住宅	18
③ 上下水道	20
3. 保健・医療	21
(1) 概要	21
(2) 関連データ	22
① 保健	22
② 医療	25
4. 社会保障・福祉	26
(1) 概要	26
(2) 関連データ	27
① 社会保障	27
② 高齢者福祉	29
③ 障がい者福祉	31
5. 子育て・教育	32
(1) 概要	32
(2) 関連データ	33
① 子育て	33
② 教育	35
6. 文化・スポーツ	37
(1) 概要	37
(2) 関連データ	38
① 文化	38
② スポーツ	40

7. 市民協働.....	42
(1) 概要	42
(2) 関連データ	43
① 市民協働	43
② 広報活動	44
③ 女性活躍	45
④ 多文化共生	47
⑤ 交通	48
8. 産業振興.....	50
(1) 概要	50
(2) 関連データ	51
① 農業	51
② 商工業	53
③ 観光・交流	57
④ 雇用	58
9. 環境	59
(1) 概要	59
(2) 関連データ	60
① 環境	60
② 気候変動	61
10. 防災・防犯.....	62
(1) 概要	62
(2) 関連データ	63
① 防災・救急	63
② 防犯・交通安全	67
③ 消費生活相談	68
11. 行財政	69
(1) 概要	69
(2) 関連データ	70
① 財政	70
② 行政運営	74
III. アンケートの分析	75
(1) アンケートの概要	75
(2) 結果の概要	76
① まちづくりの意識と取り組みについて	76
② 満足度指数・重要度指数	77
③ 改善度指数	80
④ その他	86

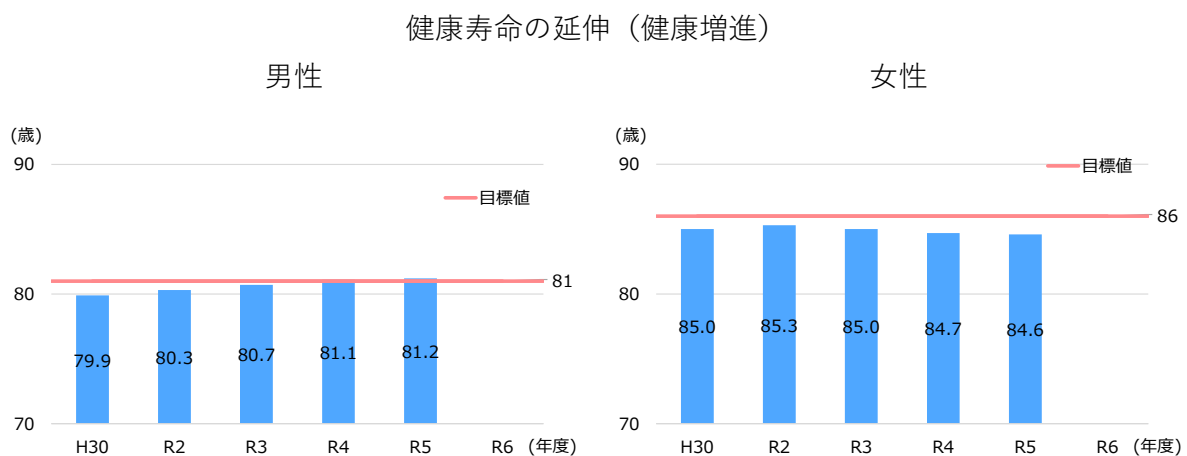
I. 第6次総合計画政策 KPI の進捗

(1) 数値 KPI

男性の健康寿命の延伸は令和4年度時点で目標値の81歳を達成している。また、あい愛バスの利用者数も令和4年度時点で目標値の12万人を上回り、その後も増加基調を維持している。

1人当たりの市内総生産額は、令和2年度に目標値の4,100千円を達成したものの、翌年度以降はやや下回っている。また、外国人市民の高校進学率は、令和3年度に目標値の97.6%を達成したものの、翌年度からは低下傾向となっている。

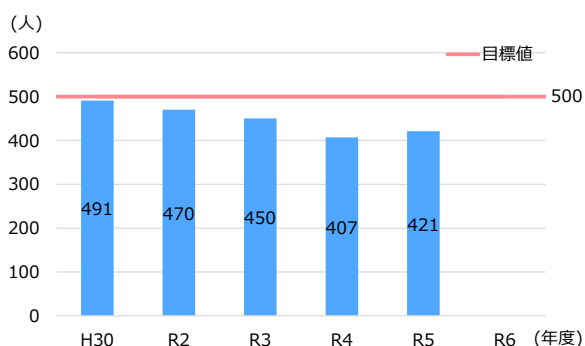
女性の健康寿命の延伸、生まれる赤ちゃんの人数、自主防災組織率は目標値を依然下回っている。



注：健康状態の健康な期間の平均値から算出。

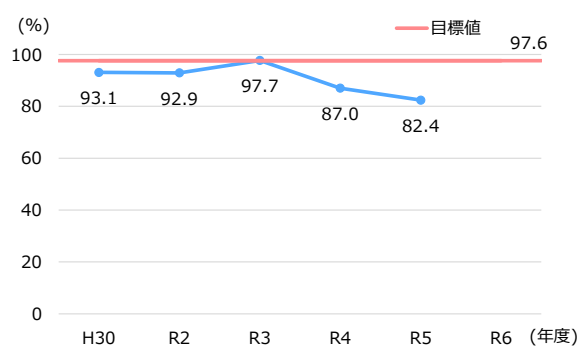
資料：岐阜県健康増進計画第3次ヘルスプランぎふ21（2018～2023年度）

生まれる赤ちゃんの人数（女性若者活躍）



資料：美濃加茂市

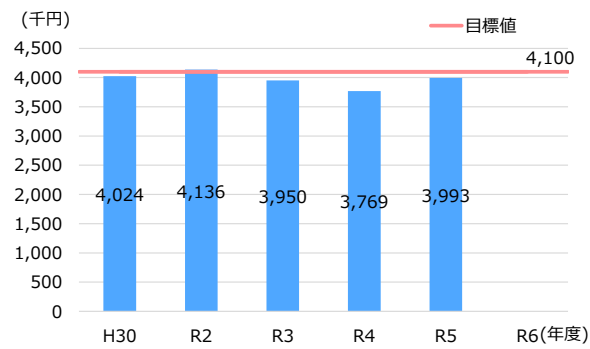
外国人市民の高校進学率（多文化共生）



資料：美濃加茂市

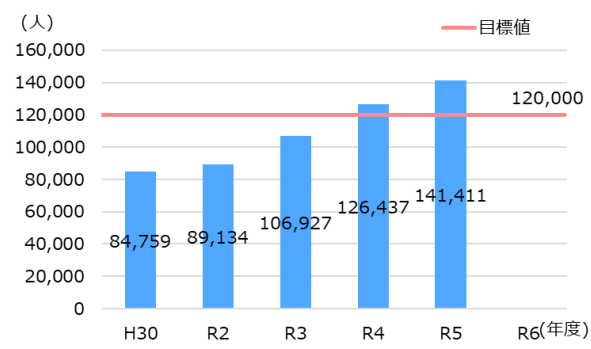
I. 第 6 次総合計画政策 KPI の進捗

1 人当たりの市内総生産額（産業振興）



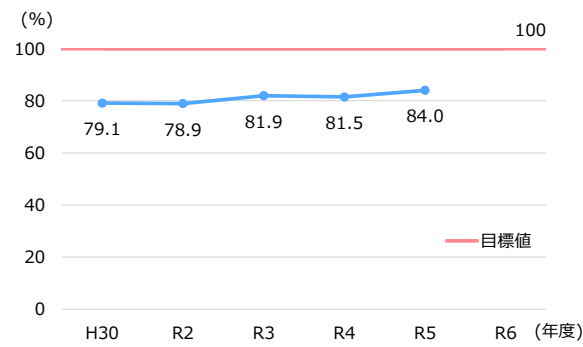
資料：岐阜県「市町村民経済計算」

あい愛バスの利用者数（地域再生）



資料：美濃加茂市

自主防災組織率（防災減災）



資料：美濃加茂市

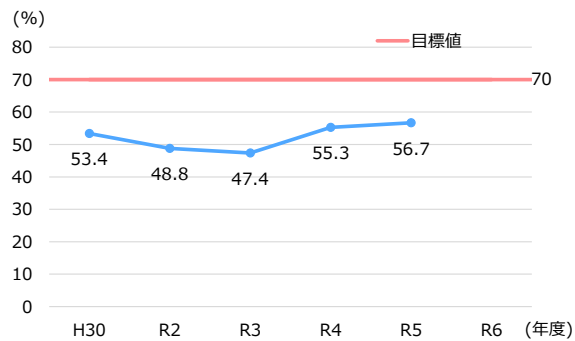
I. 第6次総合計画政策 KPI の進捗

(2) 満足度 KPI

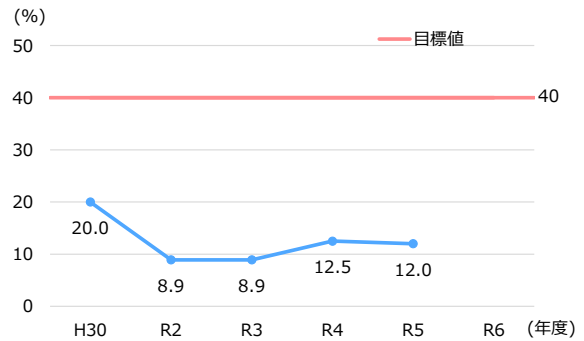
いずれの指標も目標値を下回っており、特に、女性や若者が夢を叶えられるまちだと感じる人の割合、多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合、産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合、災害のための備えができている人の割合は、目標値を大きく下回っている。

一方、健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合や、住みよいまちだと感じる人の割合は、令和4年度から上昇傾向となっている。

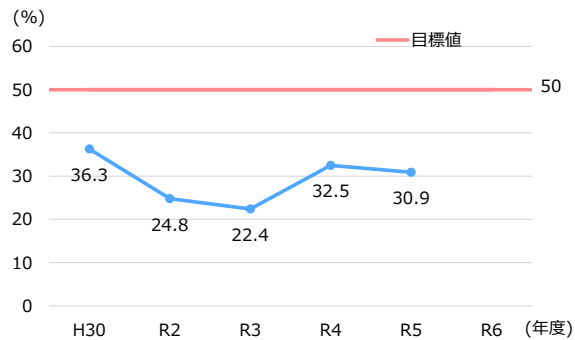
健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合（健康増進）



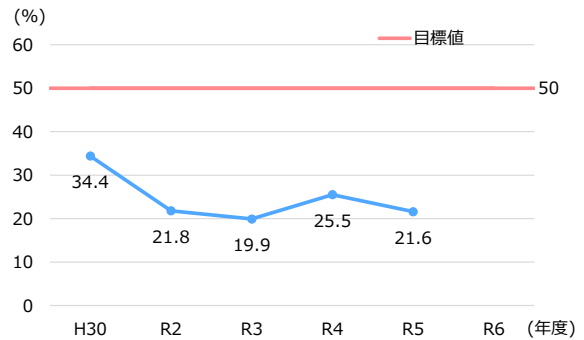
女性や若者が夢を叶えられるまちだと感じる人の割合（女性若者活躍）



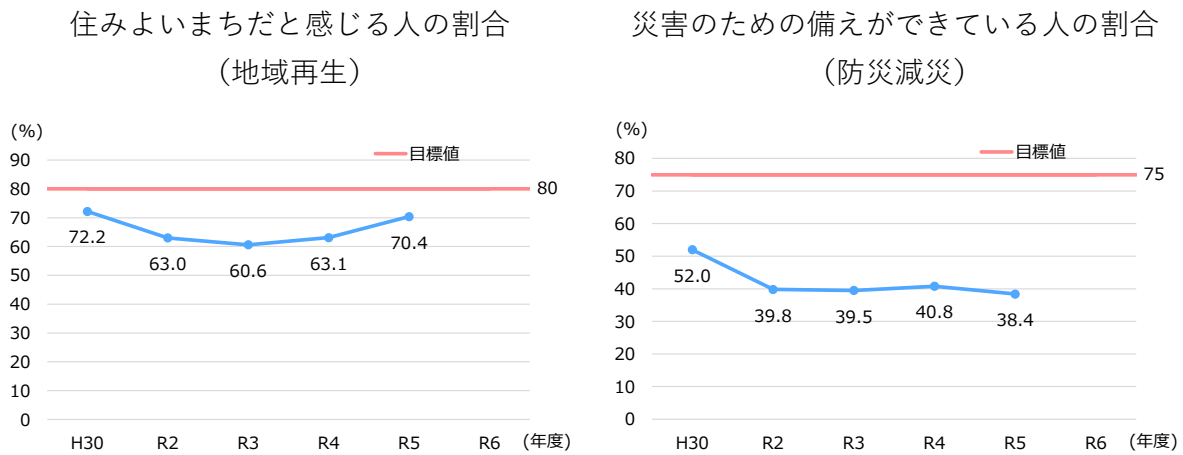
多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合（多文化共生）



産業・観光振興に積極的に取り組んでいると感じる人の割合（産業振興）



I. 第6次総合計画政策 KPI の進捗



資料：美濃加茂市「美濃加茂市 市民満足度調査」

II. まちの現況と課題の整理

各分野の関連データおよび課題等をまとめた。

「2.都市基盤」以降の「(1) 概要」における「②満足度・重要度の評定と改善度指数」は、令和6年2月から3月にかけて実施した「未来のまちづくりアンケート」の回答結果に基づき算出・評定したものである。詳細は「III.アンケートの分析」を参照されたい。

1. 人口

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

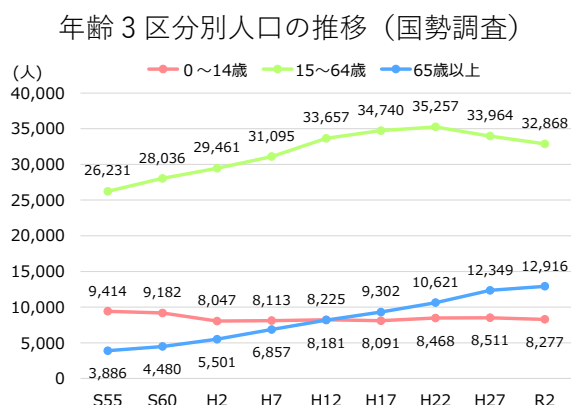
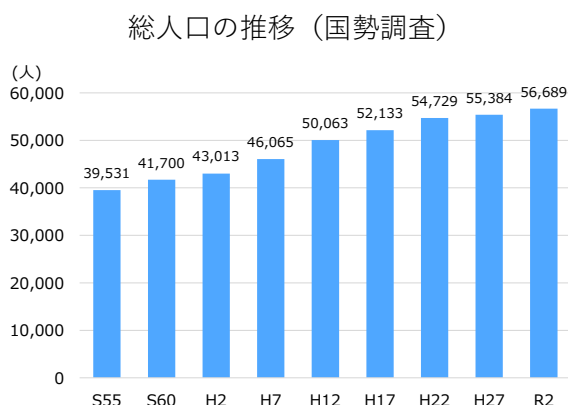
強み	● 総人口が増加傾向にある。 ● 0-14 歳人口と 15-64 歳人口の割合が県平均より高く、生産年齢人口が比較的多い。 ● 合計特殊出生率が 1.49 と全国・県平均を上回る水準にある。
弱み（課題）	● 65 歳以上人口が増加傾向にあり、将来的な高齢化の進行が見込まれる。 ● 単独世帯の割合が 2 割を超え、世帯の小規模化が進んでいる。 ● 自然減が続いており、今後の人口減少が懸念される。 ● 婚姻数が減少傾向にある。
取り組みの方向性	● 子どもや子育て家庭への支援を充実させる。 ● UIJ ターンの促進や移住促進策を検討する。 ● 高齢者福祉サービスの充実や介護人材の確保などに取り組む。 ● 結婚支援の取り組みを強化する。 ● 人口構造の変化を見据えた施策の立案や、地域コミュニティの維持に努める。

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 1. 人口

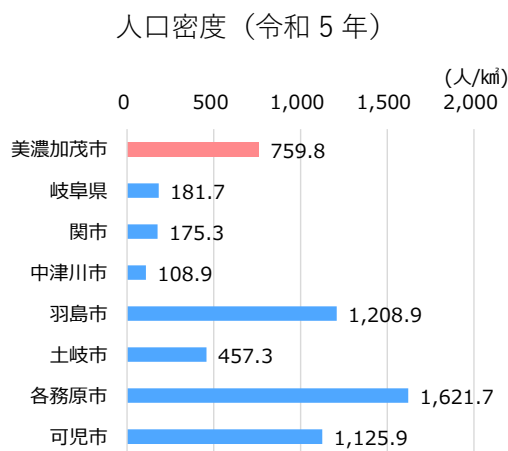
(2) 関連データ

① 人口

- 人口は増加傾向にあり、令和2年は56,689人となっている。
- 年齢3区分別人口は、0～14歳人口は緩やかな減少傾向、15～64歳人口は平成22年をピークに減少傾向となっている。65歳以上人口は増加傾向となっている。
- 人口密度は759.8人/km²となっている。



資料：総務省「国勢調査」

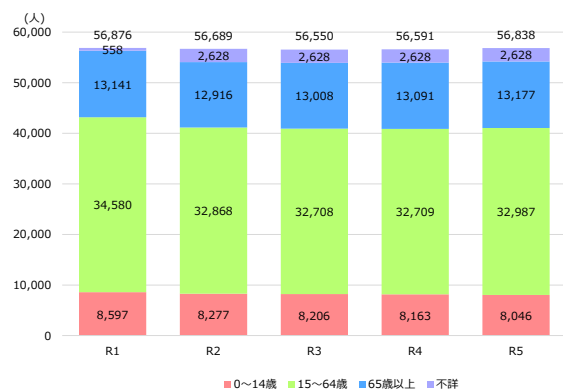


資料：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査結果」

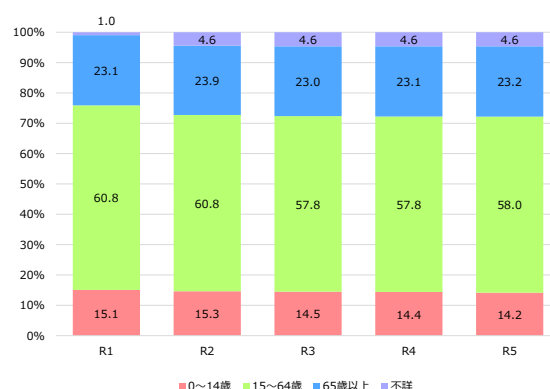
II. まちの現況と課題の整理 1. 人口

- 人口は令和 5 年 10 月 1 日現在で 56,838 人となっている。
- 年齢 3 区分別人口は、0～14 歳人口が 8,046 人（14.2%）、15～64 歳人口が 32,987 人（58.0%）、65 歳以上人口が 13,177 人（23.2%）となっている。岐阜県と比べると、0～14 歳人口、15～64 歳人口の割合が高く、65 歳以上人口の割合が低くなっている。

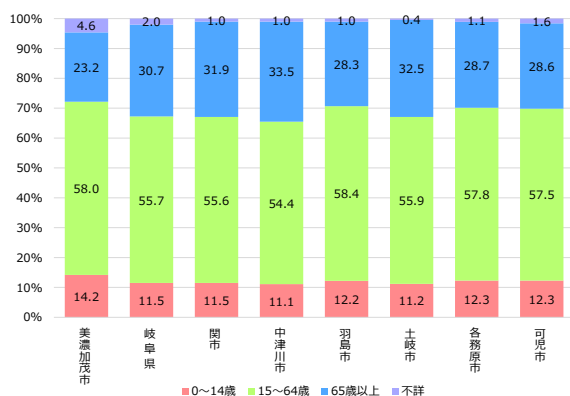
年齢 3 区分別人口の推移



年齢 3 区分別人口（比率）の推移



年齢 3 区分別人口（比率）（令和 5 年）

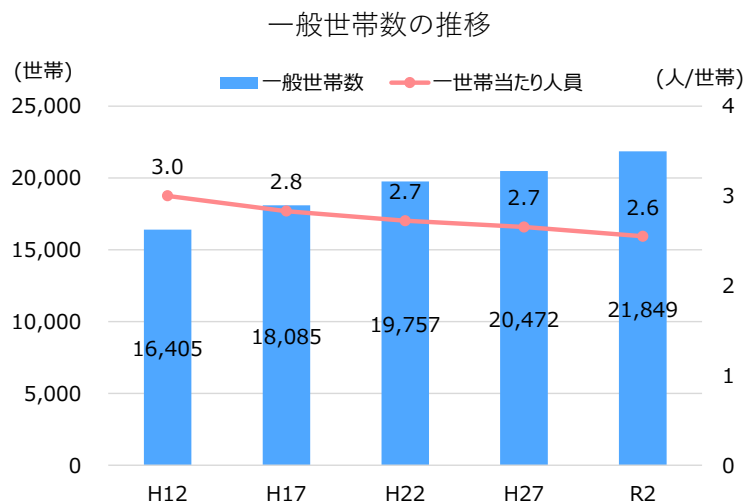


資料：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査結果」

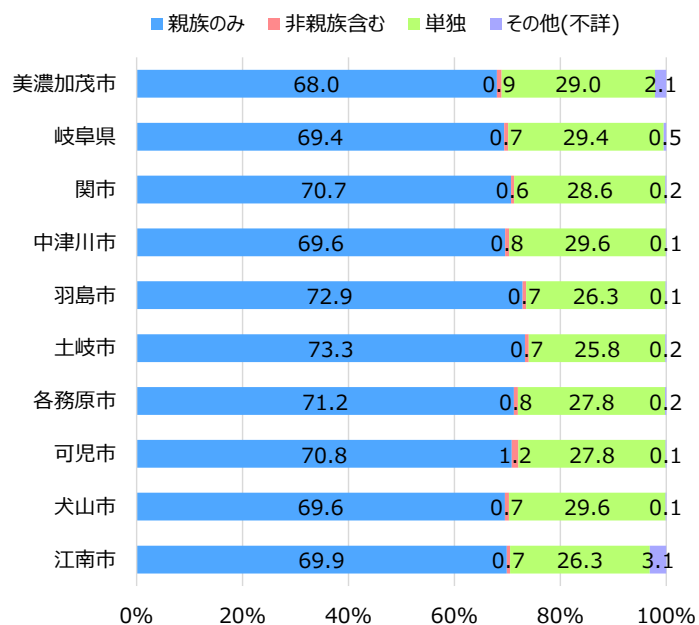
II. まちの現況と課題の整理 1. 人口

② 世帯

- 一般世帯数は増加傾向で、1世帯当たり人員数は減少傾向となっている。
- 家族類型別に一般世帯数の構成比をみると、単独世帯が2割を超えている。



家族類型別一般世帯数（令和2年）

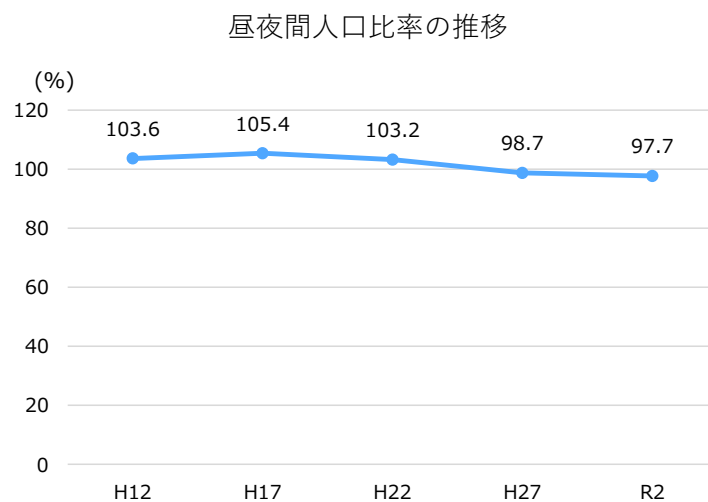


資料：総務省「国勢調査」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 1. 人口

③ 人口動態

- 昼夜間人口比率は平成 27 年以降 100 を下回っており、通勤・通学人口の流出超過となっている。令和 2 年は 97.7%となっている。



資料：総務省「国勢調査」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 1. 人口

- 令和2年の流入、流出の状況を見ると、流出人口が流入人口を上回っている。
- 流入の超過数は、川辺町が580人で最も多く、次いで八百津町が148人、七宗市が142人となっている。
- 流出の超過数は、名古屋市が803人で最も多く、次いで関市が462人、可児市が455人となっている。

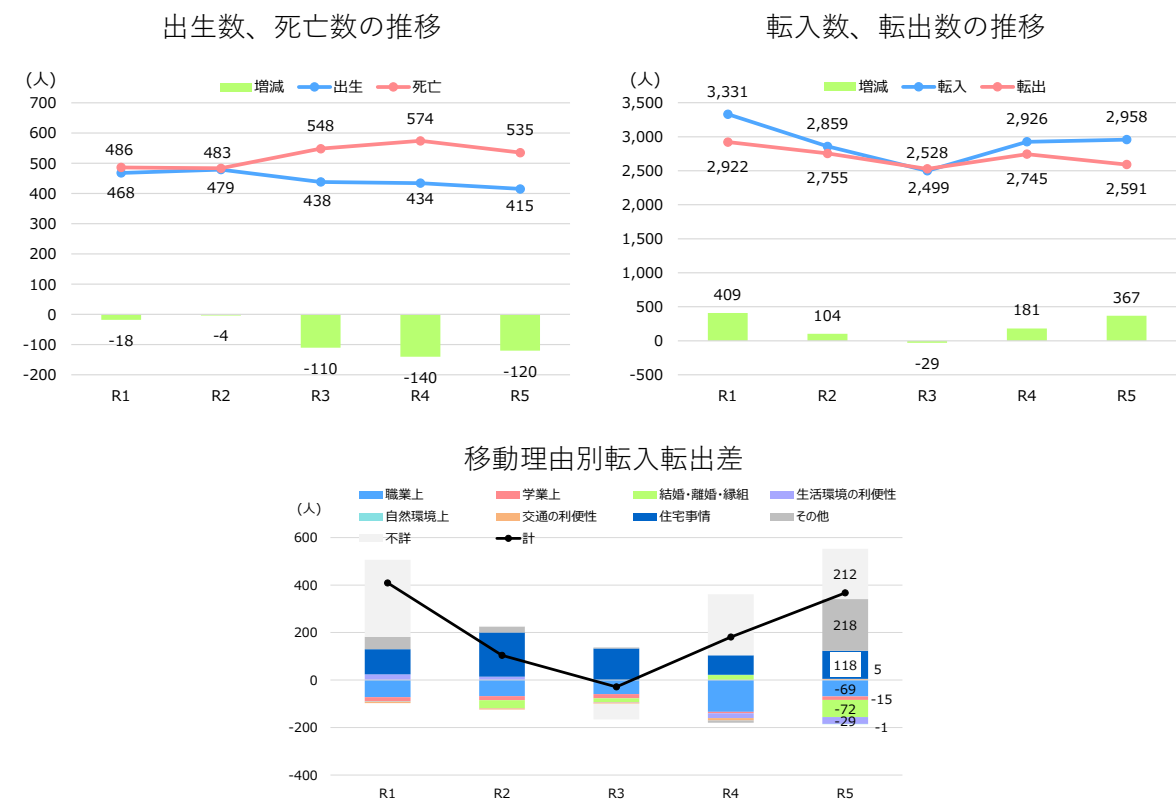
流入、流出の状況（令和2年）

流入元・流出先	流入			流出			流入-流出 超過数
	就業者	通学者	流入人口	就業者	通学者	流出人口	
岐阜県	11,780	1,513	13,293	12,221	978	13,199	94
岐阜市	769	23	792	702	196	898	-106
大垣市	49	5	54	47	14	61	-7
高山市	11	1	12	11	-	11	1
多治見市	491	83	574	543	41	584	-10
関市	1,649	142	1,791	2,002	251	2,253	-462
中津川市	32	5	37	41	-	41	-4
美濃市	242	22	264	217	8	225	39
瑞浪市	68	8	76	54	22	76	-
羽島市	50	1	51	20	7	27	24
恵那市	21	5	26	47	-	47	-21
土岐市	135	9	144	229	4	233	-89
各務原市	979	83	1,062	962	49	1,011	51
可児市	3,039	500	3,539	3,782	212	3,994	-455
山県市	64	2	66	30	-	30	36
瑞穂市	42	2	44	16	11	27	17
飛騨市	1	1	2	-	-	-	2
本巣市	27	3	30	7	6	13	17
郡上市	73	11	84	42	1	43	41
下呂市	92	43	135	64	2	66	69
海津市	3	-	3	2	-	2	1
岐南町	45	1	46	45	5	50	-4
笠松町	24	-	24	11	2	13	11
坂祝町	745	60	805	776	11	787	18
富加町	455	37	492	632	10	642	-150
川辺町	1,064	127	1,191	611	-	611	580
七宗町	249	38	287	145	-	145	142
八百津町	584	87	671	495	28	523	148
白川町	174	69	243	140	-	140	103
東白川村	36	24	60	17	-	17	43
御嵩町	521	116	637	511	94	605	32
その他の市町村	46	5	51	20	4	24	27
愛知県	1,457	59	1,516	2,558	390	2,948	-1,432
名古屋市	191	9	200	750	253	1,003	-803
一宮市	120	1	121	67	2	69	52
春日井市	116	8	124	152	34	186	-62
犬山市	370	13	383	510	5	515	-132
江南市	155	5	160	87	10	97	63
小牧市	98	13	111	407	4	411	-300
大口町	84	-	84	195	1	196	-112
扶桑町	120	4	124	71	6	77	47
その他の市町村	203	6	209	319	75	394	-185
その他の県	69	8	77	77	32	109	-32
計	13,306	1,580	14,886	14,856	1,400	16,256	-1,370

資料：総務省「国勢調査」

II. まちの現況と課題の整理 1. 人口

- 令和3年以降、死亡数が出生数を大きく上回っており、令和5年10月1日現在で、出生数は415人、死亡数は535人と、20人の自然減となっている。
- 概ね転入超過傾向となっており、令和5年10月1日現在で、転入数は2,958人、転出数は2,591人と、367人の社会増となっている。
- 移動理由別にみると、転入理由としては「住宅事情」が118人で最も多く、転出理由としては「結婚・離婚・縁組」が72人で最も多くなっている。
- 転入の超過数は可児市が最も多く、次いで七宗町、白川町となっている。転出の超過数は名古屋市が最も多く、次いで東京都、京都府となっている。



資料：岐阜県「岐阜県人口動態統計調査結果」

転入出の状況（令和2年）

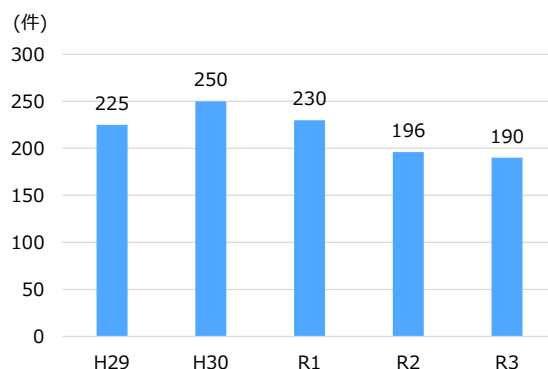
転入超過 上位10地域 (人)				転出超過 上位10地域 (人)			
	転入	転出	転入-転出		転入	転出	転入-転出
可児市	999	671	328	名古屋市	254	330	-76
七宗町	114	8	106	東京都	91	131	-40
白川町	111	29	82	京都府	22	62	-40
八百津町	110	43	67	富加町	115	146	-31
郡上市	75	18	57	神奈川県	47	75	-28
関市	383	331	52	埼玉県	29	55	-26
下呂市	91	39	52	坂祝町	194	216	-22
多治見市	166	116	50	豊田市	30	51	-21
土岐市	66	18	48	長野県	42	62	-20
東白川村	42	4	38	静岡県	103	123	-20

資料：総務省「国勢調査」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 1. 人口

- 婚姻数は令和元年から減少傾向にあり、令和3年には190件となっている。
- 令和2年の未婚率は、男性が30.9%、女性が21.1%となっている。年齢階級別にみると、男女ともに40～44歳、45～49歳の上昇が特に大きくなっている。

婚姻数の推移



資料：岐阜県「岐阜県統計書」

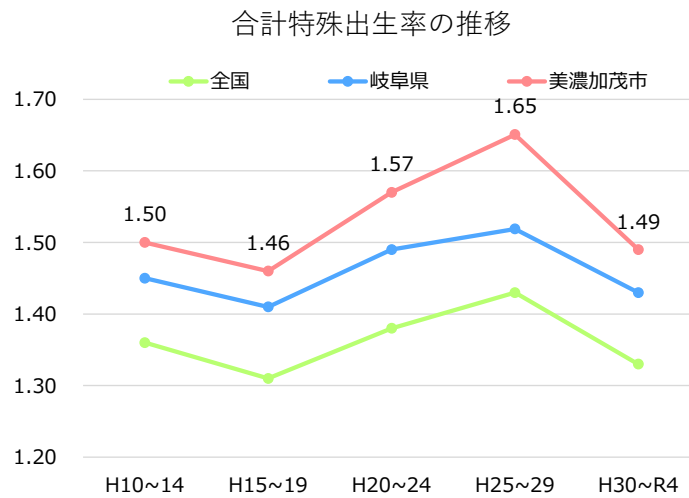
未婚率（15歳以上）の推移

男性 (%)						女性 (%)					
	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)		H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
全体	30.1	31.0	30.4	30.0	30.9	全体	21.8	21.7	21.1	20.9	21.1
15～19歳	99.5	99.2	99.5	99.3	-	15～19歳	97.5	97.5	99.1	98.7	-
20～24歳	86.0	89.3	89.1	91.7	93.2	20～24歳	80.1	81.1	83.5	86.5	89.2
25～29歳	60.0	61.9	63.5	64.8	68.4	25～29歳	43.1	48.7	49.5	50.8	53.0
30～34歳	35.4	39.7	38.3	36.8	42.0	30～34歳	16.9	24.1	23.9	23.4	26.0
35～39歳	22.2	25.6	28.9	27.4	27.2	35～39歳	8.1	11.8	15.3	15.9	16.4
40～44歳	14.6	17.9	21.9	23.2	23.3	40～44歳	5.0	6.8	9.5	13.2	13.2
45～49歳	12.5	13.0	17.5	21.6	21.3	45～49歳	3.6	4.2	6.9	8.4	11.3
50～54歳	8.5	10.9	13.2	15.7	-	50～54歳	2.5	3.6	4.6	7.0	8.1
55～59歳	4.6	8.0	11.7	12.1	16.0	55～59歳	2.9	2.4	3.8	4.1	7.1
60～64歳	3.7	4.0	6.5	11.1	12.0	60～64歳	3.6	2.5	2.4	3.4	3.6
65歳以上	1.5	1.8	2.6	3.9	5.6	65歳以上	1.9	2.3	2.1	2.2	2.5

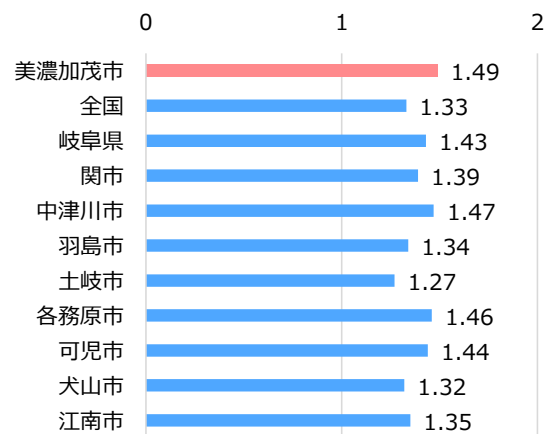
資料：総務省「国勢調査」

II. まちの現況と課題の整理 1. 人口

- 平成 30 年～令和 4 年の合計特殊出生率は 1.49 となっており、全国および岐阜県を上回っている。



合計特殊出生率（平成 30 年～令和 4 年）



資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

2. 都市基盤

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 市域の約 4 割を森林が占め、自然環境が豊かである。 ● 里山の整備に対する満足度が高い。 ● 住宅地の地価が上昇基調にあり、住宅需要が高まっている。 ● 住宅地の整備に対する満足度が高い。 ● 都市公園面積が広く、県平均を大きく上回っている。 ● 持ち家比率が高く、定住意向の強い住民が多い。 ● 上下水道インフラが概ね整備されており、満足度が高い。
弱み（課題）	● 商業地の地価が下落基調にある。 ● 市街地の整備についての改善度指数が高く、即改善が求められる。 ● 市道舗装率は 76.1%と横ばいで推移している。 ● 生活道路の整備についての改善度指数が高い。 ● 空き家率が 16.6%と高水準にある。
取り組みの方向性	● 自然環境の保全や良好な景観形成に向けた取り組みを継続する。 ● 人口集中区域の中心市街地活性化を重点的に推進する。 ● 生活道路の計画的な整備を進める。 ● 空き家対策を強化し、地域の居住環境の向上を図る。 ● 上下水道インフラの適切な維持管理と長寿命化を進める。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①都市空間	22 市街地の整備	2.2	26.8	E	3.8	48.0	C-	10.4	即改善
①都市空間	25 里山の整備	3.2	58.9	B	3.7	46.2	C-	-7.3	取組維持
①都市空間	27 良好な景観の形成	3.1	54.7	C+	3.7	46.8	C-	-5.0	取組維持
①都市空間	28 公園の整備	3.0	51.8	C+	3.9	52.3	C+	0.2	改善検討
①都市空間	29 河川の整備	3.1	53.5	C+	3.7	43.2	D	-6.2	取組維持
①都市空間	30 生活道路の整備	3.0	51.4	C+	4.1	62.2	B	5.3	要改善
①都市空間	31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	2.9	48.2	C-	3.9	54.5	C+	3.6	改善検討
②住宅	26 住宅地の整備	3.1	55.9	B	3.8	50.2	C+	-2.8	取組維持
③上下水道	32 下水道の整備	3.5	68.5	A	4.1	61.0	B	-3.4	取組維持
③上下水道	33 上水道の安全供給	3.6	73.6	A	4.2	67.9	A	-2.6	取組維持

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

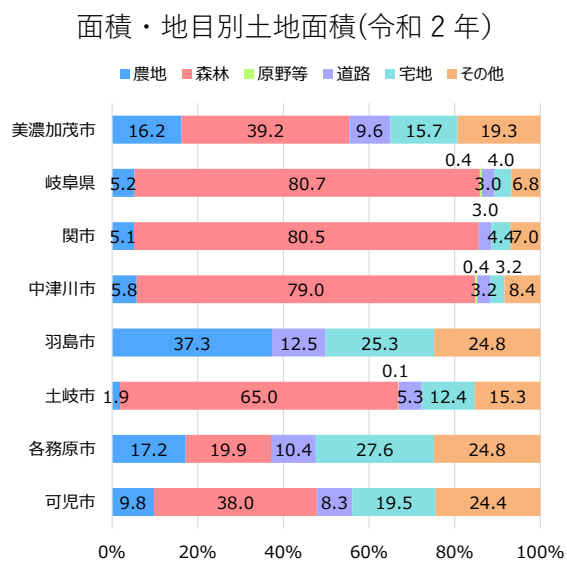
改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

II. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

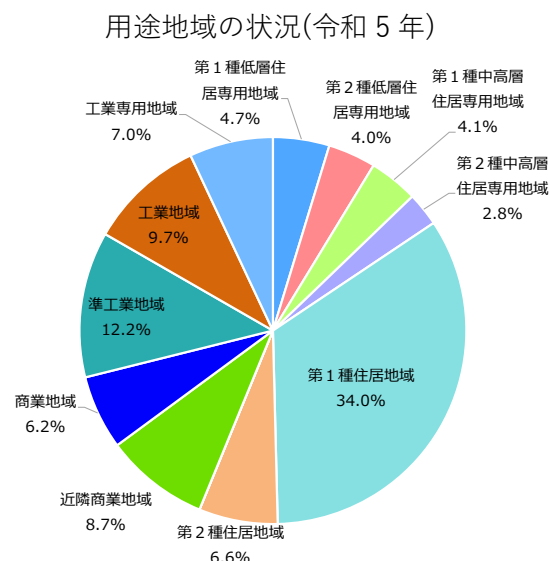
(2) 関連データ

① 都市空間

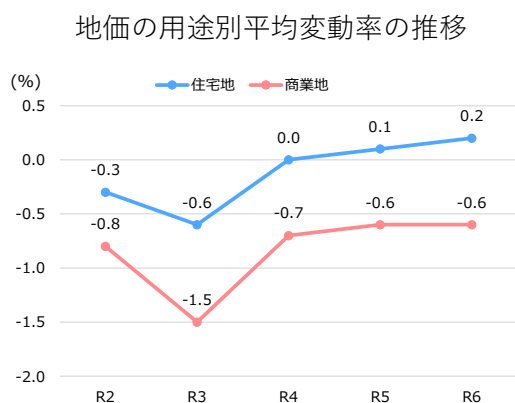
- 地目別土地面積をみると、「森林」が2,929haで総面積（7,481ha）の39.2%を占めている。宅地は1,176haで総面積の15.7%を占めている。
- 用途地域をみると、第1種住居地域が295haで総面積（869ha）の34.0%を占めている。
- 地価の平均変動率をみると、住宅地は令和5年以降プラスで推移している一方、商業地はマイナスで推移している。



資料：岐阜県「岐阜県統計書」



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

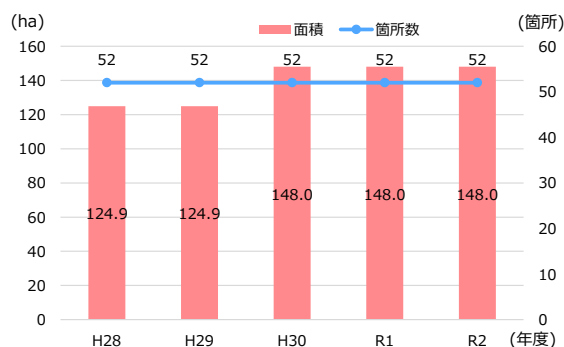


資料：岐阜県ホームページ「地価公示の結果」

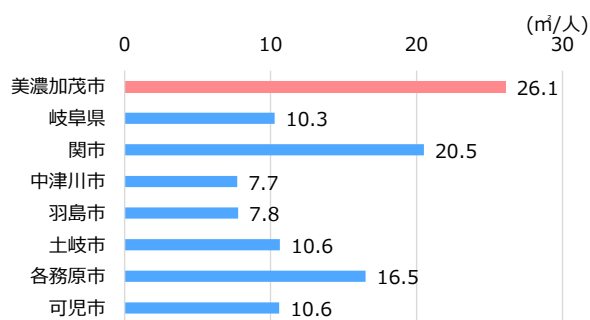
II. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

- 都市公園は 52 箇所、面積は 148.0ha となっている。1 人当たり都市公園面積は 26.1 m² と、岐阜県を大きく上回っている。
- 令和 5 年の道路延長は 742.0 km となっている。
- 市道舗装率は横ばいで推移しており、令和 5 年は 76.1% となっている。
- 令和 5 年の橋梁延長は 3.4 km となっている。

都市公園面積の推移

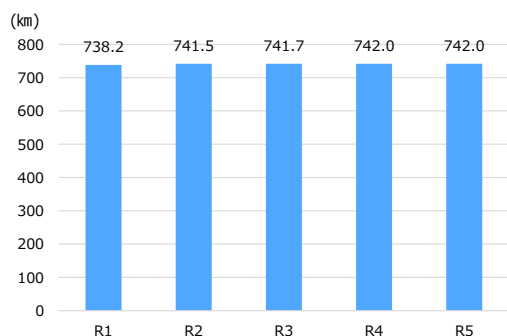


1 人当たり都市公園面積（令和 2 年度）

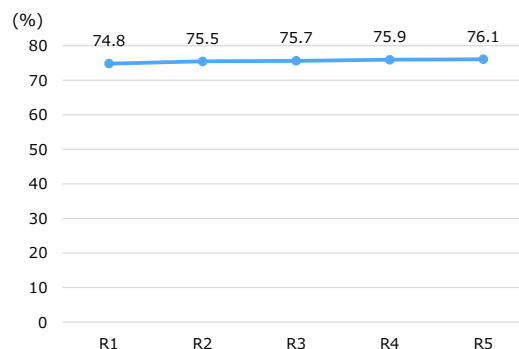


資料：岐阜県「岐阜県統計書」

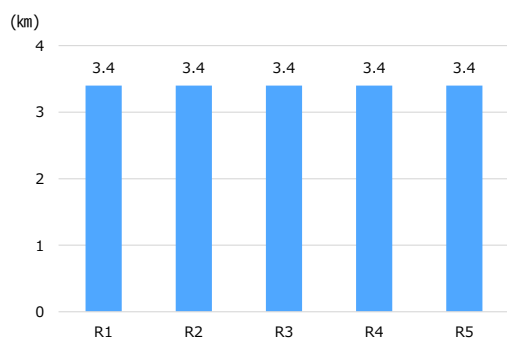
道路延長の推移



市道舗装率の推移



橋梁延長の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

II. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

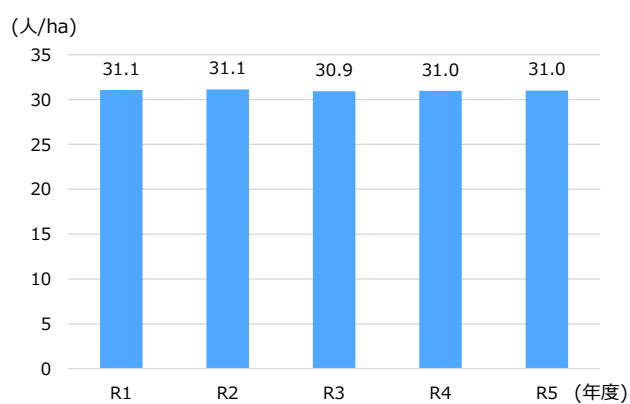
- 令和5年の居住誘導区域内の人口密度は31.0人/haとなっている。
- 美濃太田駅、古井駅周辺に生活利便施設があり便利だと思う人の割合は65.1%となっている。

美濃加茂市立地適正計画 目標指標と目標値

	目標指標	基準値	目標値（2040年度）
「居住誘導」 についての目標	居住誘導区域内の人口密度	29.2人/ha (2040年度推計値28.5人/ha)	29.2人/ha
「都市機能誘導」 についての目標	美濃太田駅、古井駅周辺に生活利便施設（商業施設や医療施設など）があり便利だと思う人の割合	2020年度測定値	2020年度測定値+10%

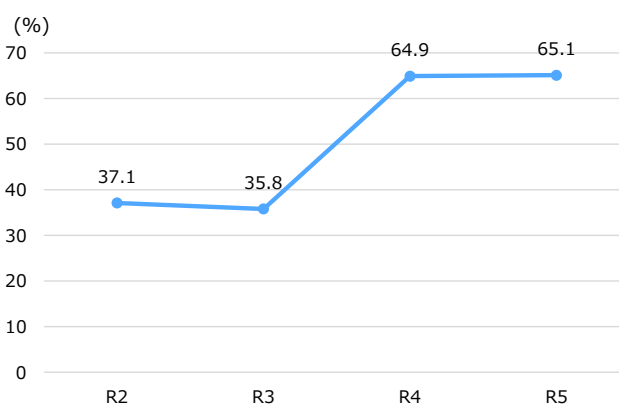
資料：美濃加茂市「美濃加茂市立地適正計画」

居住誘導区域内の人口密度の推移



資料：美濃加茂市

美濃太田駅、古井駅周辺に生活利便施設があり便利だと思う人の割合の推移



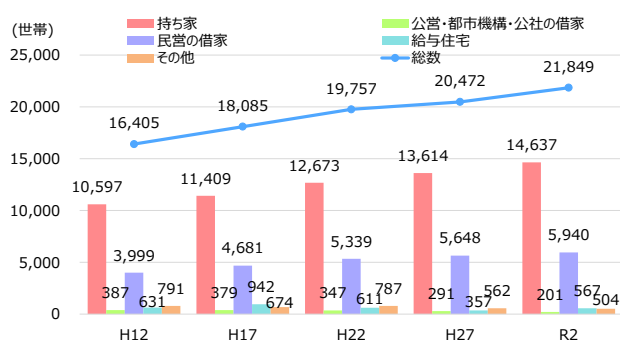
資料：美濃加茂市「美濃加茂市 市民満足度調査」

II. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

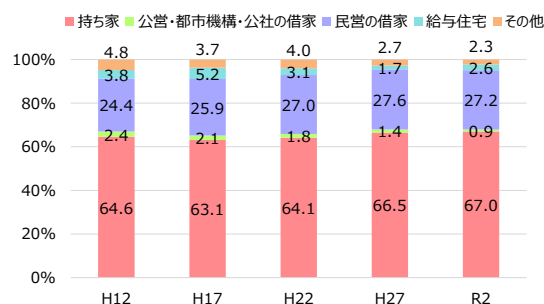
② 住宅

- 一般世帯のうち「持ち家」が14,637世帯（67.0%）で最も多く、増加傾向にある。
- 一般世帯のうち「一戸建」が14,882世帯（68.6%）で最も多く、増加傾向にある。
- 令和2年の居住期間の状況をみると、「20年以上」が28.7%で最も多くなっている。

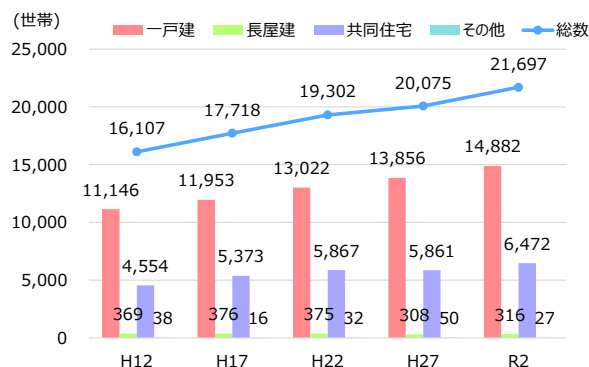
住宅所有関係別一般世帯数の推移



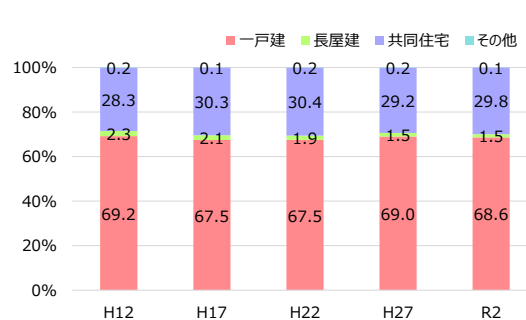
住宅所有関係別一般世帯の比率の推移



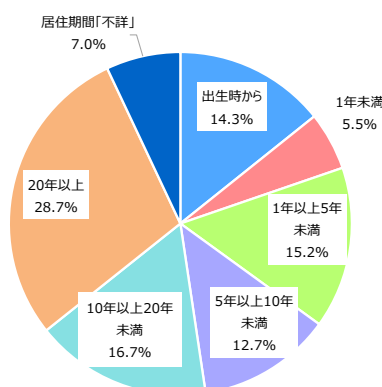
住宅に住む一般世帯における
住宅の建て方別世帯数の推移



住宅に住む一般世帯における
住宅の建て方別世帯の比率の推移



居住期間の状況（令和2年）

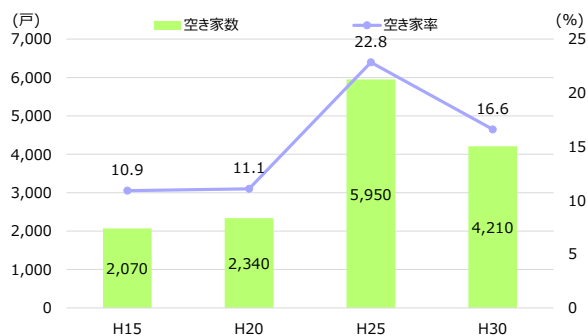


資料：総務省「国勢調査」

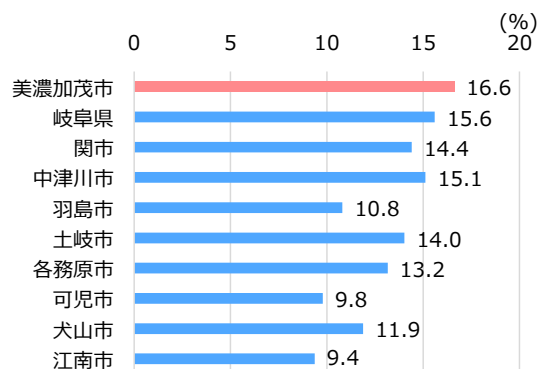
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

- 平成 30 年の空き家率は 16.6%となっており、岐阜県よりやや高くなっている。
- 市営住宅は、令和 5 年 3 月 31 日現在で 257 戸、入居戸数は 206 戸、入居率は 80.2%となっている。

空き家率の推移



空き家率（平成 30 年）



資料：総務省「住宅・土地統計調査」

市営住宅の状況（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	管理 (戸)	空室 (戸)	入居 (戸)	入居率 (%)
相 生	18	—	18	100.0
上 野	24	5	19	79.2
矢 田	18	8	10	55.6
下 町	16	3	13	81.3
平 塚 A	22	2	20	90.9
平 塚 B	16	1	15	93.8
ハイツ矢田 A	24	4	20	83.3
ハイツ矢田 B	24	4	20	83.3
ハイツ矢田 C	24	6	18	75.0
伊 深 A	10	1	9	90.0
伊 深 B	10	3	7	70.0
三和一期	5	—	5	100.0
三和二期	4	3	1	25.0
土ヶ洞	12	2	10	83.3
トドメキ	12	3	9	75.0
森 山	6	2	4	66.7
牧 野	12	4	8	66.7
計	257	51	206	80.2

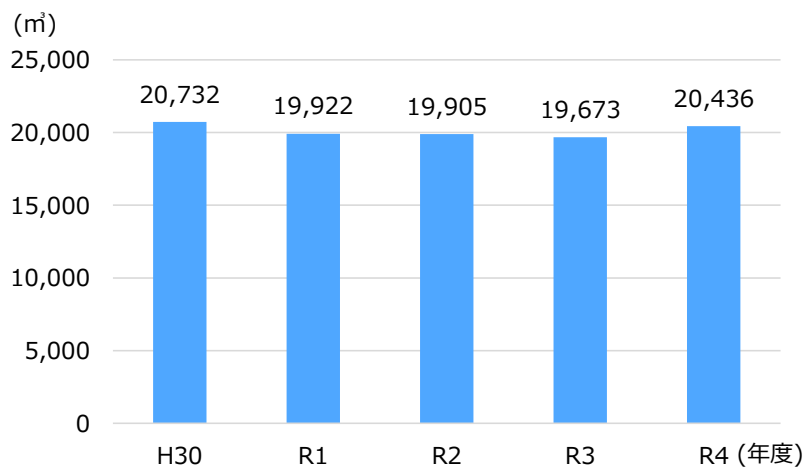
美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 2. 都市基盤

③ 上下水道

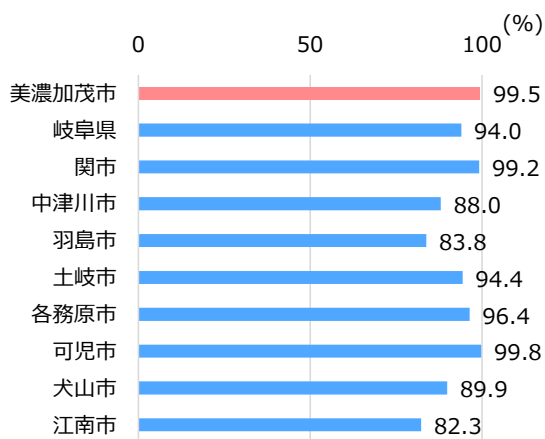
- 令和 4 年度の上水道の 1 日最大配水量は 20,436 m³となっている。
- 令和 4 年度の汚水処理人口普及率は 99.5%となっている。

上水道の 1 日最大配水量の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

汚水処理人口普及率(R4 年度)



資料：環境省、国土交通省、農林水産省「全国市町村別 汚水処理人口普及率一覧（令和 4 年度末）」

3. 保健・医療

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 平均寿命が男女とも県内で高い水準にある。 ● 三大死因の死亡率が県平均を下回っている。 ● 乳幼児健診の受診率が高く、母子保健の取り組みが進んでいる。 ● 医師数が増加傾向にあり、人口1,000人当たりの医師数が県内でも多い。 ● 健康づくりの推進に対する満足度が高い。 ● 医療体制の整備に対する満足度が高い。
弱み（課題）	● がん検診の受診率が低下傾向にあり、がん対策が課題。 ● 特定健康診査の受診率が30%程度と低迷しており、生活習慣病予防が課題。
取り組みの方向性	● がん検診やがん予防の普及啓発を強化し、受診率の向上を図る。 ● 特定健診受診率の向上に向けた取り組みを強化し、生活習慣病予防につなげる。 ● 高齢者の健康寿命の延伸に向けた取り組み強化。介護予防や認知症対策等の推進。 ● 既に高い水準にある母子保健対策を維持・発展させる。 ● 医療提供体制のさらなる充実。特に高齢化を見据えた医療・介護連携の強化。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①保健	1 健康づくりの推進	3.1	59.5	B	4.1	64.9	B	2.5	改善検討
①保健	2 母子保健の推進	3.1	46.4	C-	4.0	48.6	C-	1.0	改善検討
②医療	3 医療体制の整備	3.5	70.1	A	4.4	72.1	A	0.9	改善検討

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

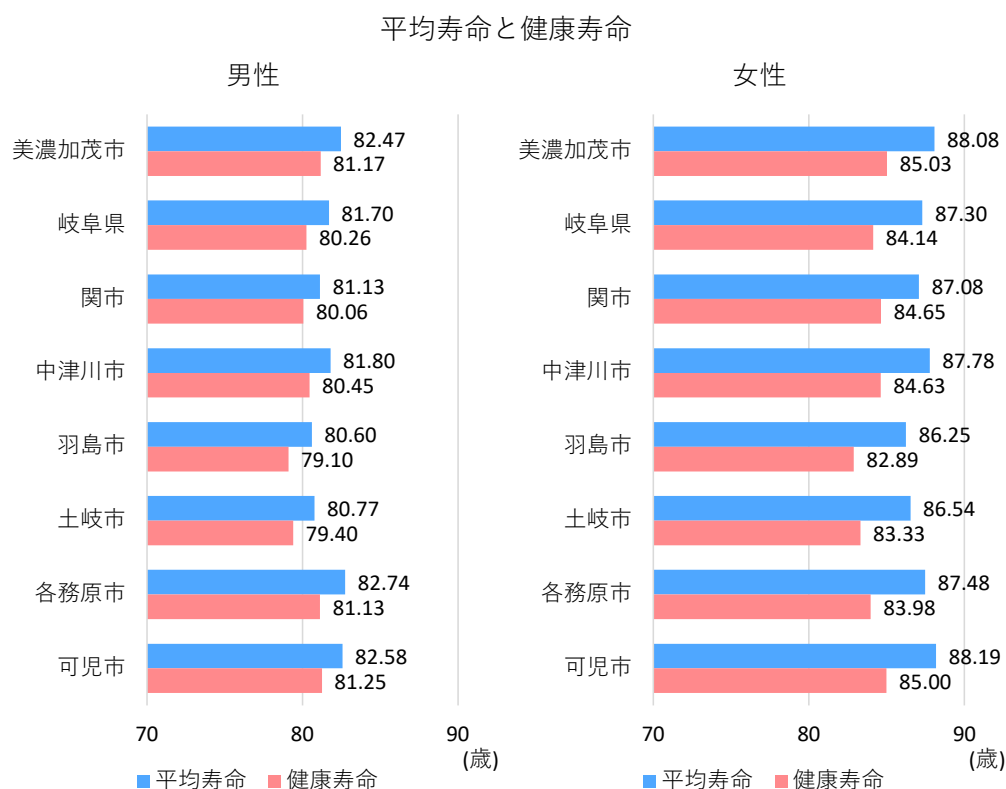
改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

① 保健

- 平均寿命および健康寿命は男女ともに岐阜県を上回っている。男性の平均寿命は 82.47 歳、健康寿命は 81.17 歳となっている。女性の平均寿命は 88.08 歳、健康寿命は 85.03 歳となっている。

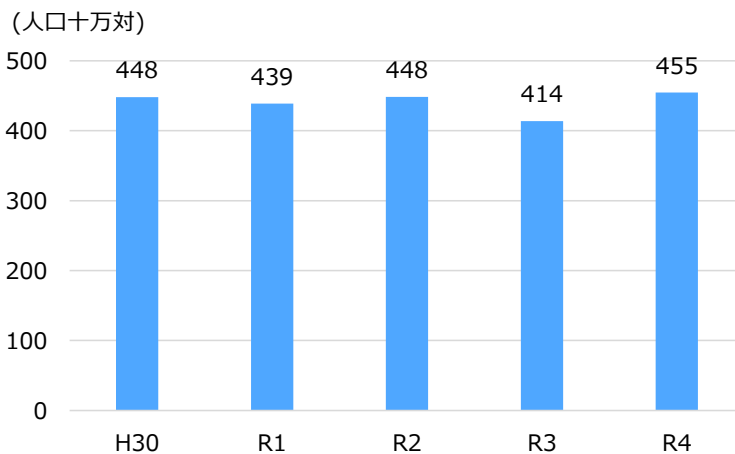


資料：岐阜県「岐阜県健康増進計画 第4次ヘルスプランぎふ21 2024年度～2035年度」

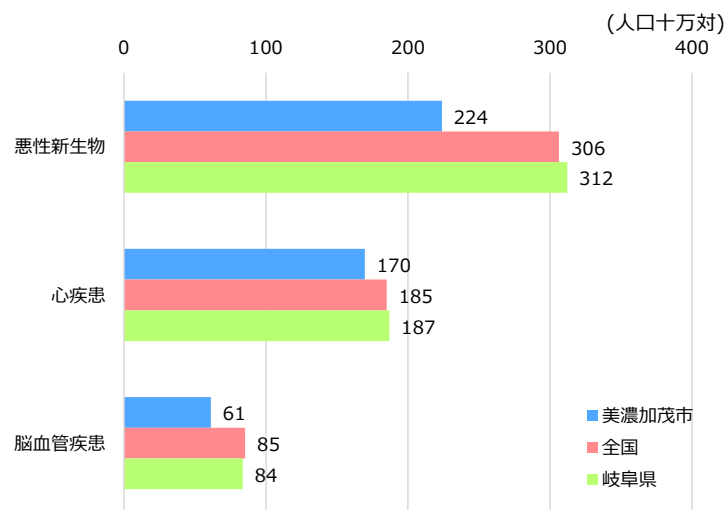
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 3. 保健・医療

- 死因としては「悪性新生物」が最も多くなっている。
- 三大死因の死亡率は、いずれも全国、岐阜県よりも低くなっている。

三大死因による死亡率（人口十萬対）の推移



三大死因による死亡率（人口十萬対）（令和 4 年）



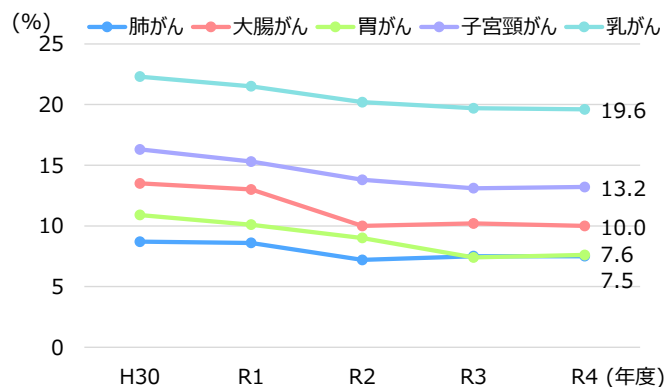
注：死亡率（人口十萬対）＝（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の死亡者数の合計）÷当該年の人口×100,000
 当該年人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口」の人口

資料：厚生労働省「人口動態調査」

II. まちの現況と課題の整理 3. 保健・医療

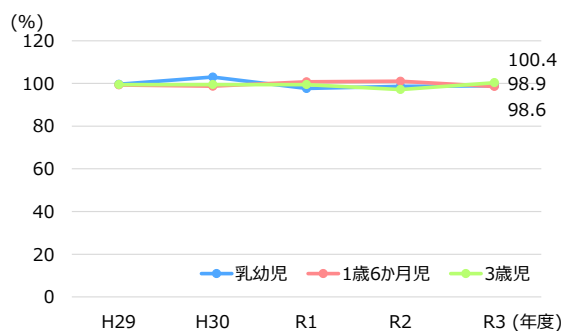
- がん検診受診率は、子宮頸がん、乳がん、胃がんがやや低下傾向にある。
- 乳幼児健診の受診率は、概ね 100%で推移している。
- 特定健康診査の受診率は、30%程度で推移している。

がん検診受診率の推移

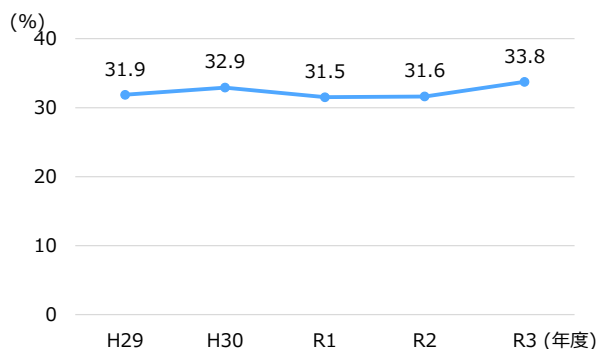


資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告 閲覧（健康増進編）市区町村表」

乳幼児健診の受診率の推移



特定健診受診率の推移

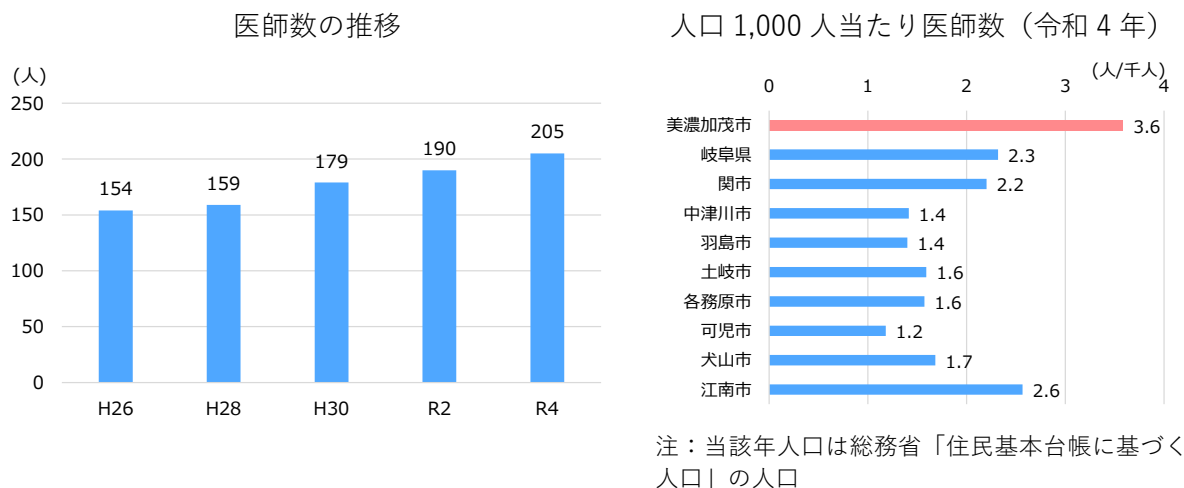


資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

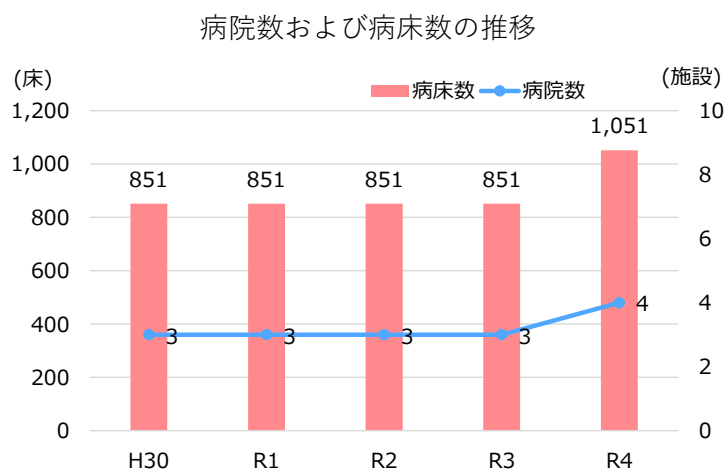
II. まちの現況と課題の整理 3. 保健・医療

② 医療

- 医師数は増加傾向にあり、令和4年は205人となっている。人口1,000人当たりの医師数は3.6人と、岐阜県よりも多くなっている。
- 市内の病院数は4施設、病床数は1,051床となっている。



資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」



資料：厚生労働省「医療施設調査」

4. 社会保障・福祉

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 高齢者福祉施設が設置されており、高齢者介護の受け皿が整っている。
弱み（課題）	● 国民健康保険の被保険者数が減少傾向にあり、保険財政が圧迫されるリスクがある。 ● 生活保護世帯数が増加しているなど、生活困窮者対策が課題となっている。 ● 高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が増加しており、高齢者の生活支援ニーズが高まっている。 ● 介護・高齢者福祉の推進についての改善度指数が高い。 ● 要介護・要支援認定者数と介護保険給付額が増加基調にあり、介護サービス需要が拡大している。 ● 療育障がい手帳の所持者数が増加傾向にあり、障がい者支援の充実が求められる。
取り組みの方向性	● 医療費適正化や保険財政の健全化に向けた取り組みが必要。 ● 生活困窮者への自立支援策を強化する必要がある。 ● 在宅生活を支える介護サービス基盤の整備や人材確保が重要。 ● 高齢者の社会参加を促す施策や、高齢者を地域で支える体制づくりが求められる。 ● 障がい者が地域で安心して暮らせる環境整備と支援体制の充実化が必要。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①社会保障	8 市民福祉の推進	2.9	42.8	D	3.9	49.2	C-	3.1	改善検討
①社会保障	9 地域福祉の推進	2.9	39.6	D	3.7	32.4	E	-3.3	取組維持
②高齢者福祉	5 介護・高齢者福祉の推進	3.0	53.5	C+	4.2	68.4	A	7.1	要改善
③障がい者福祉	4 障がい者福祉の推進	2.9	47.2	C-	3.9	50.2	C+	1.5	改善検討
③障がい者福祉	7 発達支援の推進	2.9	43.2	D	4.0	49.8	C-	3.3	改善検討

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

II. まちの現況と課題の整理 4. 社会保障・福祉

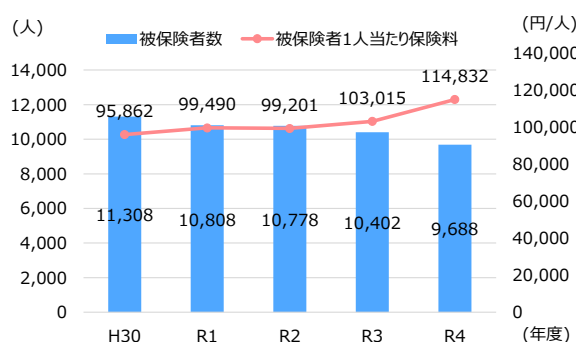
(2) 関連データ

① 社会保障

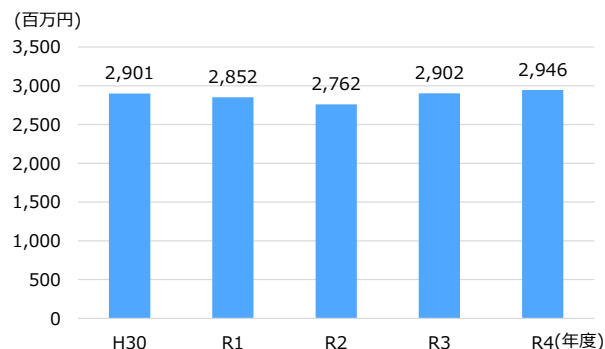
- 国民健康保険の被保険者数は減少傾向にあり、令和4年度は9,688人となっている。
- 令和4年度の後期高齢者医療の給付額は54.2億円となっている。
- 生活保護世帯数は増加傾向にあり、令和4年度は1,773世帯となっている。

国民健康保険の被保険者数および

1人当たり保険料の推移

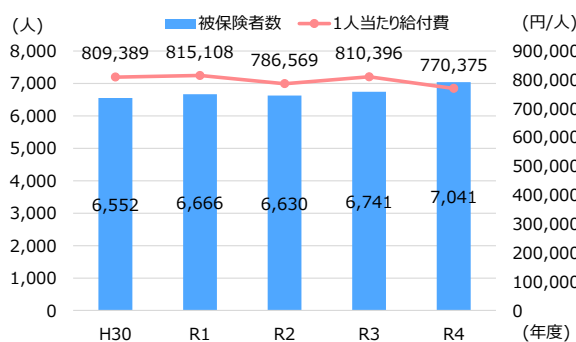


国民健康保険の療養諸費の推移

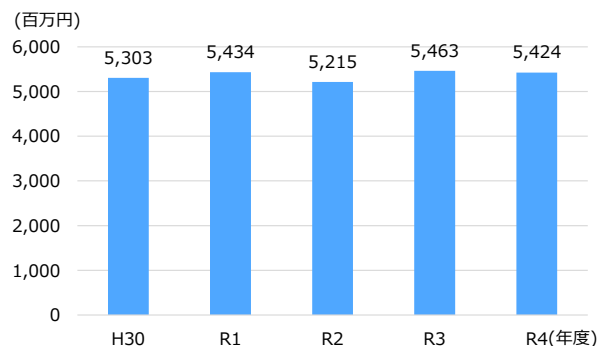


後期高齢者医療の受給者数および

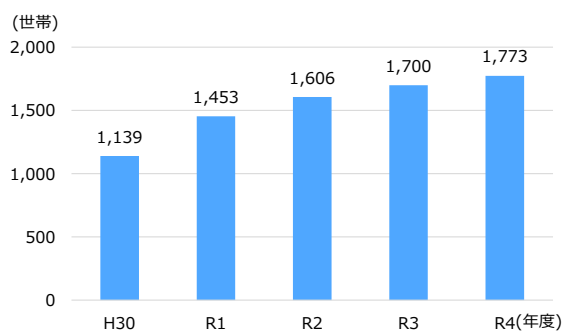
1人当たり給付額の推移



後期高齢者医療の給付額の推移



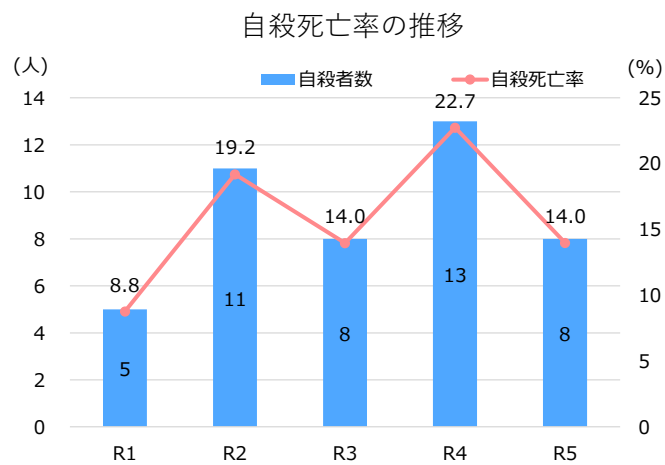
生活保護世帯数の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 4. 社会保障・福祉

- 令和5年の自殺者数は8人、自殺死亡率は14.0%となっている。



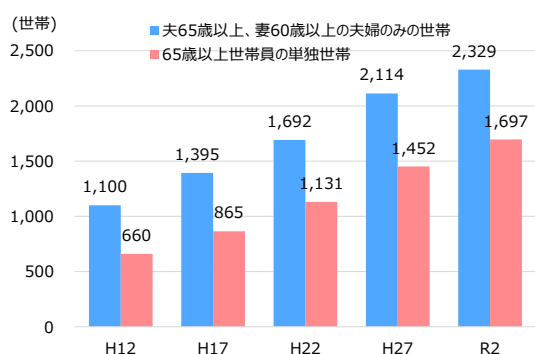
資料：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」

II. まちの現況と課題の整理 4. 社会保障・福祉

② 高齢者福祉

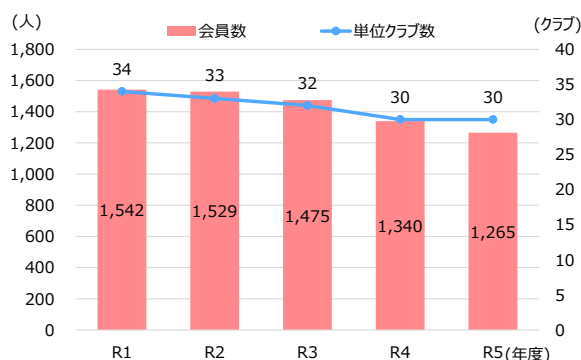
- 高齢夫婦のみの世帯数および高齢単身者世帯数は増加傾向にある。
- 老人クラブはクラブ数、会員数ともに減少傾向にある。
- 総合福社会館の利用者数は、令和2年度に大きく落ち込んだあと増加傾向にあるも、コロナ前を依然下回っている。
- 要介護・要支援認定者は増加傾向にあり、令和3年度は2,156人となっている。
- 介護保険給付額は増加傾向にあり、令和3年度は32.7億円となっている。

高齢者がいる世帯の推移



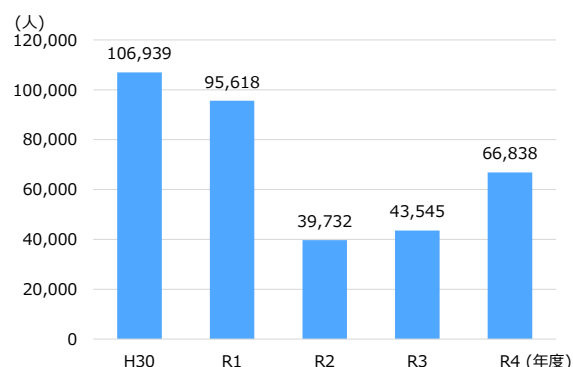
資料：総務省「国勢調査」

老人クラブ会員数の推移



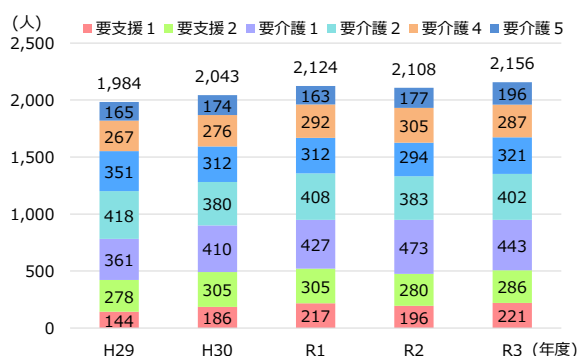
資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

総合福社会館の利用者数の推移

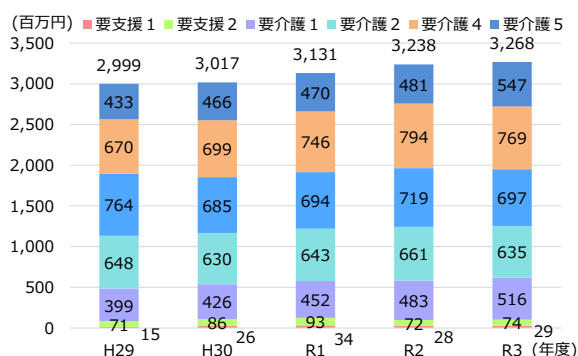


資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

要介護・要支援認定者の推移



介護保険給付額の推移



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

II. まちの現況と課題の整理 4. 社会保障・福祉

高齢者福祉施設の状況

令和6年4月1日現在

介護老人保健施設

施設名	運営主体	入所定員
介護老人保健施設さわやかリバーサイドビラ	社会福祉法人慈恵会	94
老人保健施設サントピアみのかも	医療法人清仁会	100
介護老人保健施設中部台ケアセンター	医療法人録三会	100

軽費老人ホーム

施設名	運営主体	入所定員
ケアハウス飛騨川	(福) 慈恵会	50

特別養護老人ホーム

施設名	運営主体	入所定員
さわやかナーシングビラ (従来型)	(福) 慈恵会	80
さわやかナーシングビラ (ユニット型)	(福) 慈恵会	50
ハニーヒルズ	(福) 清風会	80

有料老人ホーム

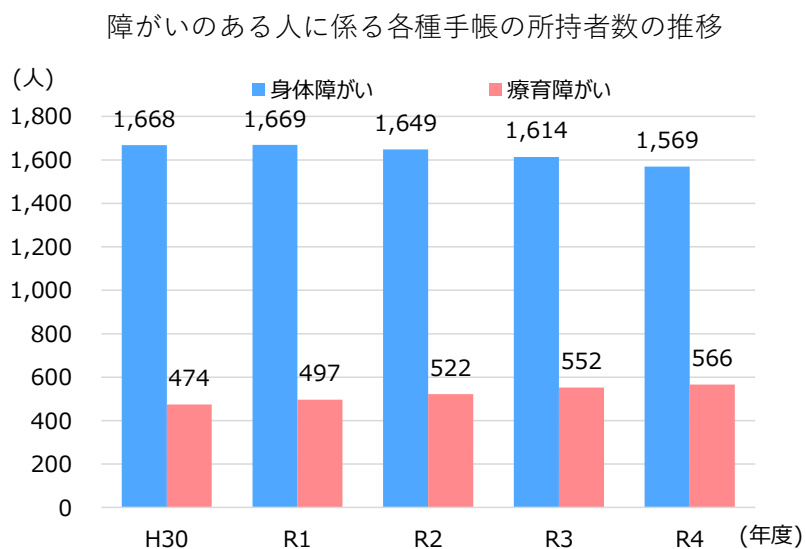
施設名	設置者	定員
更紗	(一財)緑三会	36
だんらん美濃加茂	(株)壮健	20
スマイルナーシング美濃加茂	スマイルナーシング(株)	18
住宅型有料老人ホーム 本郷ふふ倶楽部	(株)ケアサポート j i j i	30
住宅型有料老人ホームはなたま	(特非)はなたま	20
住宅型有料老人ホーム かなえるハウスむすび	結ホームナーシング(同)	12
住宅型有料老人ホーム ぎずな	(特非) ライフテラス	30

資料：岐阜県ホームページ「施設等名簿」

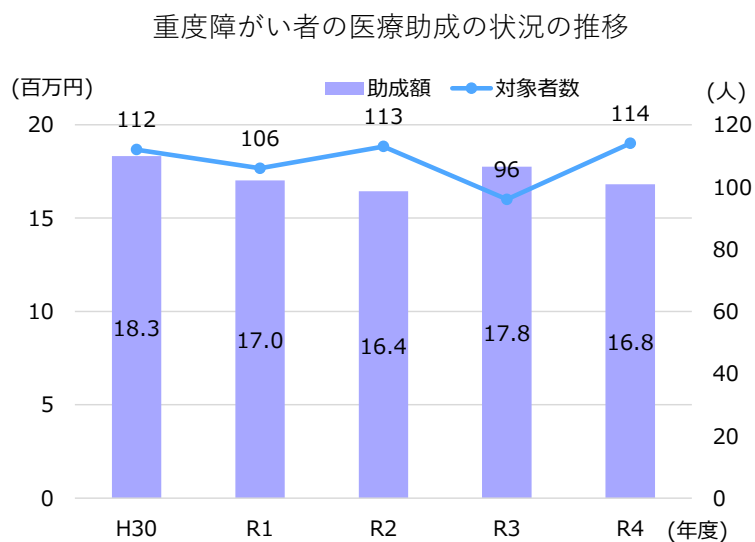
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 4. 社会保障・福祉

③ 障がい者福祉

- 令和 4 年度の障がいのある人に係る各種手帳の所持者数は、身体障がい 1,569 人、療育障がい 566 人となっている。
- 令和 4 年度の重度障がい者の医療助成の対象者数は 114 人、助成額は 16.8 百万円となっている。



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」



資料：美濃加茂市

5. 子育て・教育

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 市内に幼稚園、認定こども園、保育園が設置されており、就学前教育・保育の受け皿が整っている。 ● 小中高等学校、特別支援学校が市内に設置されており、義務教育から高等教育までの教育環境が備わっている。 ● 中学卒業後の高校進学率が97.8%と高く、高校卒業後の大学等進学率も64.0%と高水準にある。
弱み（課題）	● 保育園の在園率が低下傾向にある。 ● 男性市職員の育児休業取得率は25.0%と低く、市内企業の男性の育児参画推進のモデルとなるべく、取得率向上が望まれる。
取り組みの方向性	● 保育環境の更なる整備と保育人材の確保に努める。 ● 男性の育児休業取得促進など、男性の育児参画の推進策を検討する。 ● 高い進学実績を維持できるよう、教育環境の整備と教育力の向上に取り組む。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①子育て	6 子育て支援の推進	3.1	48.2	C-	4.1	55.6	B	4.1	改善検討
①子育て	10 保育の充実	3.1	45.0	D	3.7	37.3	D	-3.5	取組維持
②教育	11 学校教育の充実	3.0	43.3	D	3.9	43.3	D	0.0	改善検討
②教育	12 青少年の健全育成	3.0	44.1	D	3.8	40.8	D	-1.5	取組維持

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

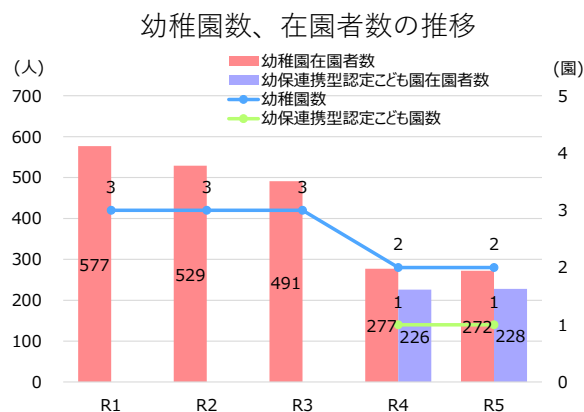
改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

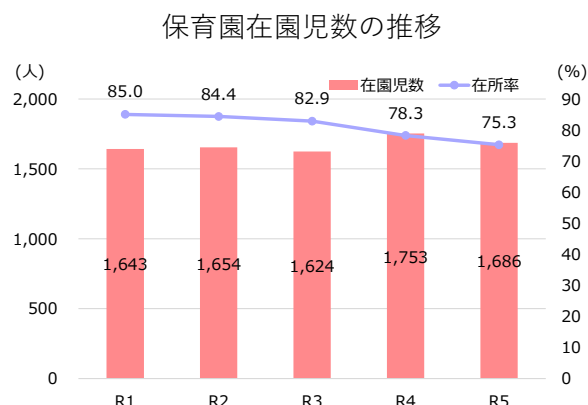
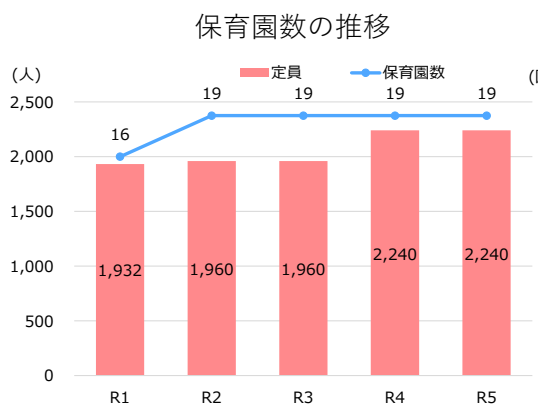
(2) 関連データ

① 子育て

- 市内に幼稚園は2園あり、令和5年の在園者数は272人となっている。幼保連携型認定こども園は1園あり、令和5年度の在園者数は228人となっている。
- 市内に保育園は19園あり、令和5年の在園児数は1,686人となっている。保育園の在園率は低下傾向にあり、令和5年は75.3%となっている。



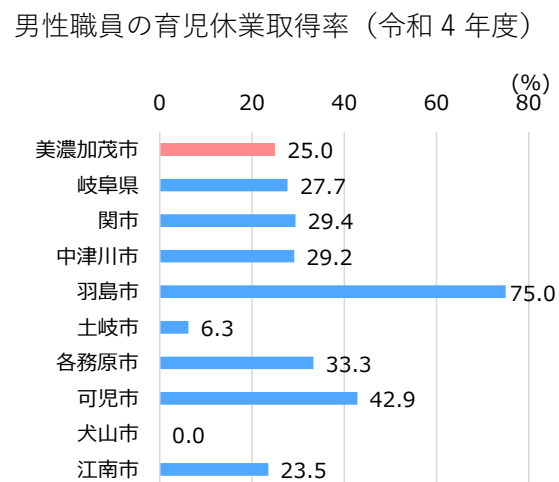
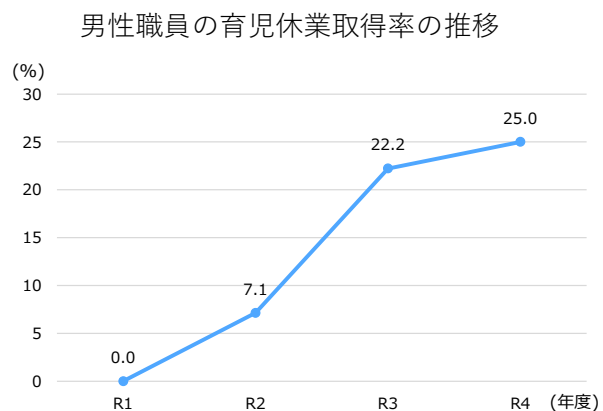
資料：文部科学省「学校基本調査」



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 5. 子育て・教育

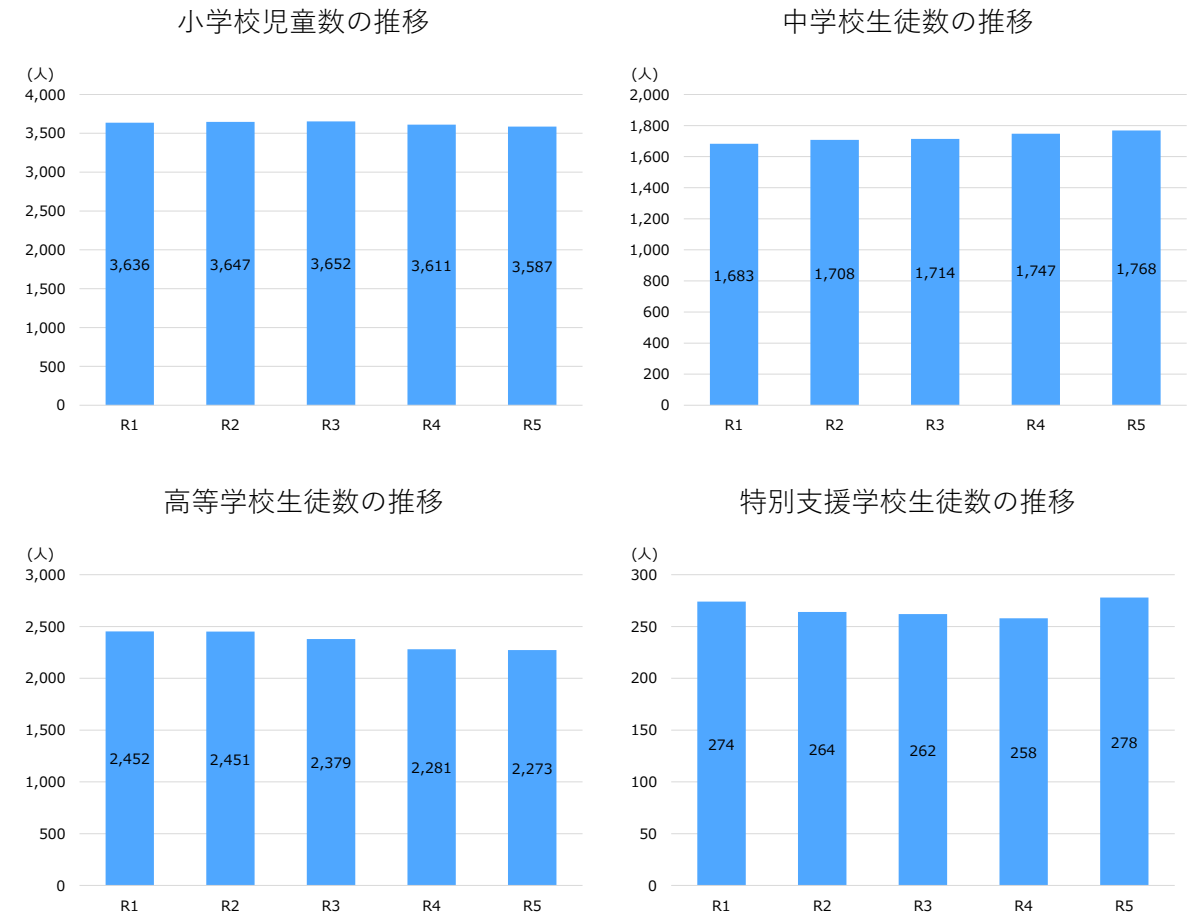
- 美濃加茂市の男性職員における、令和 4 年度の育児休業取得率は 25.0%（8 人中 2 人）となっている。



資料：総務省「地方公共団体の勤務条件等に関する調査」

② 教育

- 市内に小学校は 9 校あり、令和 5 年の児童数は 3,587 人となっている。
- 市内に中学校は 3 校あり、令和 5 年の生徒数は 1,768 人となっている。
- 市内に高等学校は 3 校あり、令和 5 年の生徒数は 2,273 人となっている。
- 市内に特別支援学校は 1 校あり、令和 5 年の生徒数は 278 人となっている。



学校数および児童・生徒数（令和 5 年）

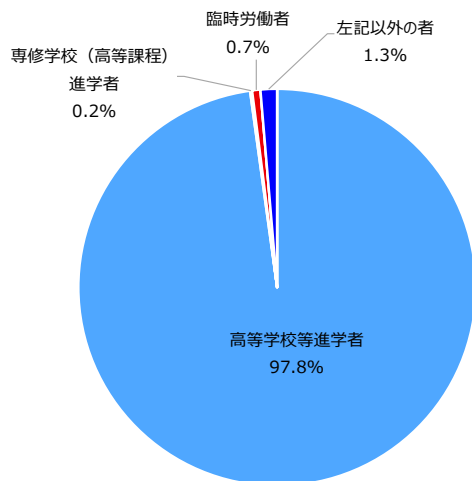
	小学校			中学校			高等学校		
	校数 (校)	児童数 (人)	1校あたり児童数 (人/校)	校数 (校)	生徒数 (人)	1校あたり生徒数 (人/校)	校数 (校)	生徒数 (人)	1校あたり生徒数 (人/校)
美濃加茂市	9	3,587	399	3	1,768	589	3	2,273	758
岐阜県	351	96,495	275	181	52,631	291	82	48,480	591
関市	17	4,215	248	9	2,382	265	3	2,047	682
中津川市	16	3,623	226	12	1,959	163	5	1,589	318
羽島市	8	3,358	420	4	1,781	445	1	416	416
土岐市	8	2,632	329	6	1,380	230	3	904	301
各務原市	17	7,554	444	8	3,939	492	3	2,156	719
可児市	12	5,467	456	6	2,854	476	3	1,692	564
犬山市	10	3,417	342	4	1,956	489	2	1,128	564
江南市	10	5,080	508	6	3,362	560	4	3,526	882

資料：文部科学省「学校基本調査」

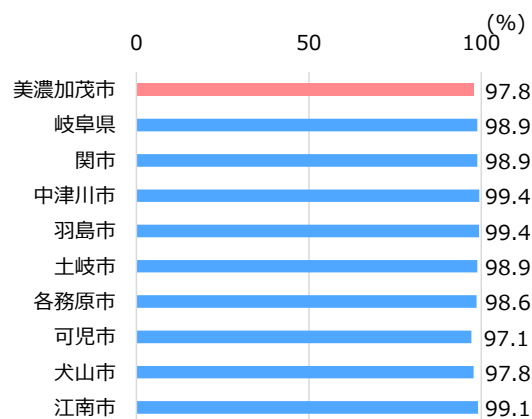
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 5. 子育て・教育

- 令和5年の中学校卒業後の状況は「高等学校等進学者」が97.8%で最も多くなっている。
- 令和5年の高等学校卒業後の状況は「大学等進学者」が64.0%で最も多くなっている。

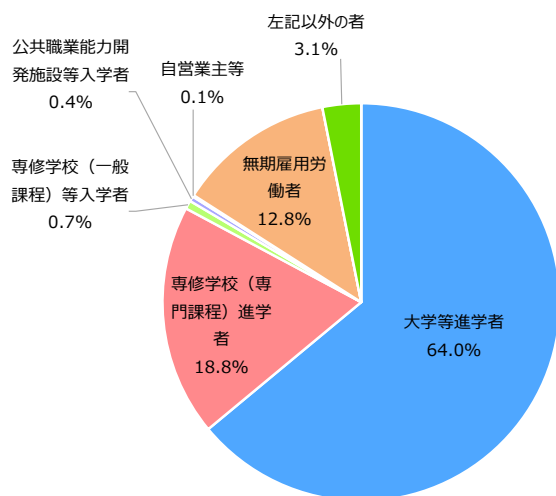
中学校卒業後の状況（令和5年）



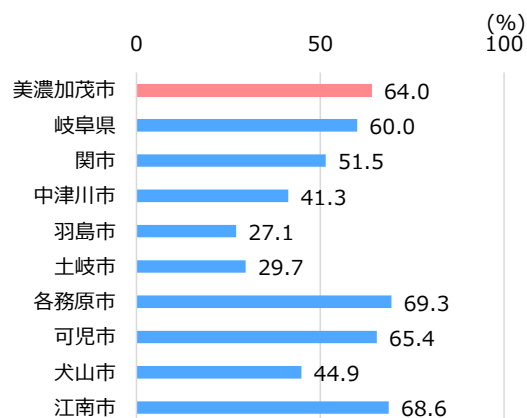
高等学校等進学率



高等学校卒業後の状況（令和5年）



大学等進学率



資料：文部科学省「学校基本調査」

6. 文化・スポーツ

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 図書館の蔵書冊数と貸出冊数が多く、市民の読書活動が活発である。 ● 文化会館やプラザちゅうたいなど、文化・スポーツ施設が整備されている。 ● ちゅうたいクラブや市民大会など、スポーツ活動への市民参加が盛んである。 ● コロナ禍で一時的に落ち込んだ社会教育講座等も再び増加基調にある。
弱み（課題）	● 文化会館、総合福祉会館、文化の森、生涯学習センターの利用者数がコロナ前に比べて減少しており、利用促進が課題。 ● ちゅうたいクラブ参加者数は増加したが、市民大会参加者数はコロナ前を依然下回っている。
取り組みの方向性	● 図書館サービスの一層の充実と、読書活動の更なる振興を図る。 ● 文化施設の利用促進と有効活用に向けた取り組みを強化する。 ● 子どもから高齢者まで、スポーツ活動への参加機会を提供し続ける。 ● スポーツイベントの継続的開催や新たな企画を検討する。 ● 社会教育講座等を通じ、市民の生涯学習ニーズに応えていく。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①文化	13 生涯学習の推進	3.0	44.4	D	3.8	41.2	D	-1.5	取組維持
①文化	14 文化・芸術の振興	3.2	51.4	C+	3.6	37.0	D	-7.4	取組維持
②スポーツ	15 スポーツ活動の推進	3.1	47.3	C-	3.5	30.2	E	-8.3	取組維持

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

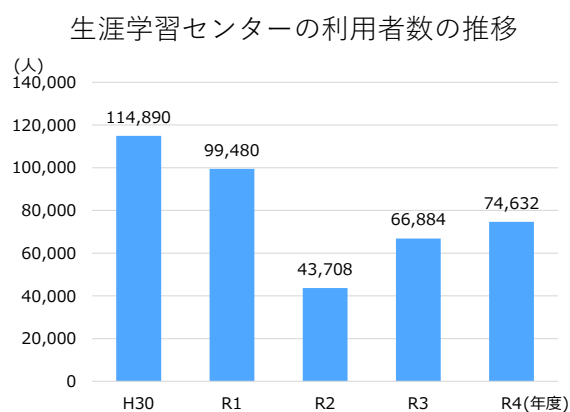
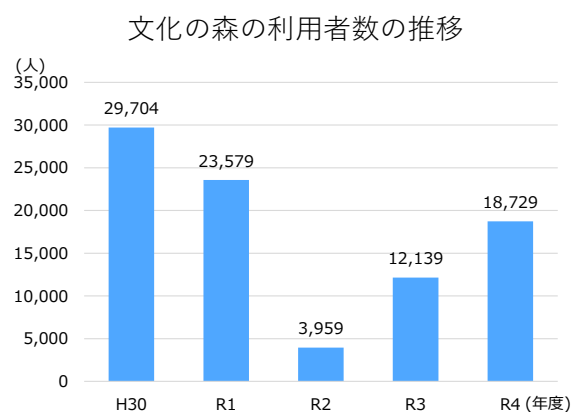
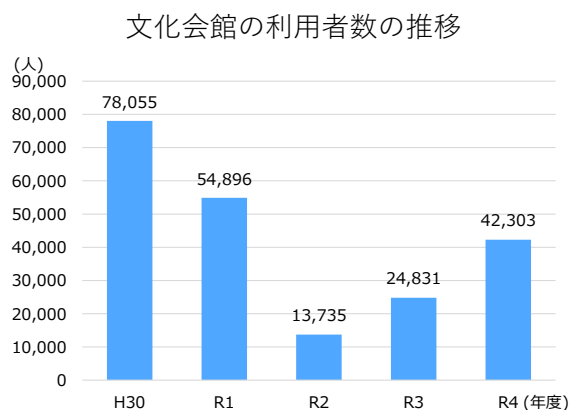
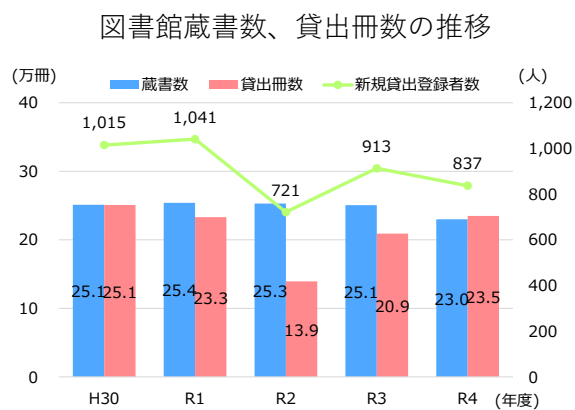
改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

① 文化

- 図書館の貸出冊数は令和2年度に大きく落ち込んだあと増加傾向にある。
- 文化会館、文化の森、生涯学習センターの利用者数は、いずれも令和2年度に大きく落ち込んだあと増加傾向にあるも、コロナ前を依然下回っている。



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

II. まちの現況と課題の整理 6. 文化・スポーツ

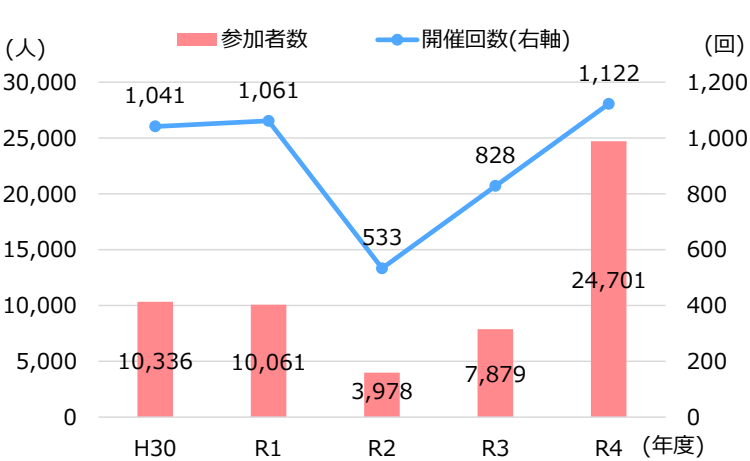
- 社会教育学級・講座の開催数および参加者数は令和 2 年度に大きく落ち込んだあと、増加傾向にある。

各種教育講座の参加状況の推移

	乳幼児学級		家庭教育学級		子ども講座		生涯学習講座		各交流センター活動サークル		生涯学習センター活動サークル		行政出前講座	
	学級数	学級生人数	学級数	学級生人数	講座数	受講人数	講座数	受講人数	団体数	活動人員	団体数	活動人員	講座数	受講人数
H30年度	35	550	11	20,440	7	117	100	4,640	119	1,339	70	873	95	2,727
R1年度	24	406	11	16,044	4	85	106	4,613	105	1,161	66	817	142	3,407
R2年度	21	179	11	3,863	—	—	—	—	103	1,235	65	766	18	588
R3年度	20	173	11	15,114	—	—	53	1,402	92	1,101	46	550	47	827
R4年度	14	144	11	17,217	—	—	49	2,128	90	1,093	44	527	86	2,146

資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

社会教育学級・講座の推移



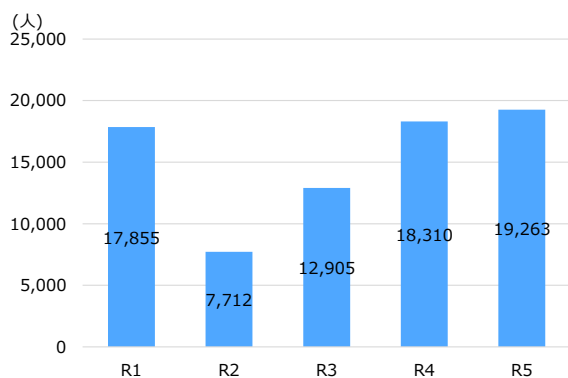
資料：岐阜県「社会教育調査」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 6. 文化・スポーツ

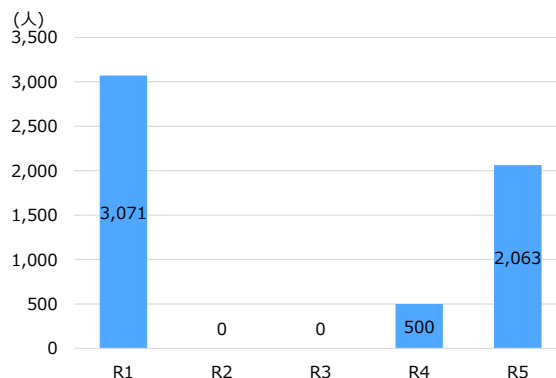
② スポーツ

- ちゅうたいクラブ参加者数は令和 2 年に大きく落ち込んだあと増加傾向にあり、令和 5 年は 19,263 人となっている。
- 令和 5 年の市民大会参加者数は 2,063 人と、コロナ前を依然下回っている。
- プラザちゅうたいの利用者数は令和 2 年度に大きく落ち込んだあと増加傾向にあるも、令和 4 年度は 79,855 人とコロナ前を依然下回っている。

ちゅうたいクラブ参加者数の推移

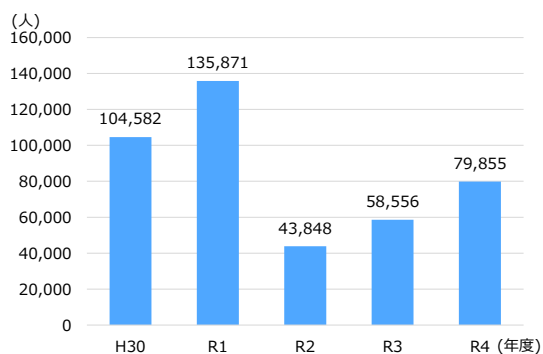


市民大会参加者数の推移



資料：美濃加茂市

プラザちゅうたいの利用状況の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

総合運動場、屋内運動場の利用状況の推移

(単位：件、人)												
区 分	前 平 総 合 運 動 場				東 総 合 運 動 場				西 総 合 運 動 場			
	野 球 場		テニスコート		野 球 場		テニスコート		野 球 場		多目的広場	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
3 0	158 (34)	9,982 (650)	2,240 (1,041)	15,978 (6,438)	360 (21)	19,280 (276)	1,205 (－)	7,863 (－)	168 (28)	10,035 (553)	186	7,560
令和元年度	145 (78)	8,903 (2,539)	2,367 (1,187)	20,068 (7,466)	318 (21)	19,077 (1,082)	1,082 (－)	7,183 (－)	180 (26)	10,043 (855)	133	6,012
2	139 (25)	7,523 (712)	3,087 (872)	22,420 (6,114)	285 (9)	11,398 (74)	749 (－)	4,307 (－)	134 (11)	5,655 (108)	191 (－)	5,609 (－)
3	214 (24)	12,535 (588)	3,937 (951)	27,669 (6,987)	355 (30)	14,131 (814)	1,195 (－)	7,376 (－)	290 (4)	6,899 (150)	38 (－)	1,251 (－)
4	149 (28)	8,711 (1,105)	3,934 (1,218)	29,610 (8,690)	299 (23)	11,109 (656)	1,329 (－)	9,595 (－)	287 (20)	7,734 (583)	160 (－)	4,875 (－)

(単位：件、人)						
区 分	下 米 田 グラウンド		市 橋 グラウンド		西 体 育 館	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
3 0	141 (11)	6,096 (230)	85	3,706	210	4,430
令和元年度	87 (19)	5,625 (924)	67	3,170	832	29,049
2	81 (3)	3,875 (44)	50 (-)	2,580 (-)	572	26,956
3	98 (15)	4,073 (347)	41 (-)	2,020 (-)	-	-
4	77 (11)	5,328 (174)	59 (-)	3,120 (-)	519	12,107

- 1)カッコはその内のナイター利用者とする。
- 2)令和2年度はコロナウィルス感染症対策として、4月、5月、8月、12月、1月、2月、3月の全期間または一部期間を施設閉鎖・夜間利用制限している。
- 3)令和3年度はコロナウィルス感染症対策として、4月、5月、6月、8月、9月の全期間または一部期間を施設閉鎖・利用制限している。
- 4)令和3年度は西体育館をコロナウィルスワクチン集団接種会場としたため、一般利用はなし。

(単位：件、人)				
区 分	サン・スポーツランド美濃加茂			
	野 球 場		ゲートボール場	
	件 数	人 員	件 数	人 員
3 0	175	9,684	...	...
令和元年度	194	10,323	...	...
2	152	5,669	...	...
3	179	8,032	...	...
4	190	10,635	...	...

資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

7. 市民協働

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 市公式 SNS 登録数は約 1.8 万件と令和元年から約 2 倍に増加。 ● 市の情報の発信に対する満足度が高い。 ● フィリピン、ブラジル出身者など外国人市民が多数在住。 ● あい愛バス利用者数が増加傾向にある。
弱み（課題）	● 自治会加入率が低下傾向にあり、地域コミュニティの維持が課題。 ● 審議会等における女性の参画が 3 割程度と低い。 ● JR 市内駅の乗客数がコロナ前を下回っている。 ● 公共交通の推進についての改善度指数が高く、即改善が求められる。 ● 市の運営への市民意見の反映についての改善度指数が高い。
取り組みの方向性	● 地域コミュニティの活性化と自治会加入促進に向けた取り組みが必要。 ● 男女共同参画を推進し、政策方針決定過程への女性の参画を促す。 ● SNS 等を効果的に活用した分かりやすい情報発信を継続する。 ● 外国人市民の多様性と共生を重視し、多言語サービスや文化交流を推進する。 ● 市内の公共交通機関の利便性を高める。 ● 市民の意見を収集し市政に反映させる仕組みを充実させる。

② 満足度・重要度の評定と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評定	平均	偏差値	評定	数値	判断
①市民協働	34 人権意識の高揚	3.0	52.9	C+	3.8	47.9	C-	-3.2	取組維持
①市民協働	36 ワークライフバランスの推進	3.0	50.0	C+	3.8	45.3	C-	-2.4	取組維持
①市民協働	45 市民の自治意識の高揚	2.9	47.8	C-	3.5	36.1	D	-5.6	取組維持
①市民協働	46 市の運営への市民意見の反映	2.7	41.3	D	4.0	54.3	C+	7.7	要改善
①市民協働	47 市民と市で協働のまちづくり	2.8	42.8	D	3.8	48.8	C-	2.9	改善検討
②広報活動	44 市の情報の発信	3.3	61.4	B	3.7	44.7	D	-9.8	取組維持
③女性活躍	35 男女共同参画の推進	3.0	50.8	C+	3.7	44.5	D	-3.3	取組維持
④多文化共生	37 多文化共生の推進	3.1	54.2	C+	3.6	37.9	D	-9.1	取組維持
⑤交通	38 公共交通の推進	2.6	38.5	D	4.0	58.3	B	12.7	即改善

満足度及び重要度の評定基準

偏差値	評定
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

II. まちの現況と課題の整理 7. 市民協働

(2) 関連データ

① 市民協働

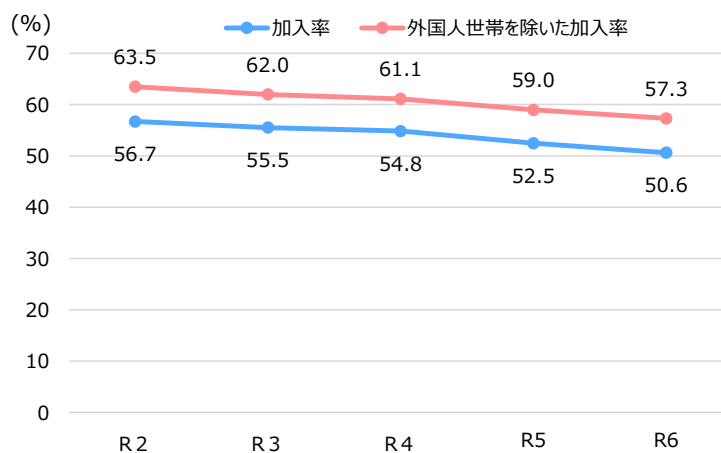
- 市内の NPO 法人数は 19 となっている。
- 自治会加入率は減少傾向にあり、令和 6 年は 50.6%となっている。

NPO 法人数（令和 6 年 4 月 30 日現在）

主な活動分野	NPO 法人数
保健・医療・福祉	8
社会教育	1
まちづくり	3
観光	0
農山漁村・中山間地域	0
学術・文化・芸術・スポーツ	2
環境の保全	1
災害救援	1
国際協力	2
子どもの健全育成	1
計	19

資料：岐阜県ホームページ「法人の情報岐阜県の認証法人一覧」

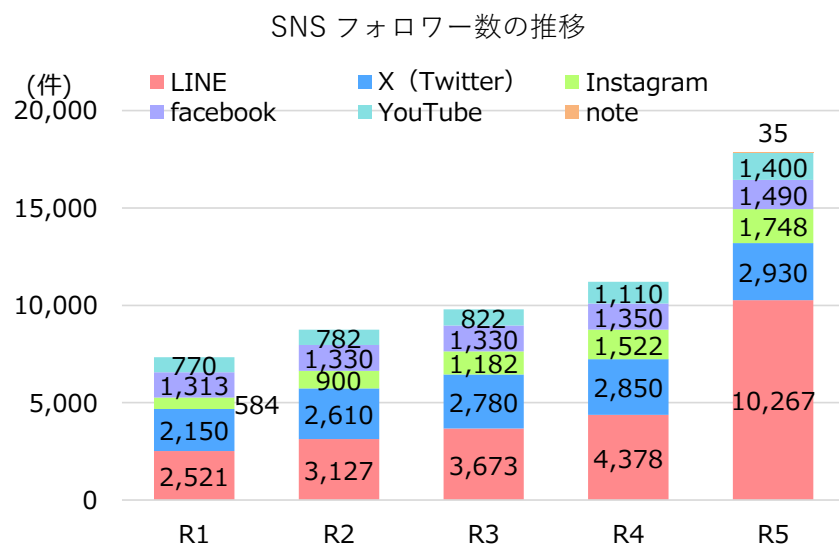
自治会加入率の推移



資料：美濃加茂市

② 広報活動

- 市公式 SNS の登録数は増加傾向にあり、令和 5 年は 17,870 件となっている。最も多いのは LINE で 10,267 件、次いで X (Twitter) で 2,930 件となっている。

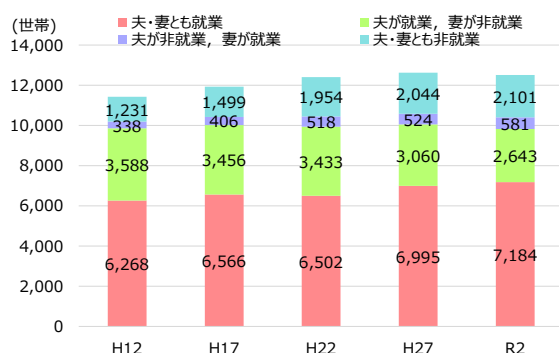


資料：美濃加茂市

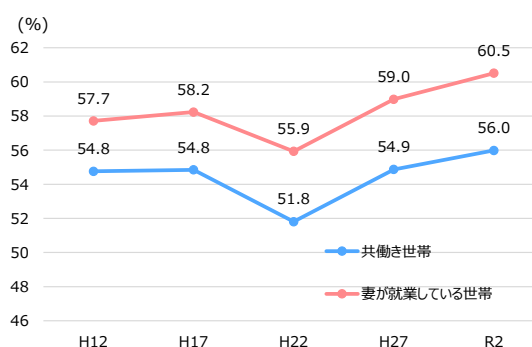
③ 女性活躍

- 令和2年は「夫・妻とも就業（共働き世帯）」が7,184世帯で最も多くなっている。「夫が就業，妻が非就業」は減少傾向にある。
- 共働き世帯および妻が就業している世帯は、平成27年以降増加傾向にある。
- 女性就業者の割合は概ね横ばいで推移しており、令和2年は54.4%となっている。
- 年齢階級別女性就業者割合は、「45～49歳」が81.4%で最も高く、次いで「50～54歳」が80.1%となっている。

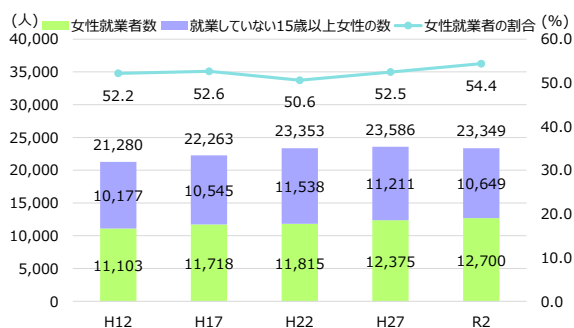
共働き世帯数の推移



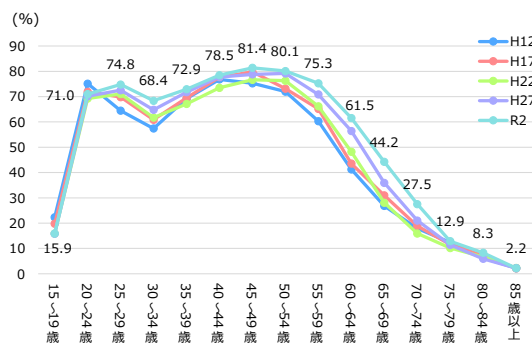
共働き世帯の割合の推移



女性就業者の割合の推移

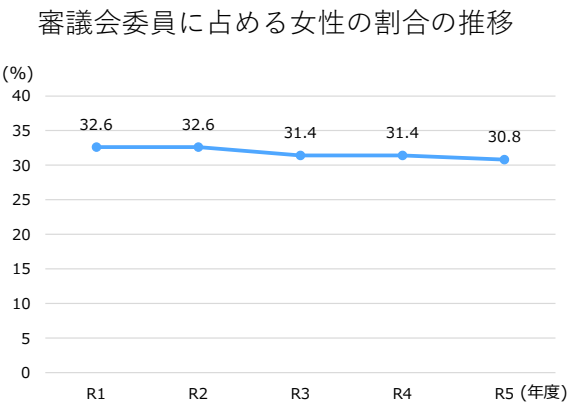


年齢階級別女性就業者割合の推移



資料：総務省「国勢調査」

- 令和5年度の審議会委員に占める女性の割合は30.8%となっている。



審議会委員に占める女性の割合(令和5年度)

	総数 (人)	うち 女性数 (人)	割合 (%)
美濃加茂市	558	172	30.8
関市	583	129	22.1
中津川市	541	201	37.2
羽島市	527	179	34.0
土岐市	292	54	18.5
各務原市	697	227	32.6
可児市	649	182	28.0
犬山市	612	163	26.6
江南市	421	100	23.8

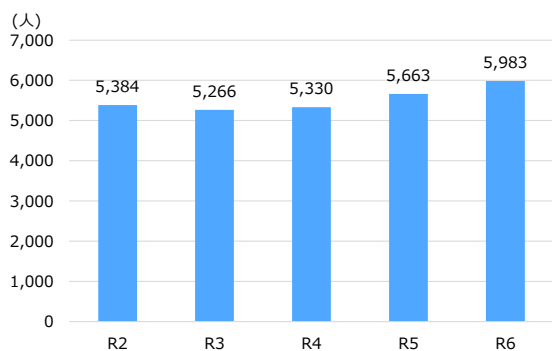
資料：内閣府ホームページ「市町村女性参画状況見える化マップ」

II. まちの現況と課題の整理 7. 市民協働

④ 多文化共生

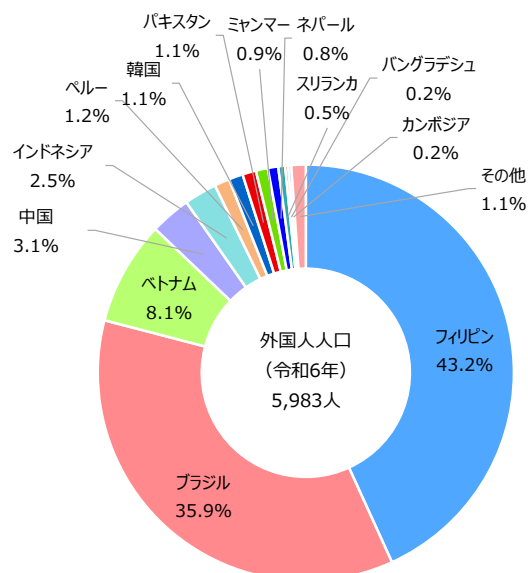
- 外国人人口は、令和 6 年 4 月 1 日現在で 5,983 人となっている。国籍別では、フィリピンが 2,585 人 (43.2%) で最も多く、次いでブラジルが 2,145 人 (35.9%) となっている。
- 令和 2 年の外国人の人口割合は 8.2%と、岐阜県よりも高くなっている。

外国人人口の推移



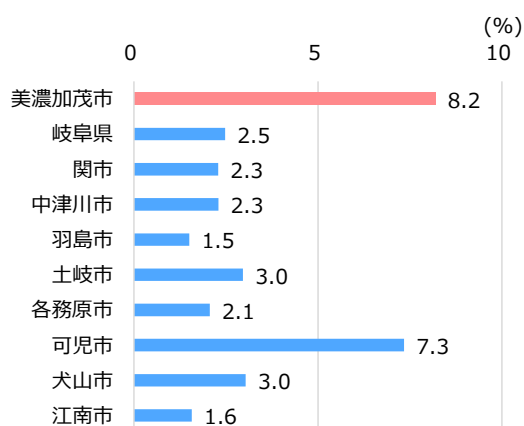
資料：美濃加茂市「外国人住民国籍別集計」

国籍別人口（令和 6 年）



資料：美濃加茂市「外国人住民国籍別集計」

外国人の人口割合（令和 2 年）



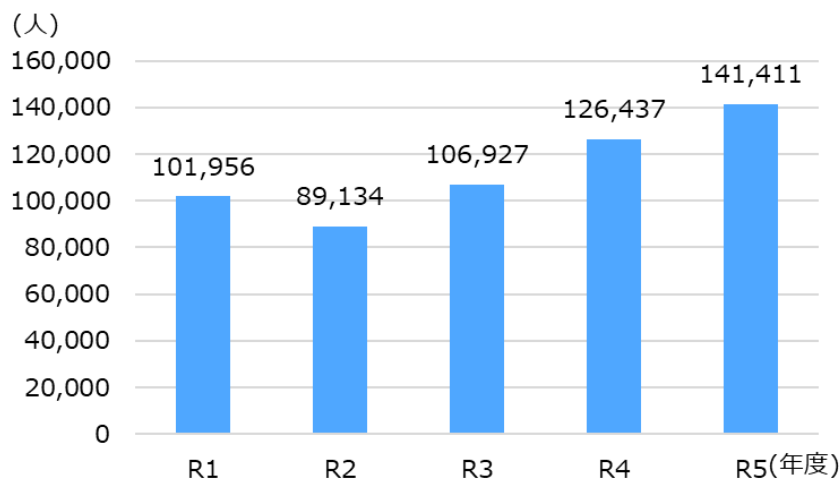
資料：総務省「国勢調査」

II. まちの現況と課題の整理 7. 市民協働

⑤ 交通

- あい愛バス利用者数は増加傾向にあり、令和5年度は141,411人となっている。
- 市内駅の乗客数は、JR、長良川鉄道ともに「美濃太田駅」が最も多い。JRの乗客数はコロナ前を下回っている。

あい愛バス利用者数の推移



資料：美濃加茂市

J R 市内駅の乗客数の推移 (人)

	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
美濃太田	1,034,471	1,048,485	767,783	815,380	913,801
古井	122,451	114,920	95,590	93,098	89,853
美濃川合	157,106	161,703	137,905	147,756	146,984

長良川鉄道市内駅の1日当たりの平均乗降客数の推移 (人/日)

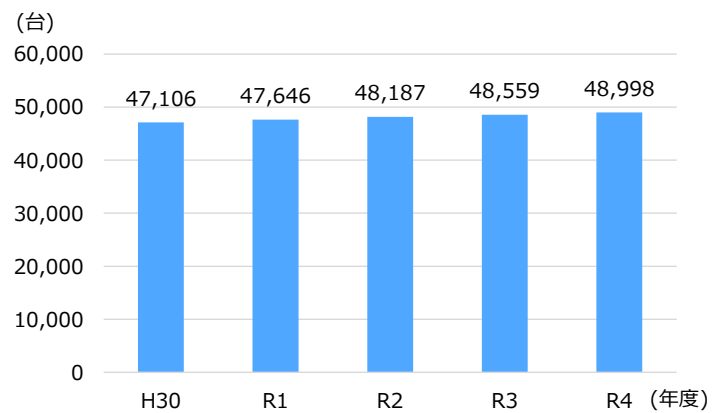
		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
美濃太田	乗客数	420	359	347	394	503
	降客数	393	443	375	445	537
前平公園	乗客数	51	43	49	51	58
	降客数	50	37	45	42	59
加茂野	乗客数	52	58	47	49	68
	降客数	38	44	40	34	72

資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 7. 市民協働

- 令和4年度の自動車保有台数は48,998台となっている。

自動車保有台数の推移



自動車保有台数（令和4年度）

	(台)			
	総計	登録車	小型二輪	軽自動車
美濃加茂市	48,998	26,706	968	21,324
岐阜県	1,686,197	955,842	28,665	701,690
関市	77,757	43,175	1,375	33,207
中津川市	70,941	35,022	1,561	34,358
羽島市	56,565	33,460	882	22,223
土岐市	48,238	26,680	776	20,782
各務原市	113,406	68,479	2,032	42,895
可児市	80,995	45,489	1,582	33,924

資料：岐阜県「岐阜県統計書」

8. 産業振興

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 市内総生産や1人当たり所得が堅調に推移している。 ● 観光資源が一定数存在し、観光入込客数が120万人を超えている。
弱み（課題）	● 農家数や販売農家数が減少基調にあり、農業の担い手確保が課題。 ● 耕作放棄地が増加傾向および農地転用が減少傾向にあり、農地の有効利用が課題。 ● 商業の吸引力が1を下回っており、購買力あるいは顧客が他地域へ流出している。 ● 商業の振興に対する満足度が低く、改善度指数が高い。 ● 観光入込客数がコロナ前を下回っている。 ● 観光の振興に対する満足度が低く、改善度指数が高い。 ● 市内就業割合は46.5%と、低下傾向にある。 ● 労働環境の整備についての改善度指数が高い。
取り組みの方向性	● 農業の生産基盤の強化と、新規就農者の確保・育成支援が重要。 ● 遊休農地の発生防止と、利用可能な農地の効率的な活用を推進する。 ● 企業の成長・高付加価値化を後押しするとともに、新規企業誘致にも取り組む。 ● 中心市街地の活性化と商業の活力向上に向けた施策が求められる。 ● 観光資源の一層の磨き上げと、効果的なプロモーションが必要。 ● 企業に対し働きやすい環境整備を求める。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①農業	23 農林業の振興	3.0	49.7	C-	3.6	40.4	D	-4.6	取組維持
②商工業	20 商業の振興	2.4	31.7	E	3.8	49.5	C-	8.8	要改善
②商工業	21 工業の振興	2.8	42.6	D	3.7	43.7	D	0.5	改善検討
③観光・交流	18 特産品などの発展と創造	2.7	42.2	D	3.6	40.2	D	-0.9	取組維持
③観光・交流	24 観光の振興	2.4	31.3	E	3.6	42.3	D	5.1	要改善
④雇用	19 労働環境の整備	2.8	42.0	D	4.0	52.1	C+	5.5	要改善

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

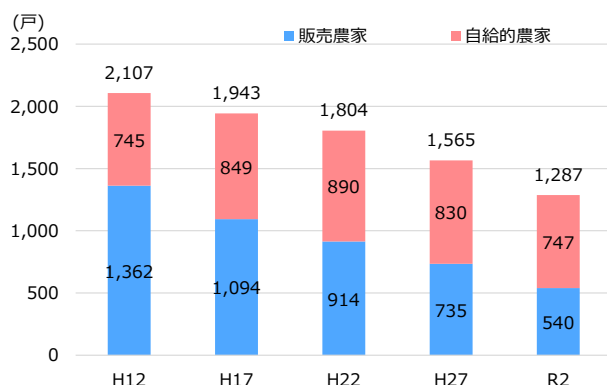
改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

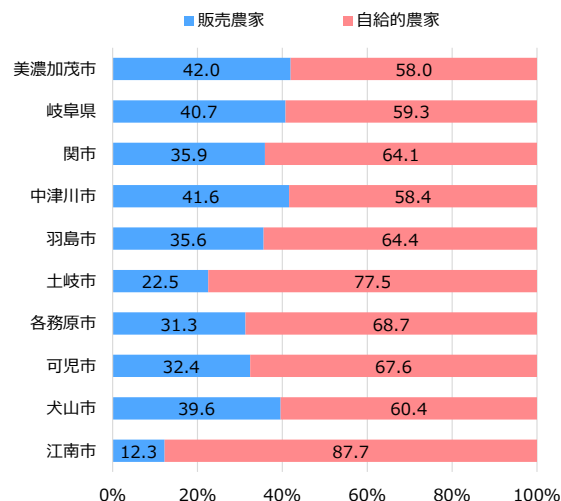
① 農業

- 農家数は減少傾向にあり、令和2年は1,287戸となっている。割合をみると、「自給的農家」が58.0%を占めている。
- 販売農家数は減少傾向にあり、平成27年は「兼業農家」が546戸、「専業農家」が189戸となっている。割合をみると、「兼業農家」が74.3%を占めている。

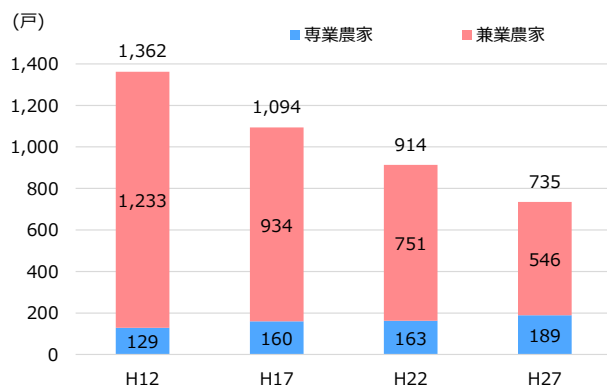
農家数の推移



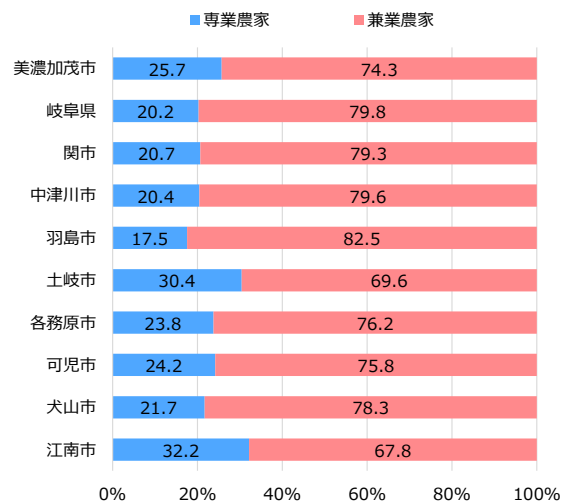
農家数の割合 (令和2年)



専兼業別販売農家数の推移



専兼業別販売農家数の割合 (平成27年)

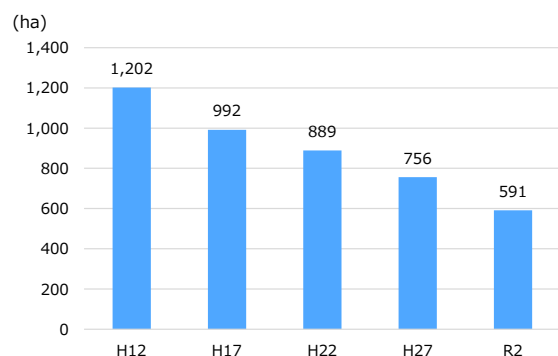


資料：農林水産省「農林業センサス」

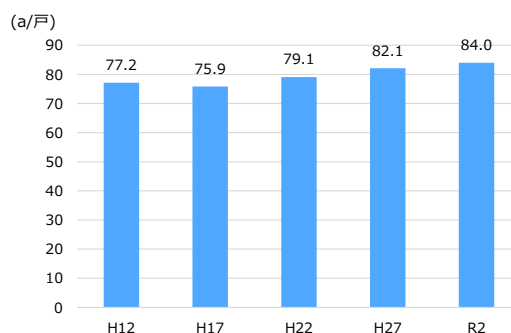
II. まちの現況と課題の整理 8. 産業振興

- 経営耕地面積は減少傾向にあり、令和2年は591haとなっている。販売農家の1戸当たり経営耕地面積は84.0aとなっている。
- 耕作放棄地は概ね増加傾向にあり、平成27年は263haとなっている。
- 農地転用は減少傾向にあり、令和3年は8.2haとなっており、そのうち「住宅用地」が5.4ha、「工・鉱業（工場）用地」が1.1ha、「店舗等施設用地」が0.7haとなっている。

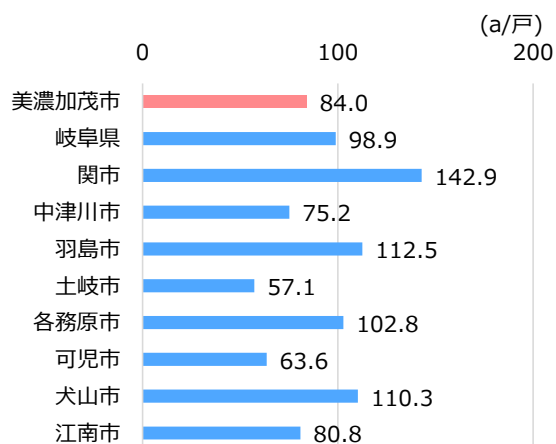
経営耕地面積の推移



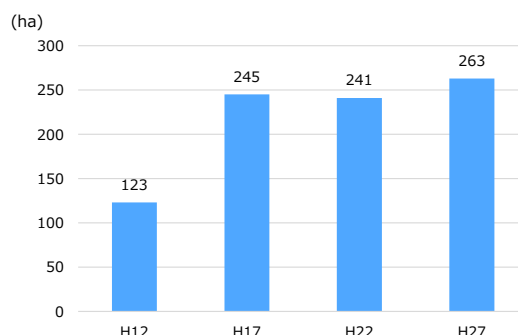
販売農家の1戸当たり経営耕地面積の推移



販売農家の1戸当たり経営耕地面積(令和2年)

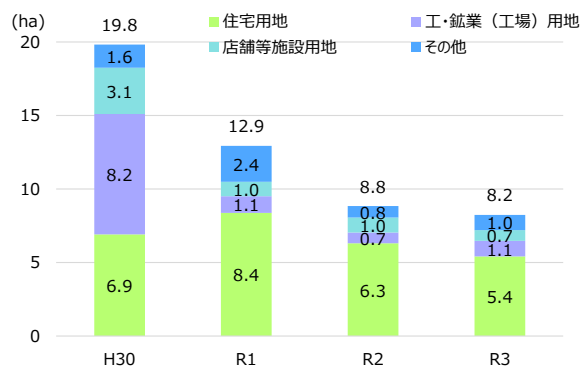


耕作放棄地面積の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

農地転用の推移

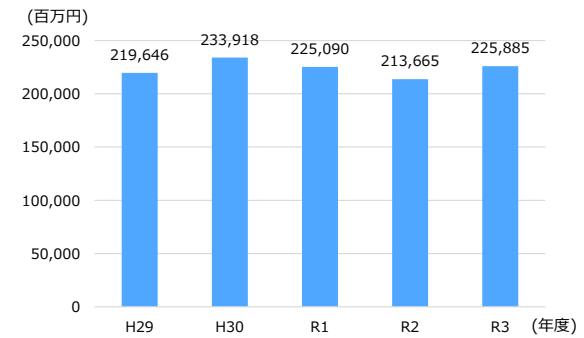


資料：美濃加茂市

② 商工業

- 令和 3 年度の市内総生産は 2,259 億円となっている。
- 令和 3 年度の 1 人当たり市町村民所得は 296 万円となっている。

市内総生産の推移

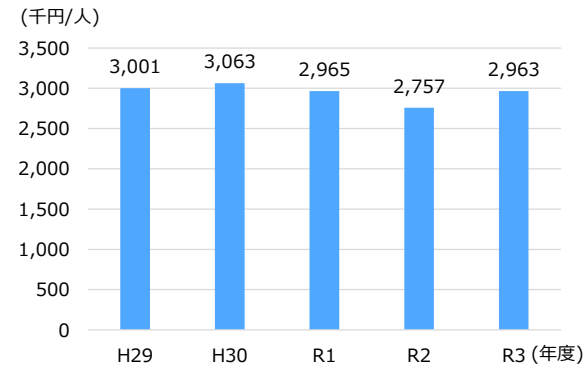


市内総生産（令和 3 年度）

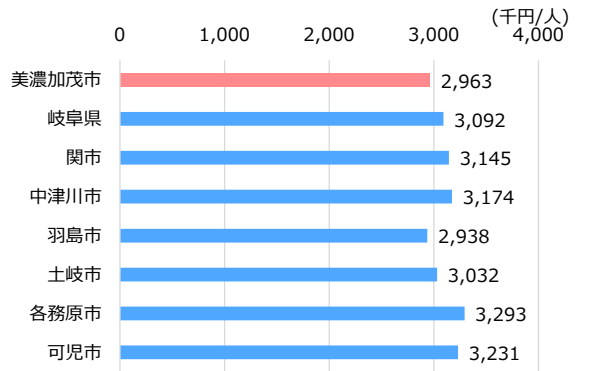
	市町村内総生産	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業
美濃加茂市	225,885	1,140	90,908	131,991
岐阜県	8,010,977	57,866	2,956,450	4,931,189
関市	360,259	3,016	172,552	181,748
中津川市	342,838	3,987	183,785	152,264
羽島市	177,468	783	48,857	126,377
土岐市	212,612	144	91,487	119,244
各務原市	676,345	995	314,491	355,331
可児市	460,421	425	226,034	230,199

注：第 1 次、第 2 次、第 3 次産業の総生産額は、輸入品に課される税・関税等の加算・控除前の額であり、その合計は市町村内総生産額と一致しない。

1 人当たり市町村民所得の推移



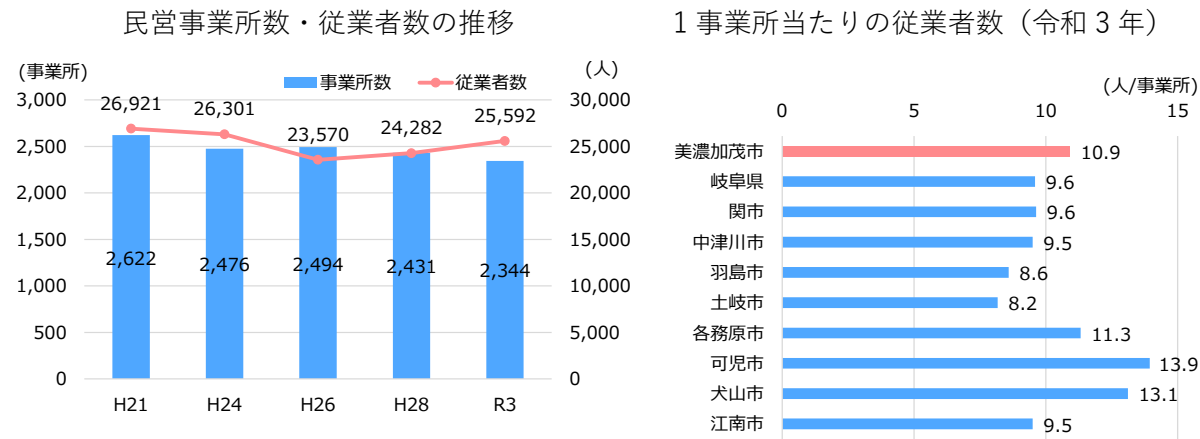
1 人当たり市町村民所得（令和 3 年度）



資料：岐阜県「市町村民経済計算」

II. まちの現況と課題の整理 8. 産業振興

- 令和 3 年の民営事業所数は 2,344 事業所となっている。
- 産業分類別事業所数をみると、「卸売業，小売業」が 22.0%で最も多くなっている。
- 令和 3 年の民営事業所の従業者数は 25,592 人となっている。
- 産業分類別従業者数をみると、「製造業」が 24.7%で最も多くなっている。



産業分類別事業所数・従業者数（令和 3 年）

	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)
全産業	2,422	100.0	28,322	100.0
農業，林業	16	0.7	119	0.4
漁業	-	-	-	-
鉱業，採石業，砂利採取業	1	0.0	6	0.0
建設業	238	9.8	1,480	5.2
製造業	279	11.5	6,984	24.7
電気・ガス・熱供給・水道業	9	0.4	327	1.2
情報通信業	14	0.6	40	0.1
運輸業，郵便業	60	2.5	1,391	4.9
卸売業，小売業	534	22.0	4,138	14.6
金融業，保険業	38	1.6	352	1.2
不動産業，物品賃貸業	126	5.2	356	1.3
学術研究，専門・技術サービス業	91	3.8	510	1.8
宿泊業，飲食サービス業	295	12.2	2,156	7.6
生活関連サービス業，娯楽業	198	8.2	969	3.4
教育，学習支援業	111	4.6	1,580	5.6
医療，福祉	215	8.9	4,768	16.8
複合サービス事業	14	0.6	272	1.0
サービス業（他に分類されないもの）	155	6.4	1,567	5.5
公務（他に分類されるものを除く）	28	1.2	1,307	4.6

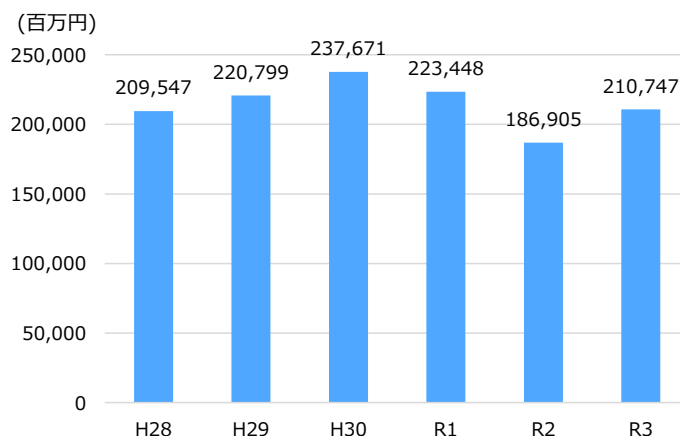
注：公営を含む

資料：総務省「経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 8. 産業振興

- 令和3年の製造品出荷額は2,107億円となっている。産業中分類別にみると、「生産用機械器具製造業」が788億円で最も多くなっている。

製造品出荷額等の推移



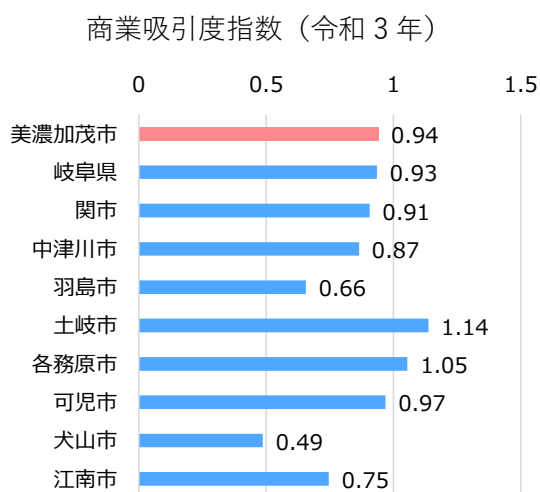
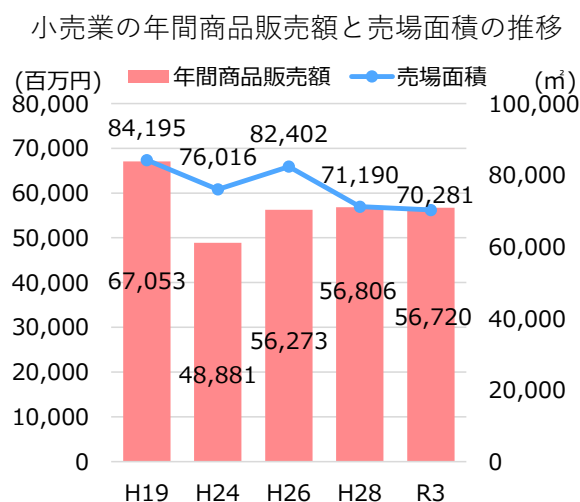
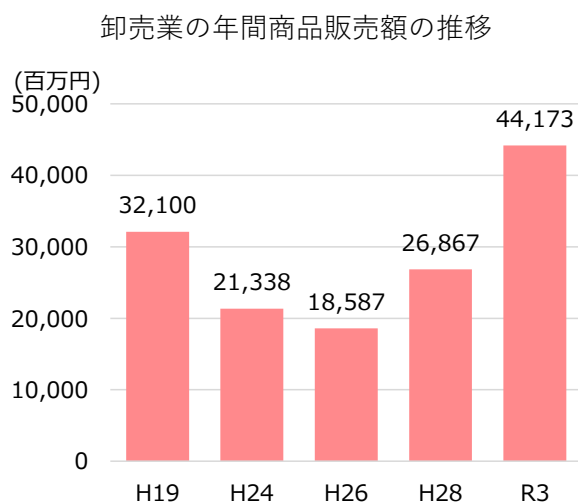
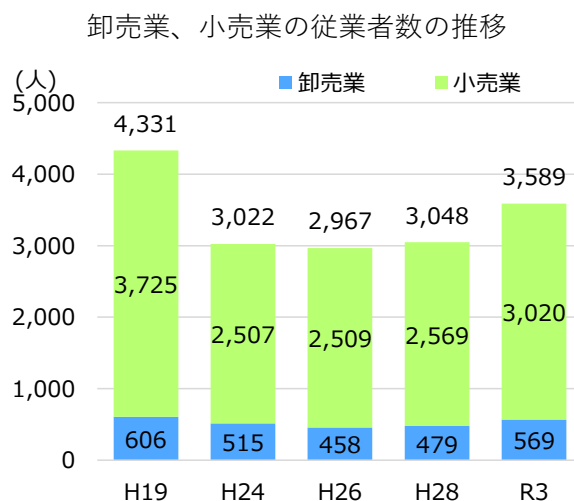
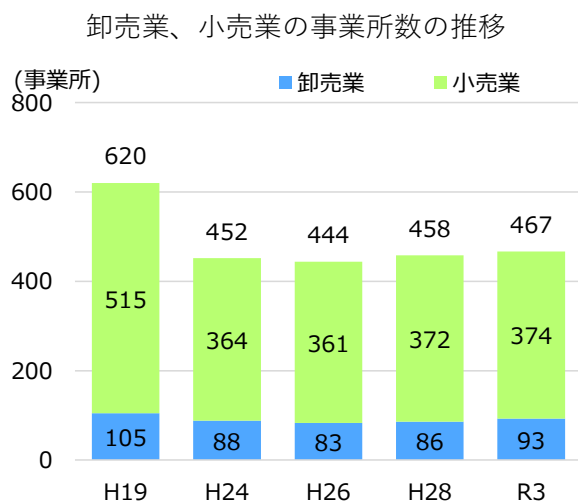
産業中分類別製造品出荷額等（令和3年）

	事業所数 (所)	従業員数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
製造業計	159	6,585	21,074,695
食料品製造業	15	1,051	1,951,649
飲料・たばこ・飼料製造業	1	17	X
繊維工業	7	68	74,700
木材・木製品製造業（家具を除く）	4	342	1,484,787
家具・装備品製造業	5	89	184,469
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	8	X
印刷・同関連業	2	17	X
化学工業	3	195	867,407
プラスチック製品製造業（別掲を除く）	9	245	548,204
ゴム製品製造業	1	59	X
窯業・土石製品製造業	8	130	377,650
鉄鋼業	6	270	3,041,122
非鉄金属製造業	4	60	205,998
金属製品製造業	24	630	2,155,527
はん用機械器具製造業	6	348	558,820
生産用機械器具製造業	27	2,056	7,884,108
業務用機械器具製造業	7	95	25,663
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	30	X
電気機械器具製造業	6	254	620,065
輸送用機械器具製造業	15	584	764,519
その他の製造業	6	37	42,453

資料：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」

II. まちの現況と課題の整理 8. 産業振興

- 令和3年の卸売業の事業所数は93事業所、従業員数は569人、年間商品販売額は4,417億円となっている。
- 令和3年の小売業の事業所数は374事業所、従業員数は3,020人、年間商品販売額は5,672億円となっている。



注：商業吸引度指数は、当該地域の人口から想定される商業販売額（全国ベースの1人当たり商業販売額×当該地域の人口）と、実際の販売額との比率を算出したもの。1を上回っていれば、他地域の商圏から吸引しているとみなす
当該年人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口」の人口

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

II. まちの現況と課題の整理 8. 産業振興

③ 観光・交流

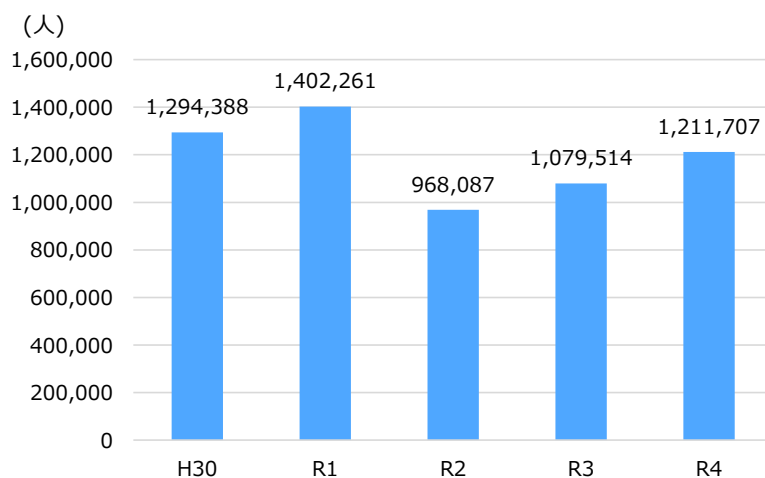
- 令和4年の観光入込客数は121万人となっており、コロナ前を下回っている。
- 「ぎふ清流里山公園」が59.0万人で最も多く、次いで「RIVER PORT PARK 美濃加茂」が14.5万人となっている。

観光入込客数の推移

(人)

	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
山之上観光果樹園※	0	6,581	6,613	3,963	0
古井の天狗山	34,857	35,314	28,304	21,764	23,077
伊深の森カントリークラブ	54,046	55,069	48,694	54,561	54,352
賑済寺ゴルフ場	55,448	53,892	50,540	55,718	56,017
太田宿中山道会館	90,605	85,263	56,173	65,781	60,836
みのかも健康の森	55,194	65,370	46,704	44,533	71,470
小山観音	121,000	111,000	56,000	15,100	18,600
中山道太田宿	45,377	42,765	29,252	32,952	30,476
ぎふ清流里山公園	576,486	640,890	421,845	518,299	589,810
みのかも文化の森	87,661	79,097	36,890	49,633	54,766
法仙坊ゴルフ倶楽部	39,982	39,527	35,373	42,520	44,126
クレセントバレーカントリークラブ美濃加茂	23,449	26,378	20,361	26,365	26,529
前平テニス場	27,350	23,649	21,410	26,647	36,454
RIVER PORT PARK 美濃加茂	82,933	137,466	109,928	121,678	145,194
計	1,294,388	1,402,261	968,087	1,079,514	1,211,707

(※)調査の要件を満たさなくなった観光地点。



資料：岐阜県「観光入込客統計調査」

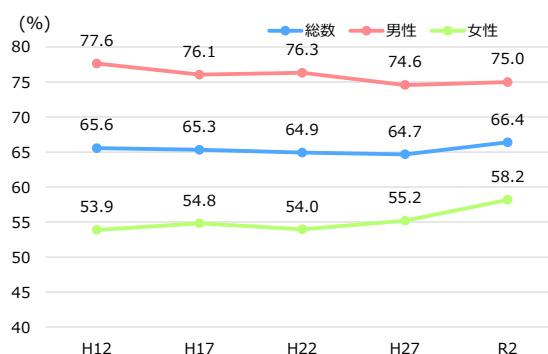
④ 雇用

- 令和 2 年の市内就業割合は 46.5%となっており、概ね低下傾向にある。
- 令和 2 年の労働力率は、男性が 75.0%、女性が 58.2%となっている。65 歳以上人口の労働力率は 28.6%となっている。
- 令和 2 年の完全失業率は 4.5%となっている。
- 令和 5 年度の有効求人倍率は 1.36 となっている。令和 3 年度以降、一般とパートの差が広がっている。

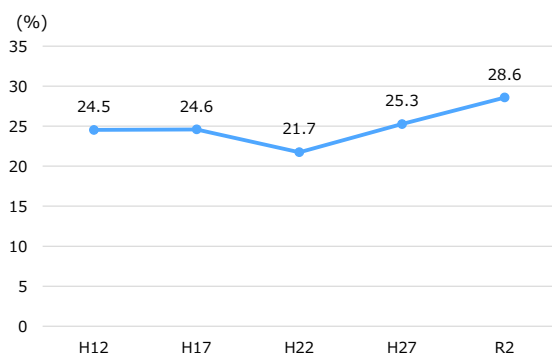
市内就労割合の推移

	就業者 (人)	うち市内 就業者 (%)	市内就業 割合 (%)
H12 (2000)	26,398	14,756	55.9
H17 (2005)	27,537	15,033	54.6
H22 (2010)	27,534	13,680	49.7
H27 (2015)	28,222	13,008	46.1
R2 (2020)	28,236	13,118	46.5

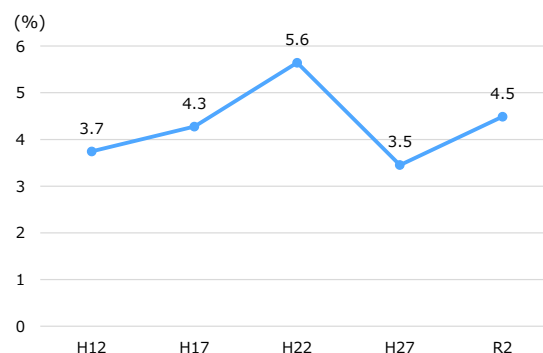
労働力率の推移



65 歳以上人口の労働力率の推移

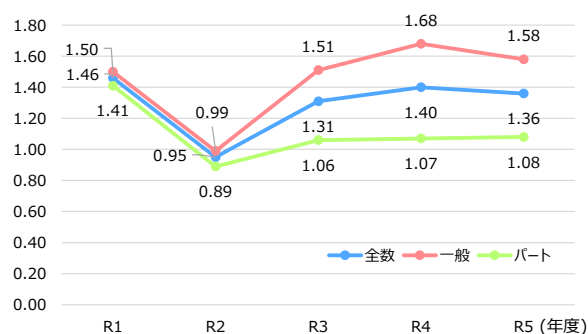


完全失業率の推移



資料：総務省「国勢調査」

美濃加茂ハローワークの有効求人倍率の推移



資料：岐阜労働局「有効求人倍率の推移」

9. 環境

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 環境保全に対する満足度が高い。 ● ごみの減量、省エネ、リサイクル対策に対する満足度が高い。 ● 二酸化炭素排出量が概ね減少傾向にある。
弱み（課題）	● 公害発生件数が 117 件あり、公害防止対策が課題。 ● 省エネ性能の高い住宅の普及率がまだ低い水準。
取り組みの方向性	● ごみの排出抑制とリサイクルの一層の推進を図る。 ● 住宅の省エネ性能向上を促進する施策を検討する。 ● 事業者指導や相談窓口設置など、公害対策を強化する。 ● 省エネ対策や再生可能エネルギー導入により、CO2 排出削減を推進する。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①環境	16 環境保全	3.4	65.0	B	4.1	60.1	B	-2.2	取組維持
①環境	17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	3.2	60.4	B	4.1	59.4	B	-0.4	取組維持

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

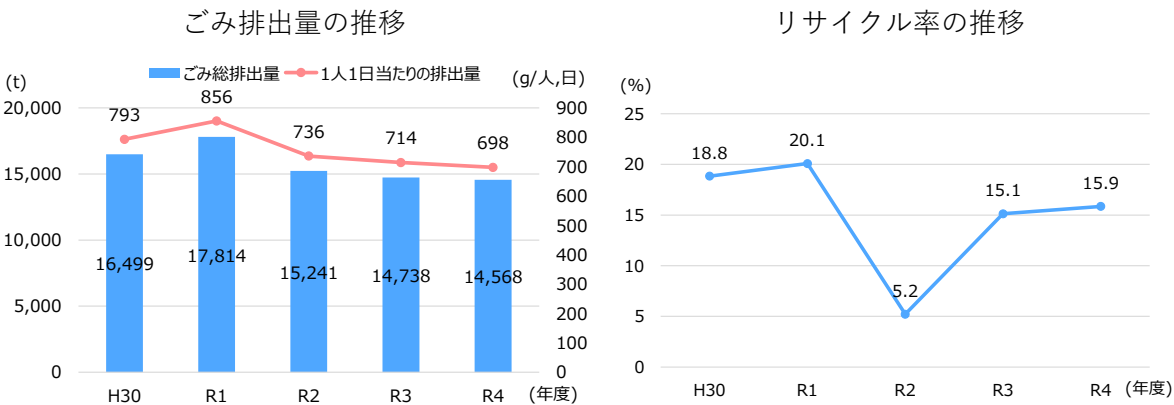
改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

① 環境

- 令和4年度のごみ総排出量は14,568t、1人1日当たりの排出量は698gとなっている。
- 令和4年度のリサイクル率は15.9%となっている。
- 太陽熱を利用した温水機器等がある住宅は全住宅のうち7.9%、太陽光を利用した発電機器がある住宅は12.2%、二重サッシ又は複層ガラスの窓がある住宅は34.1%となっている。
- 令和4年度の公害発生件数は117件となっている。



資料：環境省「一般廃棄物処理実態調査 都道府県別データ ごみ処理状況」

省エネルギー設備等別住宅数（平成30年）

		住宅数 (戸)	普及率 (%)
総数		20,980	-
太陽熱を利用した温水機器等	あり	1,660	7.9
	なし	18,710	89.2
太陽光を利用した発電機器	あり	2,550	12.2
	なし	17,820	84.9
二重以上のサッシ又は 複層ガラスの窓	すべての窓にあり	3,850	18.4
	一部の窓にあり	3,300	15.7
	なし	13,210	63.0

資料：総務省「住宅・土地統計調査」

公害発生件数の推移

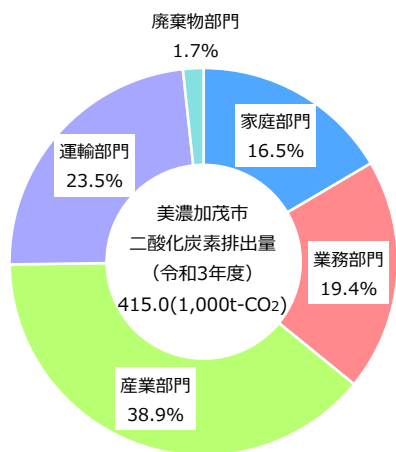
	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
大気汚染	1	3	1	2	1
水質汚濁	7	10	18	11	4
土壌汚染	-	-	-	-	-
騒音	11	16	9	12	9
振動	1	-	-	-	-
地盤沈下	-	-	-	-	-
悪臭	11	5	8	9	3
産業廃棄物	-	-	-	-	1
その他	114	108	122	125	99
計	145	142	158	159	117

資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

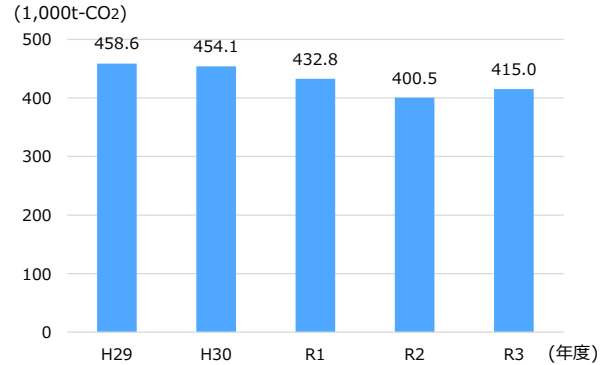
② 気候変動

- 二酸化炭素排出量の推計値は概ね減少傾向にあり、令和 3 年度は 415.0 千 t-CO2 となっている。割合は「産業部門」が 38.9%で最も多くなっている。
- 令和 5 年の年間降水量は 1,870.0 mm、年間最高気温は 38.8℃となっている。

部門別二酸化炭素排出量（令和 3 年度）



二酸化炭素排出量の推移



資料：環境省「部門別 CO2 排出量の現況推計」

地域気象観測所（美濃加茂）の気象データの推移

	年間 降水量 (mm)	年間 平均気温 (℃)	年間 最高気温 (℃)	年間 最低気温 (℃)	年間 平均風速 (m/s)	年間 日照時間 (h)
R1 (2019)	1,643.5	15.9	37.9	-5.2	1.7	2,223.4
R2 (2020)	1,954.5	15.8	38.9	-4.8	1.7	2,199.7
R3 (2021)	2,266.0	15.8	38.4	-5.7	1.7	1,774.8
R4 (2022)	1,874.0	15.7	38.9	-5.2	1.7	2,195.3
R5 (2023)	1,870.0	16.3	38.8	-4.8	1.7	2,349.0

資料：気象庁「気象庁統計情報」

11. 防災・防犯

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 消防車両が一定数確保されている。 ● 消防・救急体制の整備に対する満足度が高い。 ● 防犯体制の整備に対する満足度が高い。 ● 交通安全の推進に対する満足度が高い。
弱み（課題）	● 時間最大降雨量が上昇傾向にあり、風水害の激甚化への対応が必要。 ● 災害のための備えができていない人の割合が低迷している。 ● 防災対策についての改善度指数が高い。 ● 火災発生件数が一定数あり、火災予防対策が課題。 ● 消防団員数が対人口比で県平均を下回っており、消防力の充実が課題。 ● 救急出動件数および搬送人員が増加傾向にある。 ● 窃盗犯が全体の7割を超えるなど、犯罪の内容によっては特別な対策が必要。 ● 交通事故発生件数が一定数あり、交通安全対策が課題。
取り組みの方向性	● 地域や家庭に対し、突然の災害発生に備えた防災体制整備の呼びかけおよび支援を行う。 ● 水害リスクを踏まえた河川改修や下水道整備、土地利用や浸水対策の促進、ハザード情報の周知等を行う。 ● 住宅防火対策や防火啓発活動を強化し、火災予防に努める。 ● 消防団員の確保に向けた取り組みを検討する。 ● 救急体制の維持・強化に努める。 ● 犯罪実態に応じた効果的な防犯対策を検討する。 ● 交通安全教育や啓発活動、安全施設の整備などに取り組む。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①防災・救急	39 防災対策	2.8	46.0	C-	4.1	64.2	B	9.9	要改善
①防災・救急	40 消防・救急体制の整備	3.5	69.5	A	4.1	61.9	B	-3.5	取組維持
②防犯・交通安全	41 防犯体制の整備	3.3	63.5	B	4.2	66.4	A	1.3	改善検討
②防犯・交通安全	42 交通安全の推進	3.1	56.7	B	4.1	59.4	B	1.2	改善検討

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

① 防災・救急

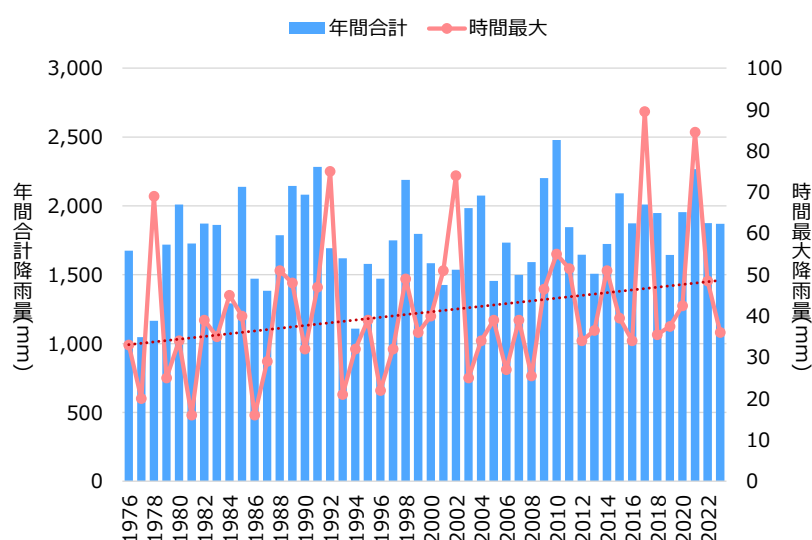
- 南海トラフ巨大地震の被害想定は、最大震度 6 弱、全壊棟数は 362 棟、死者数は 5 人となっている。
- 時間最大降雨量は上昇基調となっている。
- 災害のための備えができている人の割合は低迷しており、令和 5 年度は 38.4%となっている。

南海トラフ巨大地震被害想定

南海トラフ巨大地震被害想定(美濃加茂市)	
最大震度	5.82 (6 弱)
全壊棟数	362 棟
死者数	5 人 (午前 5 時)

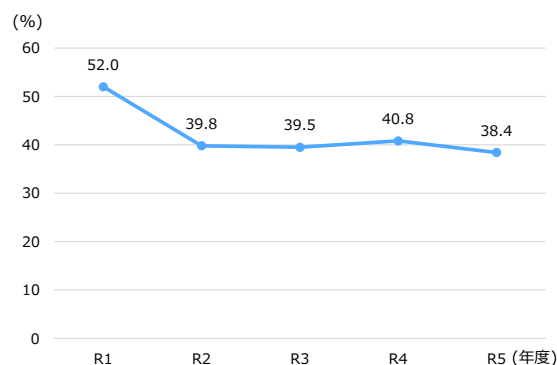
資料：岐阜県「平成 23～24 年度 岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査」

美濃加茂の降雨量の推移



資料：気象庁「気象庁統計情報」

災害のための備えができている人の割合の推移

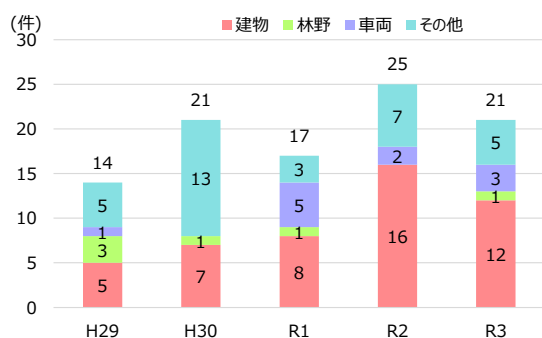


資料：美濃加茂市「美濃加茂市市民満足度調査」

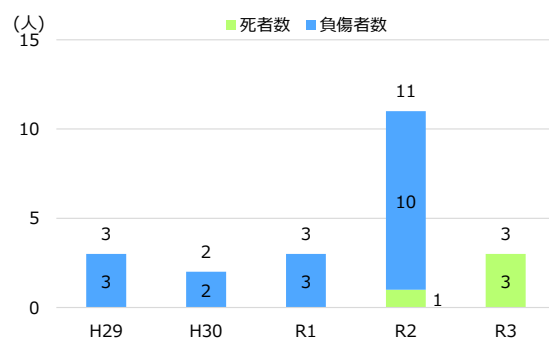
II. まちの現況と課題の整理 10. 防災・防犯

- 令和3年の火災発生件数は21件となっている。
- 令和3年の火災による死傷者数は、死者が3人、負傷者が0人となっている。
- 令和3年の消防団員数は290人となっている。対人口比をみると、岐阜県を下回っている。

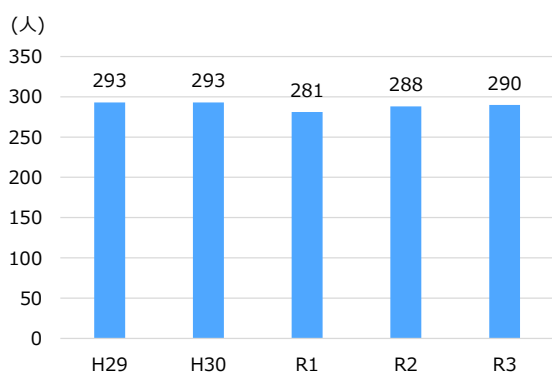
火災発生件数の推移



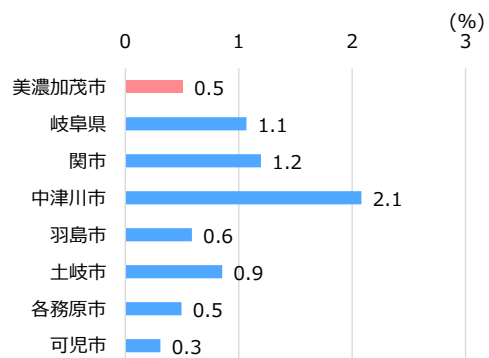
火災による死傷者数の推移



消防団員数の推移



消防団員の対人口比（令和3年）



注：当該年人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口」の人口

資料：岐阜県「岐阜県統計書」

II. まちの現況と課題の整理 10. 防災・防犯

- 令和4年の消防団消防車等の現有数は27台、可茂消防事務組合は57台となっている。

消防団消防車等現有数（令和4年）

（台）

	合計	普通消防 ポンプ自 動車	水槽付き 消防ポン プ自動車	指揮車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	その他
美濃加茂市	27	8	0	0	16	3	0
岐阜県	1,627	430	4	27	912	199	55
関市	102	20	0	1	69	7	5
中津川市	108	39	0	4	63	0	2
羽島市	39	10	0	0	13	16	0
土岐市	25	7	0	0	17	1	0
各務原市	59	5	0	0	54	0	0
可児市	35	18	0	0	0	17	0

消防ポンプ自動車現有数(消防本部別)(令和4年)

（台）

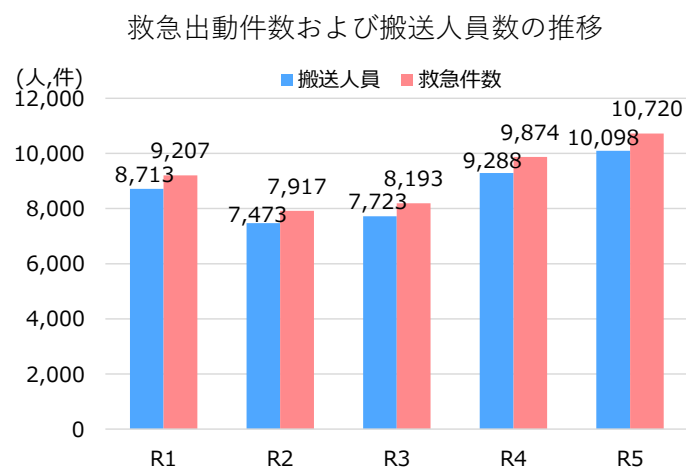
	合計	普通消防 ポンプ自 動車	水槽付消 防ポンプ 自動車	はしご付 消防車	屈折はし ご付消防 自動車	化学消防 自動車	指揮車	救急自動 車	電源・照 明車	救助工作 車
可茂消防事務組合	57	0	13	1	1	1	2	15	0	2
岐阜県計	688	74	96	10	8	20	43	152	2	33
中津川市	30	2	6	0	1	1	4	9	0	2
羽島市	19	2	3	0	0	1	2	5	1	1
土岐市	24	3	2	0	0	1	2	4	0	1
各務原市	43	4	7	1	0	2	1	8	0	2
中濃消防組合	40	6	6	1	0	0	2	10	0	2

	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	広報車	資機材搬 送車	自動二輪 消防活動 全般車	水槽車小 型動力ポ ンプ付	移動無線 電話車	防災指導 車	起震車	その他
可茂消防事務組合	0	0	9	3	0	0	0	0	0	10
岐阜県計	0	48	66	48	1	14	0	3	2	68
中津川市	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1
羽島市	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0
土岐市	0	3	2	2	0	0	0	0	0	4
各務原市	0	0	8	2	0	1	0	0	0	7
中濃消防組合	0	0	7	3	0	1	0	0	0	2

岐阜県「岐阜県消防防災年報」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 10. 防災・防犯

- 救急出動件数および搬送人員は令和 3 年以降増加傾向にあり、令和 5 年の救急出動件数は 10,720 件、搬送人員は 10,098 人となっている。



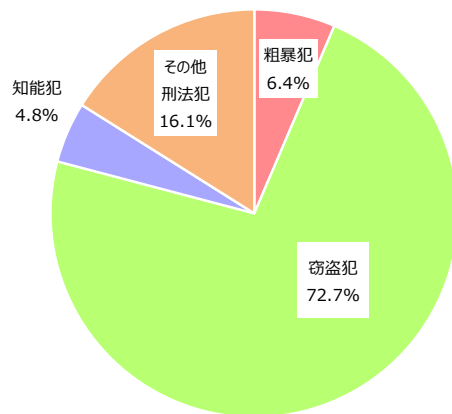
資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 10. 防災・防犯

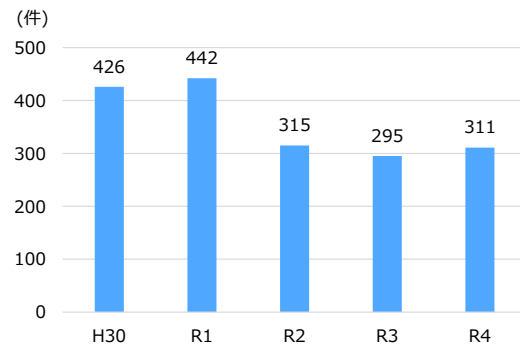
② 防犯・交通安全

- 令和 4 年の刑法犯認知件数は 311 件となっている。割合としては「窃盗犯」が 72.7%で最も多くなっている。
- 令和 3 年の交通事故（人身事故）発生件数は 79 件となっている。

罪種別犯罪発生件数（令和 4 年）

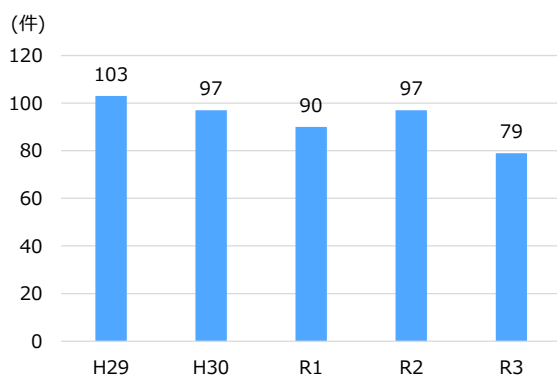


刑法犯認知件数の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

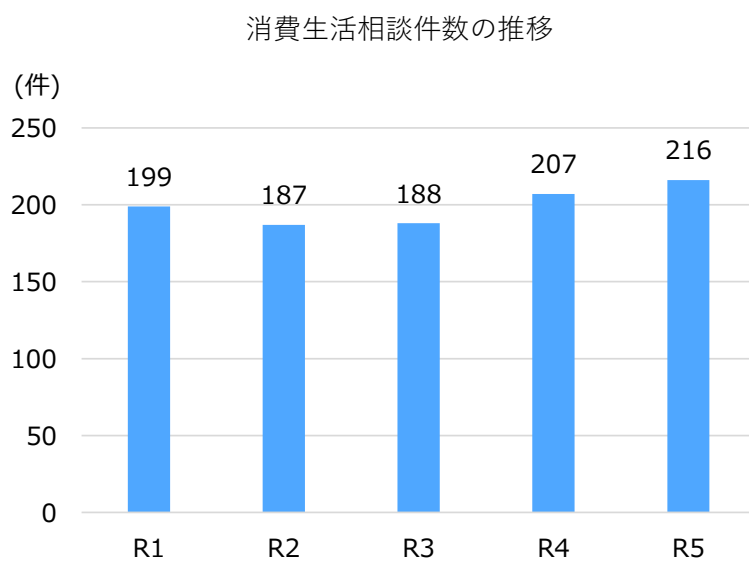
交通事故（人身事故）発生件数の推移



資料：岐阜県「岐阜県統計書」

③ 消費生活相談

- 令和5年の消費生活相談件数は216件となっている。



資料：美濃加茂市

12. 行財政

(1) 概要

① 特筆すべき強みと弱み（課題）の整理

強み	● 財政力指数は 0.78 と、県平均を上回っている。 ● 実質公債費比率は 4.4%と、県平均を下回っている。
弱み（課題）	● 令和 4 年度の実質収支比率が 16.4%と適正範囲を上回っており、適切な財政運営が必要。 ● 経常収支比率が 88.8%と適正範囲を上回っており、財政構造の硬直化が課題。 ● 投資的経費が大きく減少しており、公共施設等の改修・更新が課題。 ● 扶助費が高水準で、高齢化の進展に伴い更なる増加が懸念される。 ● 職員数が人口比で県平均を下回っており、適正な職員配置が課題。 ● ラスパイレス指数が低く、職員確保や士気維持の観点からは是正が必要。
取り組みの方向性	● 適正な財政運営および財政構造の硬直化の是正に努める。 ● 公共施設の長寿命化や統廃合など、計画的な施設マネジメントを行う。 ● 社会保障関係費の適正化を図りつつ、真に必要な支援を行う。 ● 行政ニーズに応じた適正な定員管理を行う。 ● 職員の給与水準の適正化に計画的に取り組む。

② 満足度・重要度の評価と改善度指数（「未来のまちづくりアンケート」より算出）

		満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評価	平均	偏差値	評価	数値	判断
①財政	48 健全な行財政運営	2.8	43.3	D	3.9	52.1	C+	4.8	改善検討
②行政運営	43 DX(デジタル技術による改革)の推進	3.1	52.5	C+	3.8	43.7	D	-5.0	取組維持
②行政運営	49 周辺市町村との連携	2.9	44.7	D	3.7	43.6	D	-0.5	取組維持

満足度及び重要度の評価基準

偏差値	評価
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

(2) 関連データ

① 財政

- 令和4年度の財政力指数は0.78と、岐阜県を上回っている。
- 令和4年度の実質収支比率は16.4%と、適正範囲とされる3～5%を上回っている。
- 令和4年度の経常収支比率は88.8%と、適正範囲とされる70～80%を上回っている。
- 実質公債費比率は低下傾向にあり、令和4年度は4.4%と岐阜県を下回っている。
- 歳入と歳出は令和2年度に大きく増加し、その後は減少傾向となっている。

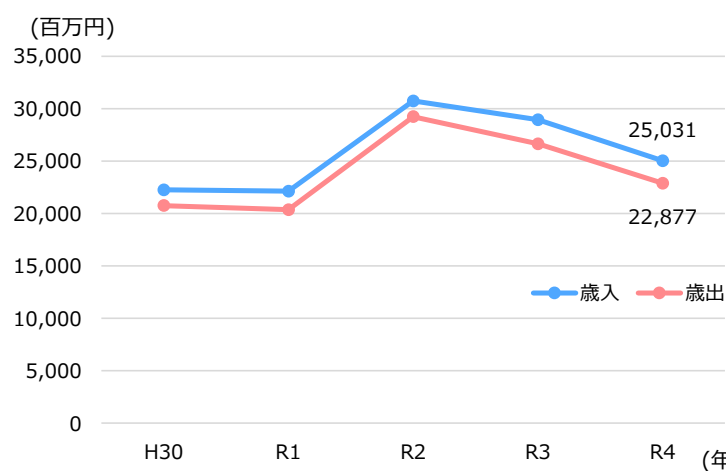
財政状況の推移

	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
財政力指数	0.81	0.82	0.82	0.81	0.78
実質収支比率 (%)	11.6	14.4	10.4	16.4	16.4
経常収支比率 (%)	86.8	89.4	90.5	83.2	88.8
実質公債費比率 (%)	5.7	5.6	5.2	5.0	4.4

財政状況（令和4年度）

	財政力 指数	実質収支 比率 (%)	経常収支 比率 (%)	実質公債 費比率 (%)
美濃加茂市	0.78	16.4	88.8	4.4
岐阜県	0.56	10.4	86.2	6.4
関 市	0.61	16.8	81.3	1.8
中津川市	0.49	22.1	90.4	6.7
羽 島 市	0.76	10.4	95.7	5.9
土 岐 市	0.66	3.1	93.9	5.6
各務原市	0.87	10.7	92.8	5.6
可 児 市	0.84	12.7	87.2	0.0

歳入と歳出の推移



資料：岐阜県「市町村財政の状況」

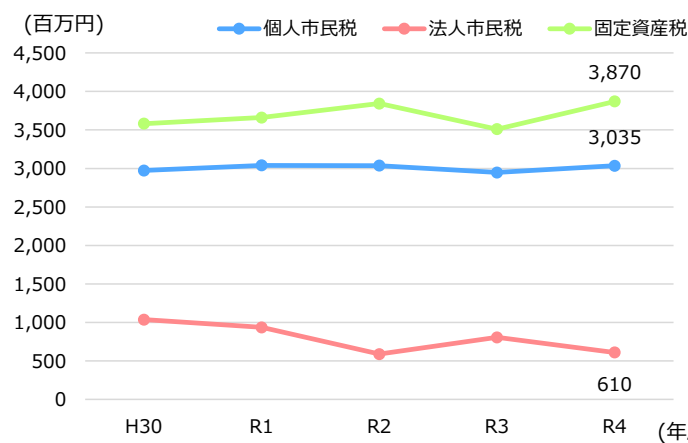
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 11. 行財政

- 令和4年度の歳入は、自主財源が52.3%で、うち市税が35.0%となっている。
- 固定資産税は概ね増加傾向、法人市民税は概ね減少傾向、個人市民税は横ばいで推移している。

令和4年度の歳入の状況

	決算額 (千円)	構成比 (%)
自主財源	13,094,095	52.3
市税	8,755,706	35.0
分担金・負担金	147,606	0.6
使用料・手数料	284,725	1.1
財産収入	85,008	0.3
寄附金	493,285	2.0
繰入金	271,531	1.1
繰越金	2,288,611	9.1
諸収入	767,623	3.1
依存財源	11,936,507	47.7
地方譲与税	239,096	1.0
利子割交付金	3,015	0.0
ゴルフ場利用税交付金	35,303	0.1
自動車取得税交付金	—	0.0
地方特例交付金	99,786	0.4
地方交付税	2,947,364	11.8
交通安全対策特別交付金	5,193	0.0
国庫支出金	4,315,162	17.2
県支出金	1,661,443	6.6
市債	968,900	3.9
特別地方消費税交付金	—	0.0
地方消費税交付金	1,421,070	5.7
その他	240,175	1.0
合計	25,030,602	100.0

主な市税の推移



資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」、岐阜県「市町村財政の状況」

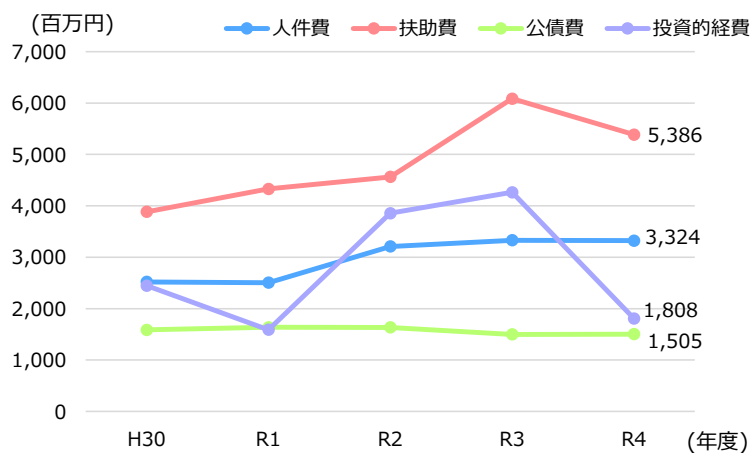
Ⅱ. まちの現況と課題の整理 11. 行財政

- 扶助費は令和 3 年度まで増加傾向にあったが、令和 4 年度に減少している。
- 人件費は令和 2 年度にかけて緩やかに増加し、概ね横ばいで推移している。
- 公債費は概ね横ばいで推移している。
- 投資的経費は令和 3 年度にかけて増加傾向にあったが、令和 4 年度に大きく減少している。

令和 4 年度の性質別歳出の状況

	決算額 (千円)	構成比 (%)
人件費	3,323,743	14.5
物件費	4,114,369	18.0
維持補修費	83,353	0.4
扶助費	5,385,530	23.5
補助費等	3,891,913	17.0
公債費	1,505,061	6.6
積立金	959,952	4.2
投資・出資金・貸付金	153,000	0.7
繰出金	1,652,567	7.2
投資的経費	1,807,803	7.9
合計	22,877,291	100.0

義務的経費と投資的経費の推移

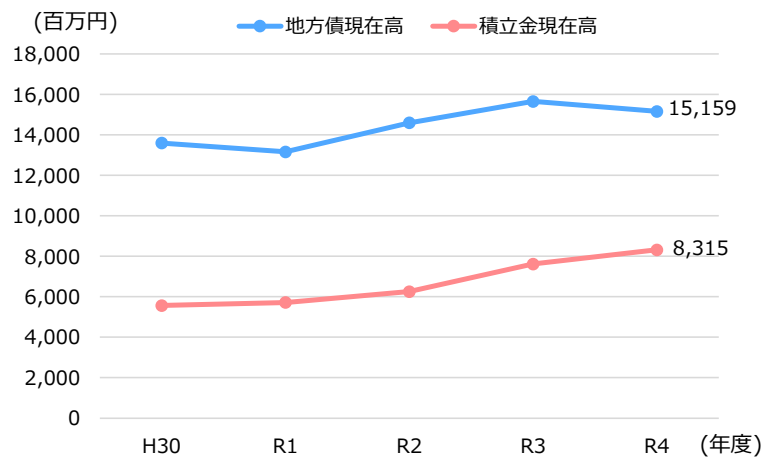


資料：美濃加茂市「美濃加茂市統計書」

Ⅱ. まちの現況と課題の整理 11. 行財政

- 地方債現在高、積立金現在高ともに概ね増加傾向にある。
- 令和5年度の市民1人当たりの市税負担額は109,708円となっている。

地方債現在高と積立金現在高の推移

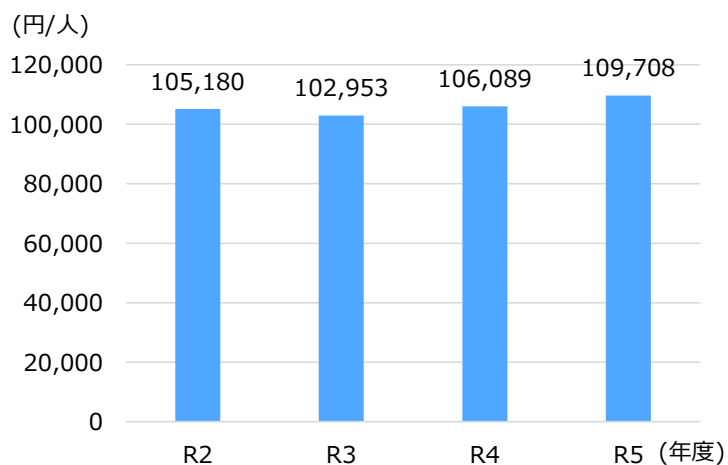


(千円)

	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)
地方債現在高	13,596,003	13,160,604	14,597,205	15,654,095	15,159,018
うち公的資金	9,435,401	9,399,062	11,106,400	12,280,266	12,167,211
積立金現在高	5,566,570	5,717,879	6,256,983	7,619,850	8,315,489
財政調整基金	3,655,658	3,704,123	4,213,257	4,327,151	4,441,159
減債基金	345,377	351,246	353,038	354,202	855,349
その他特定目的基金	1,565,535	1,662,510	1,690,688	2,938,497	3,018,981

資料：岐阜県「市町村財政の状況」

市民1人当たりの市税負担額の推移

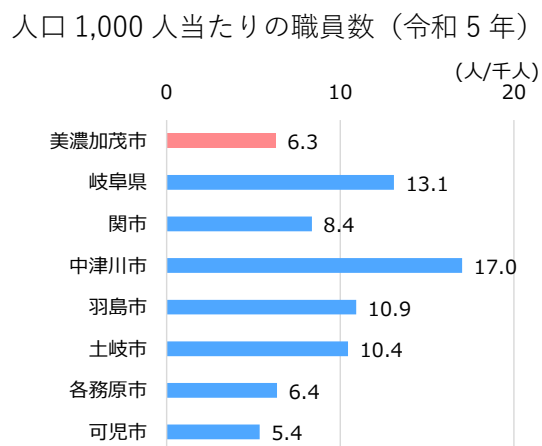
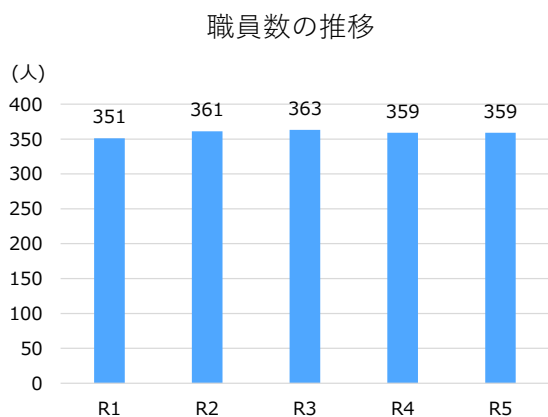


資料：美濃加茂市「財政状況に関する公表」

II. まちの現況と課題の整理 11. 行財政

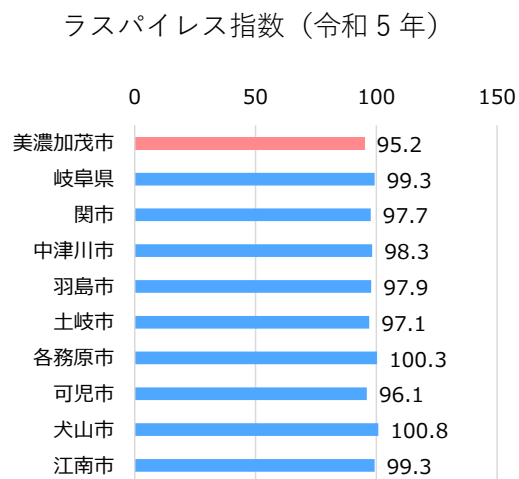
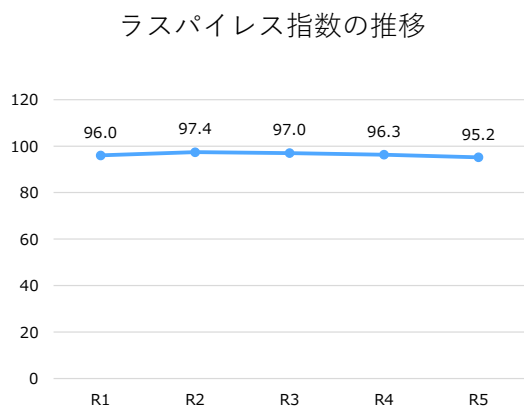
② 行政運営

- 令和 5 年の職員数は 359 人となっている。人口 1,000 人当たりの職員数は 6.3 人と、岐阜県を下回っている。
- 令和 5 年のラスパイレス指数は 95.2 となっており、国家公務員の給与水準を下回っている。また、岐阜県を下回っている。



注：当該年人口は総務省「住民基本台帳に基づく人口」の人口

資料：総務省「地方公共団体定員管理調査結果」



資料：総務省「地方公務員給与実態調査」

Ⅲ.アンケートの分析

当市にて実施した各種アンケートの調査結果の要点を整理した。

(1) アンケートの概要

アンケート名	調査対象	有効 回収数	調査期間
未来のまちづくりアンケート	18 歳以上の市民 1,500 人	627	令和 6 年 2 月 19 日～3 月 8 日
未来のまちづくりアンケート（どなたでも）	どなたでも ※市外在住も可	1,176	令和 6 年 3 月 12 日～3 月 27 日
未来のまちづくりアンケート（中学生）	市内在住の中学 3 年生 587 人	412	令和 6 年 1 月 15 日～2 月 16 日
若者の「生活とまちに対する意識」 アンケート	市内在住の 高校生 1,876 人	181	令和 6 年 1 月 15 日～1 月 31 日
令和 5 年度美濃加茂市市民満足度調査	18 歳以上の市民 1,500 人	681	令和 5 年 12 月 8 日～12 月 28 日

留意点

- ・ 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、集計表・グラフの内訳の合計が 100% とならないことがある。
- ・ 回答の比率（%）は、その質問の回答者数（n）を基数として算出しており、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100%を超えることがある。
- ・ 本文や図表中の選択肢の表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

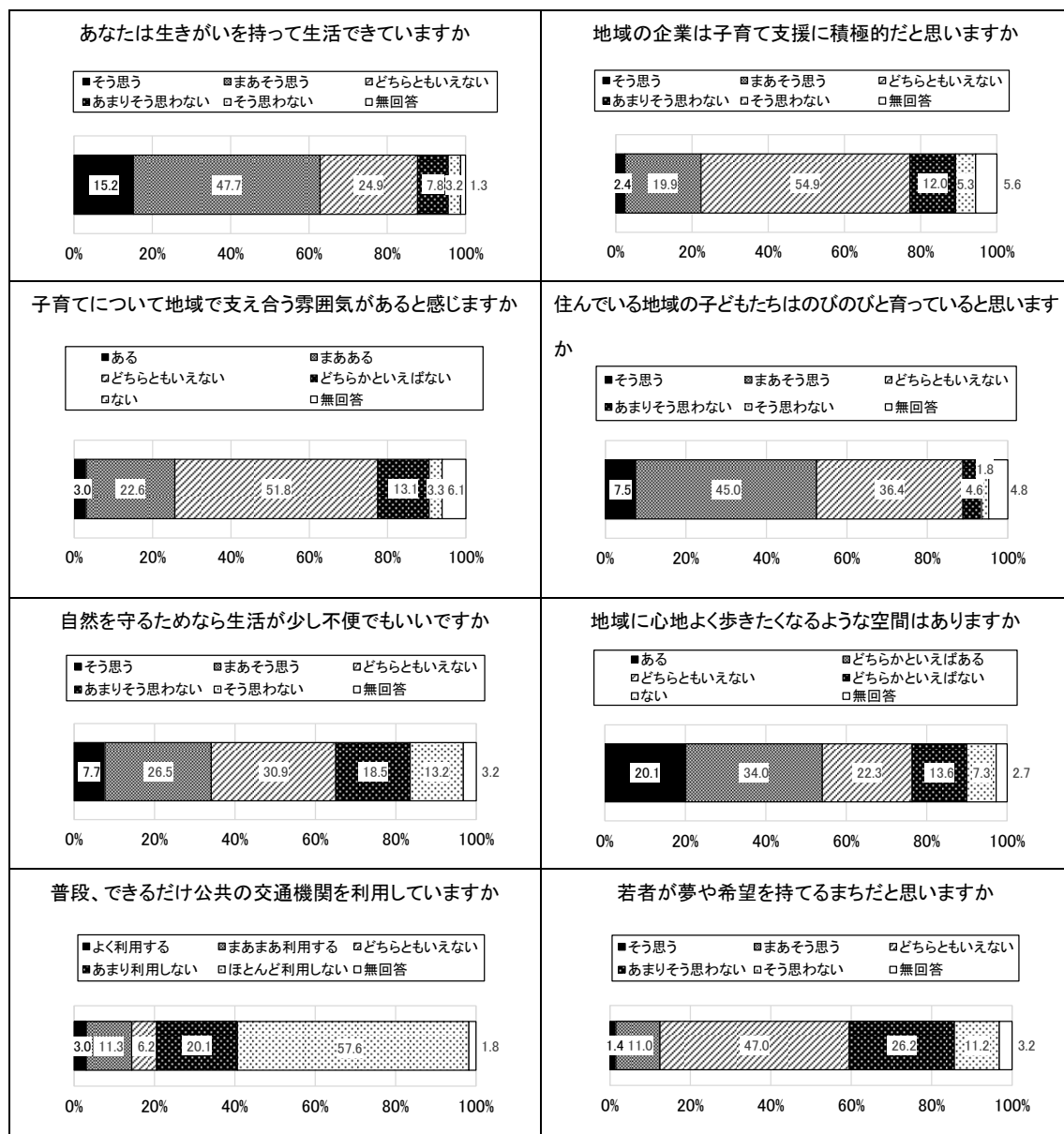
Ⅲ. アンケートの分析

(2) 結果の概要

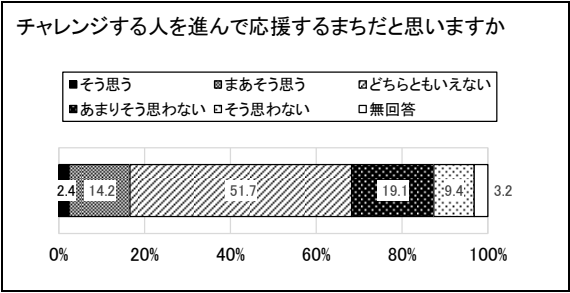
① まちづくりの意識と取り組みについて (未来のまちづくりアンケート)

市民が生きがいを持って生活できている点、子どもたちがのびのびと育っている環境、心地よく歩ける空間の整備などが評価されている。

一方で、地域の企業による子育て支援の取り組みや、地域全体で子育てを支え合う雰囲気についての評価は低く、子育て支援が課題となっている。加えて、自然環境保護と生活の利便性に対する意識の二分、公共交通機関の利用低迷、若者の夢や挑戦を後押しする環境の不足なども課題と捉えられる。



III. アンケートの分析



② 満足度指数・重要度指数

【分野・項目別の満足度指数・重要度指数】
(未来のまちづくりアンケート)

まちづくりの施策にかかる 7 つの分野および 49 の項目について、それぞれの回答をもとに指数化※2した。

満足度指数では「22 市街地の整備」が－3.8 と最も低く、次いで「24 観光の振興」、「20 商業の振興」が低い数値となっている。49 項目中 19 項目がマイナスとなっている。数値の高い項目は、「33 上水道の安全供給」、「40 消防・救急体制の整備」、「3 医療体制の整備」となった。

重要度指数では、「3 医療体制の整備」、「41 防犯体制の整備」、「5 介護・高齢者福祉の推進」などが高い数値となっている。

※2 5 段階の評価にそれぞれ点数を与え、満足度指数および重要度指数を算出。

$$\text{評価点} = \left\{ \begin{array}{l} \text{「満足/重要である」の回答者数} \times 10 \text{点} \\ + \\ \text{「やや満足/やや重要」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ + \\ \text{「普通/どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} \\ + \\ \text{「やや不満/あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} \\ + \\ \text{「不満/重要でない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right\} \div \text{すべての回答者の合計数}$$

この算出方法により、指数は－10 点～10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

Ⅲ. アンケートの分析

分野・項目別の満足度指数・重要度指数

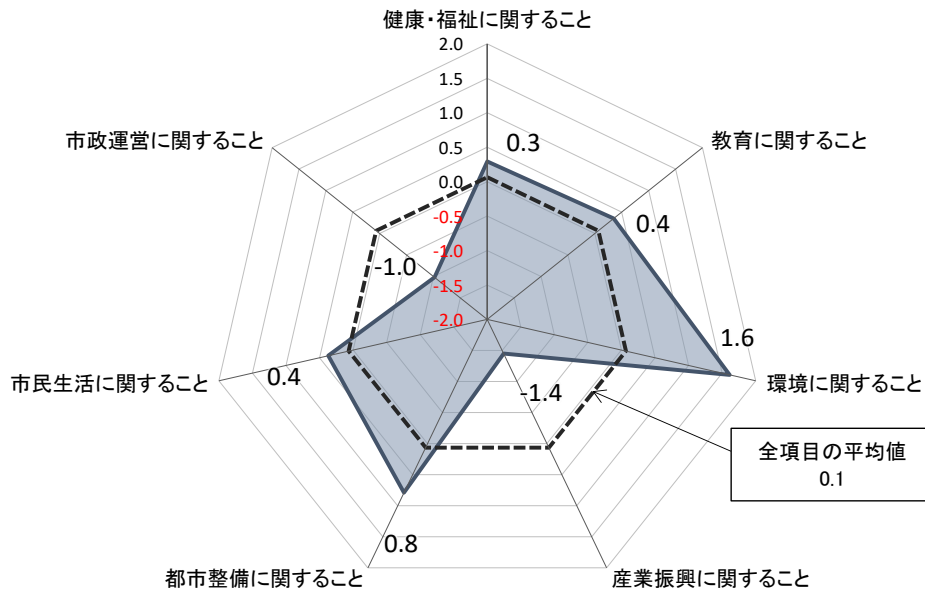
分野	項目	満足度指数		重要度指数	
		満足度指数(順位)	分野平均	重要度指数(順位)	分野平均
健康・福祉に関すること	1 健康づくりの推進	0.7 (11)	0.3	5.5 (8)	5.2
	2 母子保健の推進	0.5 (17)		4.9 (15)	
	3 医療体制の整備	2.5 (3)		6.9 (1)	
	4 障がい者福祉の推進	-0.4 (34)		4.5 (21)	
	5 介護・高齢者福祉の推進	0.1 (26)		6.2 (3)	
	6 子育て支援の推進	0.4 (19)		5.5 (9)	
	7 発達支援の推進	-0.3 (32)		5.0 (14)	
	8 市民福祉の推進	-0.7 (38)		4.4 (23)	
	9 地域福祉の推進	-0.3 (33)		3.5 (39)	
教育に関すること	10 保育の充実	0.6 (16)	0.4	3.7 (34)	3.7
	11 学校教育の充実	0.2 (22)		4.5 (22)	
	12 青少年の健全育成	0.1 (25)		4.1 (28)	
	13 生涯学習の推進	0.0 (29)		4.0 (29)	
	14 文化・芸術の振興	0.9 (10)		3.2 (43)	
	15 スポーツ活動の推進	0.3 (21)		2.5 (49)	
環境に関すること	16 環境保全	2.0 (5)	1.6	5.7 (7)	5.5
	17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	1.2 (8)		5.3 (12)	
産業振興に関すること	18 特産品などの発展と創造	-1.3 (44)	-1.4	2.9 (46)	3.7
	19 労働環境の整備	-1.1 (42)		4.8 (18)	
	20 商業の振興	-2.8 (47)		4.2 (25)	
	21 工業の振興	-0.9 (40)		3.7 (35)	
	22 市街地の整備	-3.8 (49)		3.8 (33)	
	23 農林業の振興	0.1 (27)		3.1 (44)	
	24 観光の振興	-2.9 (48)		3.1 (45)	
	25 里山の整備	1.2 (9)		3.6 (36)	
都市整備に関すること	26 住宅地の整備	0.7 (14)	0.8	4.1 (27)	4.6
	27 良好な景観の形成	0.4 (20)		3.5 (40)	
	28 公園の整備	0.0 (30)		4.3 (24)	
	29 河川の整備	0.5 (18)		3.3 (42)	
	30 生活道路の整備	-0.1 (31)		5.5 (10)	
	31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	-0.4 (35)		4.6 (19)	
	32 下水道の整備	2.3 (4)		5.3 (13)	
	33 上水道の安全供給	3.0 (1)		6.1 (4)	
市民生活に関すること	34 人権意識の高揚	0.2 (23)	0.4	3.8 (31)	4.6
	35 男女共同参画の推進	0.0 (28)		3.4 (41)	
	36 ワークライフバランスの推進	0.2 (24)		3.8 (32)	
	37 多文化共生の推進	0.7 (12)		2.8 (47)	
	38 公共交通の推進	-2.0 (46)		4.9 (16)	
	39 防災対策	-0.8 (39)		5.7 (6)	
	40 消防・救急体制の整備	2.6 (2)		5.7 (5)	
	41 防犯体制の整備	1.6 (6)		6.2 (2)	
	42 交通安全の推進	0.7 (13)		5.4 (11)	
	43 DX(デジタル技術による改革)の推進	0.6 (15)		3.9 (30)	
	44 市の情報の発信	1.3 (7)		3.6 (38)	
	45 市民の自治意識の高揚	-0.5 (36)		2.6 (48)	
市政運営に関すること	46 市の運営への市民意見の反映	-1.4 (45)	-1.0	4.9 (17)	4.3
	47 市民と市で協働のまちづくり	-1.1 (43)		4.2 (26)	
	48 健全な行財政運営	-0.9 (41)		4.6 (20)	
	49 周辺市町村との連携	-0.7 (37)		3.6 (37)	
全項目の平均値		0.1		4.4	

III. アンケートの分析

【分野別満足度指数】

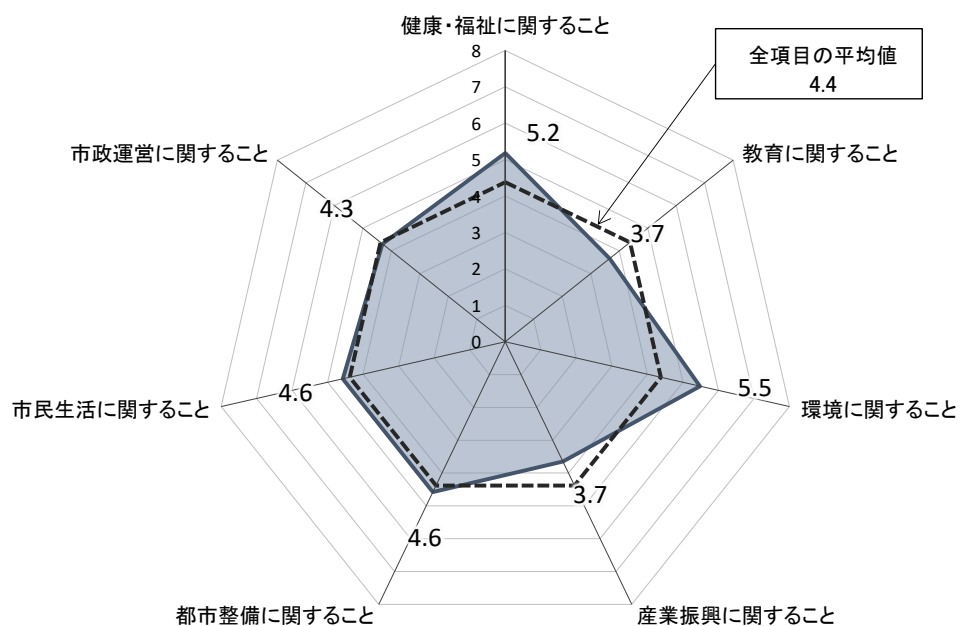
(未来のまちづくりアンケート)

分野別に満足度指数をみると、「環境に関すること」が最も高い。一方で「産業振興に関すること」、「市政運営に関すること」は指数がマイナスとなっている。



【分野別重要度指数】

分野別に重要度指数をみると「環境に関すること」、「健康・福祉に関すること」が比較的高い数値となった。



III. アンケートの分析

③ 改善度指数

(未来のまちづくりアンケート)

49 の項目について、それぞれの満足度と重要度の偏差値^{※3}を算出し、A、B、C+、C-、D、E の 6 段階^{※4}で評定した。

また、満足度偏差値と重要度偏差値をもとに、改善すべき項目とその強弱を示す「改善度指数^{※5}」を算出した。即改善が求められる項目は「38 公共交通の推進」、「22 市街地の整備」、要改善の項目は「39 防災対策」、「20 商業の振興」、「46 市の運営への市民意見の反映」、「5 介護・高齢者福祉の推進」、「19 労働環境の整備」、「30 生活道路の整備」、「24 観光の振興」となった。

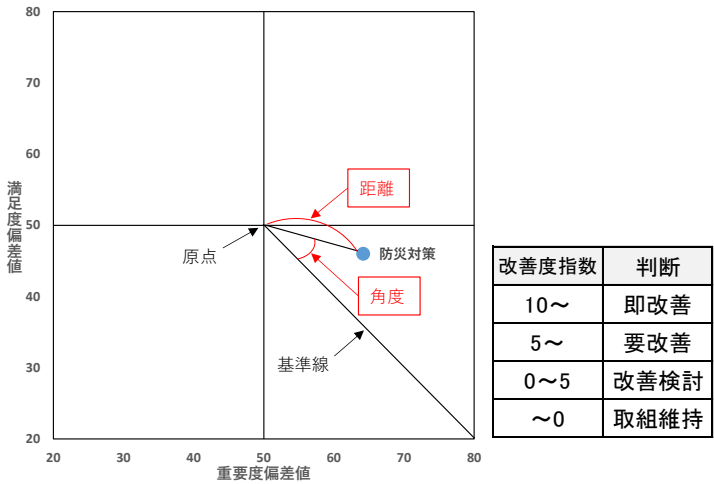
※3 各項目の得点が 50 点、標準偏差（平均からの隔たり）が 10 点になるように換算したもの。

偏差値（満足度・重要度共通）＝10×（各項目の得点－平均）÷標準偏差+50

※4 満足度偏差値および重要度偏差値の評定基準は以下のとおり。

偏差値	評定
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

※5 改善度指数は、改善すべき項目や改善順序を把握する手法。グラフの右下（満足度偏差値が低く、重要度偏差値が高い）に位置する項目ほど高い値となる。具体的には、各項目の散布点の、原点からの距離と、基準線（原点と右下最下点を結んだ線）からの角度をもとに算出。距離が長く、角度が 0 に近いほど改善度指数は高くなる。10 以上が「即改善」、5 以上が「要改善」と解釈される。



Ⅲ. アンケートの分析

満足度・重要度の評定と改善度指数（全体）

分野	項目	満足度			重要度			改善度指数	
		平均	偏差値	評定	平均	偏差値	評定	数値	判断
健康・福祉に関すること	1 健康づくりの推進	3.1	59.5	B	4.1	64.9	B	2.5	改善検討
	2 母子保健の推進	3.1	46.4	C-	4.0	48.6	C-	1.0	改善検討
	3 医療体制の整備	3.5	70.1	A	4.4	72.1	A	0.9	改善検討
	4 障がい者福祉の推進	2.9	47.2	C-	3.9	50.2	C+	1.5	改善検討
	5 介護・高齢者福祉の推進	3.0	53.5	C+	4.2	68.4	A	7.1	要改善
	6 子育て支援の推進	3.1	48.2	C-	4.1	55.6	B	4.1	改善検討
	7 発達支援の推進	2.9	43.2	D	4.0	49.8	C-	3.3	改善検討
	8 市民福祉の推進	2.9	42.8	D	3.9	49.2	C-	3.1	改善検討
	9 地域福祉の推進	2.9	39.6	D	3.7	32.4	E	-3.3	取組維持
教育に関すること	10 保育の充実	3.1	45.0	D	3.7	37.3	D	-3.5	取組維持
	11 学校教育の充実	3.0	43.3	D	3.9	43.3	D	0.0	改善検討
	12 青少年の健全育成	3.0	44.1	D	3.8	40.8	D	-1.5	取組維持
	13 生涯学習の推進	3.0	44.4	D	3.8	41.2	D	-1.5	取組維持
	14 文化・芸術の振興	3.2	51.4	C+	3.6	37.0	D	-7.4	取組維持
	15 スポーツ活動の推進	3.1	47.3	C-	3.5	30.2	E	-8.3	取組維持
環境に関すること	16 環境保全	3.4	65.0	B	4.1	60.1	B	-2.2	取組維持
	17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	3.2	60.4	B	4.1	59.4	B	-0.4	取組維持
産業振興に関すること	18 特産品などの発展と創造	2.7	42.2	D	3.6	40.2	D	-0.9	取組維持
	19 労働環境の整備	2.8	42.0	D	4.0	52.1	C+	5.5	要改善
	20 商業の振興	2.4	31.7	E	3.8	49.5	C-	8.8	要改善
	21 工業の振興	2.8	42.6	D	3.7	43.7	D	0.5	改善検討
	22 市街地の整備	2.2	26.8	E	3.8	48.0	C-	10.4	即改善
	23 農林業の振興	3.0	49.7	C-	3.6	40.4	D	-4.6	取組維持
	24 観光の振興	2.4	31.3	E	3.6	42.3	D	5.1	要改善
	25 里山の整備	3.2	58.9	B	3.7	46.2	C-	-7.3	取組維持
都市整備に関すること	26 住宅地の整備	3.1	55.9	B	3.8	50.2	C+	-2.8	取組維持
	27 良好な景観の形成	3.1	54.7	C+	3.7	46.8	C-	-5.0	取組維持
	28 公園の整備	3.0	51.8	C+	3.9	52.3	C+	0.2	改善検討
	29 河川の整備	3.1	53.5	C+	3.7	43.2	D	-6.2	取組維持
	30 生活道路の整備	3.0	51.4	C+	4.1	62.2	B	5.3	要改善
	31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	2.9	48.2	C-	3.9	54.5	C+	3.6	改善検討
	32 下水道の整備	3.5	68.5	A	4.1	61.0	B	-3.4	取組維持
	33 上水道の安全供給	3.6	73.6	A	4.2	67.9	A	-2.6	取組維持
市民生活に関すること	34 人権意識の高揚	3.0	52.9	C+	3.8	47.9	C-	-3.2	取組維持
	35 男女共同参画の推進	3.0	50.8	C+	3.7	44.5	D	-3.3	取組維持
	36 ワークライフバランスの推進	3.0	50.0	C+	3.8	45.3	C-	-2.4	取組維持
	37 多文化共生の推進	3.1	54.2	C+	3.6	37.9	D	-9.1	取組維持
	38 公共交通の推進	2.6	38.5	D	4.0	58.3	B	12.7	即改善
	39 防災対策	2.8	46.0	C-	4.1	64.2	B	9.9	要改善
	40 消防・救急体制の整備	3.5	69.5	A	4.1	61.9	B	-3.5	取組維持
	41 防犯体制の整備	3.3	63.5	B	4.2	66.4	A	1.3	改善検討
	42 交通安全の推進	3.1	56.7	B	4.1	59.4	B	1.2	改善検討
	43 DX(デジタル技術による改革)の推進	3.1	52.5	C+	3.8	43.7	D	-5.0	取組維持
	44 市の情報の発信	3.3	61.4	B	3.7	44.7	D	-9.8	取組維持
	45 市民の自治意識の高揚	2.9	47.8	C-	3.5	36.1	D	-5.6	取組維持
市政運営に関すること	46 市の運営への市民意見の反映	2.7	41.3	D	4.0	54.3	C+	7.7	要改善
	47 市民と市で協働のまちづくり	2.8	42.8	D	3.8	48.8	C-	2.9	改善検討
	48 健全な行財政運営	2.8	43.3	D	3.9	52.1	C+	4.8	改善検討
	49 周辺市町村との連携	2.9	44.7	D	3.7	43.6	D	-0.5	取組維持
平均値		3.0	50.0		3.9	50.0			

満足度及び重要度の評定基準

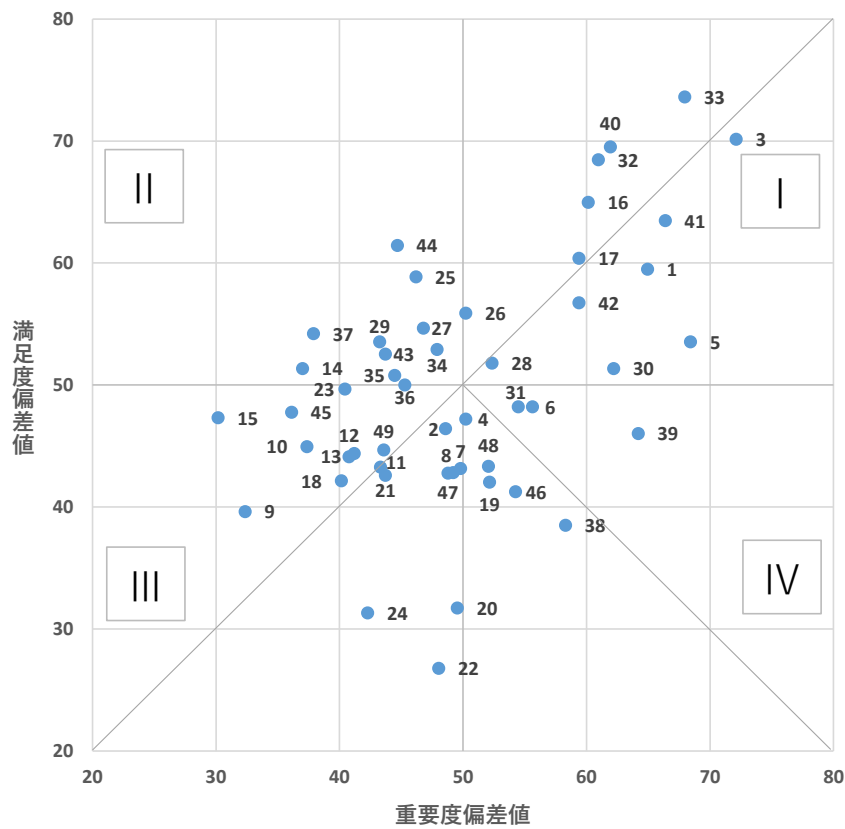
偏差値	評定
65～	A
55～65	B
50～55	C+
45～50	C-
35～45	D
～35	E

改善度指数の判断基準

改善度指数	判断
10～	即改善
5～	要改善
0～5	改善検討
～0	取組維持

III. アンケートの分析

満足度と重要度の相関（全体）



満足度高・重要度低【II】	満足度高・重要度高【I】
14 文化・芸術の振興 25 里山の整備 27 良好な景観の形成 29 河川の整備 34 人権意識の高揚 35 男女共同参画の推進 36 ワークライフバランスの推進 37 多文化共生の推進 43 DX（デジタル技術による改革）の推進 44 市の情報の発信	1 健康づくりの推進 3 医療体制の整備 5 介護・高齢者福祉の推進 16 環境保全 17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策 26 住宅地の整備 28 公園の整備 30 生活道路の整備 32 下水道の整備 33 上水道の安全供給 40 消防・救急体制の整備 41 防犯体制の整備 42 交通安全の推進
満足度低・重要度低【III】	満足度低・重要度高【IV】
2 母子保健の推進 7 発達支援の推進 8 市民福祉の推進 9 地域福祉の推進 10 保育の充実 11 学校教育の充実 12 青少年の健全育成 13 生涯学習の推進 15 スポーツ活動の推進 18 特産品などの発展と創造 20 商業の振興 21 工業の振興 22 市街地の整備 23 農林業の振興 24 観光の振興 45 市民の自治意識の高揚 47 市民と市で協働のまちづくり 49 周辺市町村との連携	4 障がい者福祉の推進 6 子育て支援の推進 19 労働環境の整備 31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり 38 公共交通の推進 39 防災対策 46 市の運営への市民意見の反映 48 健全な行財政運営

Ⅲ. アンケートの分析

満足度（年代別）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	627	10	40	55	97	110	105	134	75
1 健康づくりの推進	59.5	50.8	53.9	52.8	54.9	58.7	57.8	63.1	60.5
2 母子保健の推進	46.4	35.9	46.5	51.4	54.5	51.3	50.5	43.1	36.8
3 医療体制の整備	70.1	65.7	67.9	67.6	61.5	66.1	68.1	70.9	72.8
4 障がい者福祉の推進	47.2	41.8	47.9	44.4	46.7	46.1	46.8	49.8	46.8
5 介護・高齢者福祉の推進	53.5	41.8	47.9	49.3	50.0	49.6	49.7	56.1	63.1
6 子育て支援の推進	48.2	47.8	47.2	49.3	52.0	54.5	49.0	44.7	44.5
7 発達支援の推進	43.2	38.9	45.2	47.9	50.0	45.4	44.9	40.4	38.5
8 市民福祉の推進	42.8	44.8	48.5	49.3	44.6	44.7	44.6	40.0	39.5
9 地域福祉の推進	39.6	41.8	43.2	45.1	37.3	39.1	39.1	40.0	42.8
10 保育の充実	45.0	62.7	47.9	57.0	53.7	50.3	48.6	37.5	35.8
11 学校教育の充実	43.3	47.8	46.5	50.0	50.0	47.8	48.6	36.5	38.5
12 青少年の健全育成	44.1	59.7	49.9	52.8	48.3	46.8	46.4	38.2	40.5
13 生涯学習の推進	44.4	62.7	47.2	49.3	50.4	46.4	46.4	40.4	39.8
14 文化・芸術の振興	51.4	59.7	61.2	60.5	56.1	55.5	48.3	46.5	43.8
15 スポーツ活動の推進	47.3	62.7	49.9	50.0	50.4	48.2	50.1	42.9	46.2
16 環境保全	65.0	56.8	63.9	62.6	64.8	63.6	64.4	62.5	66.1
17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	60.4	56.8	53.9	55.6	58.2	55.2	60.0	62.7	64.1
18 特産品などの発展と創造	42.2	38.9	43.2	36.7	40.1	42.6	44.2	43.9	45.2
19 労働環境の整備	42.0	41.8	43.9	42.3	38.5	46.1	43.5	41.6	43.8
20 商業の振興	31.7	32.9	29.9	31.8	29.0	32.0	30.2	34.9	39.8
21 工業の振興	42.6	53.8	44.5	39.5	43.4	43.3	46.4	41.6	42.8
22 市街地の整備	26.8	38.9	27.9	27.6	25.3	24.3	22.5	32.2	34.8
23 農林業の振興	49.7	59.7	49.2	53.5	54.9	57.0	47.9	44.7	46.2
24 観光の振興	31.3	32.9	28.5	21.9	24.1	29.2	34.6	37.5	41.2
25 里山の整備	58.9	53.8	65.2	59.8	57.4	57.7	58.9	57.2	56.5
26 住宅地の整備	55.9	59.7	63.9	56.3	59.8	53.4	57.8	52.9	50.8
27 良好な景観の形成	54.7	44.8	59.9	56.3	60.6	54.8	53.8	51.4	51.5
28 公園の整備	51.8	41.8	55.9	47.9	47.9	53.8	48.3	53.5	53.5
29 河川の整備	53.5	62.7	58.5	64.1	54.5	52.4	50.8	49.8	52.5
30 生活道路の整備	51.4	59.7	55.2	52.1	47.5	45.7	50.8	53.3	53.2
31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	48.2	62.7	47.9	49.3	50.0	47.1	42.7	50.0	48.8
32 下水道の整備	68.5	68.7	65.9	63.4	65.6	62.6	65.9	70.7	69.1
33 上水道の安全供給	73.6	65.7	68.5	69.0	71.7	65.7	75.8	72.7	75.8
34 人権意識の高揚	52.9	44.8	52.5	48.6	50.8	51.7	53.4	54.7	54.2
35 男女共同参画の推進	50.8	50.8	47.2	51.4	50.8	51.7	48.6	50.4	53.8
36 ワークライフバランスの推進	50.0	47.8	46.5	44.4	48.7	53.8	52.7	52.0	46.5
37 多文化共生の推進	54.2	47.8	65.2	57.7	53.7	56.2	53.0	52.1	48.8
38 公共交通の推進	38.5	53.8	33.2	37.4	34.8	32.4	39.8	43.3	45.5
39 防災対策	46.0	41.8	43.9	39.5	46.3	46.1	44.9	48.4	49.5
40 消防・救急体制の整備	69.5	53.8	59.9	63.4	68.0	71.7	67.4	70.4	68.8
41 防犯体制の整備	63.5	62.7	61.9	60.5	60.6	64.7	64.8	63.3	59.1
42 交通安全の推進	56.7	41.8	53.9	51.4	54.9	58.4	56.4	57.6	57.8
43 DX(デジタル技術による改革)の推進	52.5	56.8	49.2	62.6	54.1	56.2	54.5	49.0	47.2
44 市の情報の発信	61.4	50.8	55.2	52.8	57.0	64.0	64.1	62.3	61.5
45 市民の自治意識の高揚	47.8	47.8	43.2	47.9	45.5	49.2	46.4	49.0	50.8
46 市の運営への市民意見の反映	41.3	35.9	38.5	38.8	38.5	35.2	39.8	47.8	47.2
47 市民と市で協働のまちづくり	42.8	35.9	41.9	45.1	42.2	39.8	38.3	48.2	44.8
48 健全な財政運営	43.3	41.8	41.2	38.8	43.4	39.8	42.0	50.0	43.5
49 周辺市町村との連携	44.7	38.9	39.9	43.0	47.1	42.2	46.1	47.8	45.2

	… 各年代で満足度偏差値が最も高い項目
	… 各年代で満足度偏差値が55以上の項目
	… 各年代で満足度偏差値が45未満の項目
	… 各年代で満足度偏差値が最も低い項目

Ⅲ. アンケートの分析

重要度（年代別）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	627	10	40	55	97	110	105	134	75
1 健康づくりの推進	64.9	49.7	51.5	62.6	61.2	57.3	65.7	65.8	73.6
2 母子保健の推進	48.6	53.4	54.5	61.3	54.5	46.7	50.1	38.9	48.2
3 医療体制の整備	72.1	60.9	70.4	72.3	68.8	68.4	67.5	71.9	69.9
4 障がい者福祉の推進	50.2	60.9	50.5	49.1	48.5	51.8	47.8	51.2	47.8
5 介護・高齢者福祉の推進	68.4	64.6	51.5	52.4	60.0	68.8	70.3	73.9	69.4
6 子育て支援の推進	55.6	64.6	60.4	71.0	61.6	52.2	53.7	48.7	47.3
7 発達支援の推進	49.8	64.6	53.5	59.4	54.5	50.0	47.3	43.2	46.9
8 市民福祉の推進	49.2	64.6	49.5	42.1	52.3	45.2	53.3	48.7	49.2
9 地域福祉の推進	32.4	46.0	30.6	37.0	34.2	33.4	25.3	36.9	37.2
10 保育の充実	37.3	57.1	40.6	52.4	37.1	38.2	40.0	34.6	34.0
11 学校教育の充実	43.3	60.9	49.5	54.9	49.8	45.2	44.6	36.6	36.7
12 青少年の健全育成	40.8	53.4	37.6	49.8	43.5	42.2	43.6	38.7	37.7
13 生涯学習の推進	41.2	46.0	47.5	47.2	43.5	45.9	42.3	36.9	38.6
14 文化・芸術の振興	37.0	42.2	46.5	36.3	35.0	35.6	39.1	40.7	37.7
15 スポーツ活動の推進	30.2	46.0	35.6	28.6	26.5	26.1	34.9	35.4	36.7
16 環境保全	60.1	49.7	61.4	49.8	62.9	62.9	52.8	61.1	60.2
17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	59.4	53.4	51.5	49.1	60.4	57.7	60.2	62.1	59.8
18 特産品などの発展と創造	40.2	42.2	36.6	37.0	43.5	40.4	35.8	46.5	40.4
19 労働環境の整備	52.1	53.4	51.5	51.7	57.0	58.8	43.6	50.0	50.1
20 商業の振興	49.5	38.5	54.5	48.5	52.8	47.8	49.6	52.2	43.6
21 工業の振興	43.7	19.9	29.6	38.2	44.3	51.1	46.4	48.2	41.3
22 市街地の整備	48.0	53.4	56.5	47.2	51.5	49.2	42.3	47.0	48.2
23 農林業の振興	40.4	38.5	38.6	34.4	42.6	44.1	42.7	40.7	43.6
24 観光の振興	42.3	38.5	41.6	40.8	39.2	41.5	43.2	46.7	45.5
25 里山の整備	46.2	31.1	48.5	39.5	41.3	43.0	50.5	51.2	50.5
26 住宅地の整備	50.2	42.2	54.5	49.1	47.7	47.4	50.1	50.2	56.5
27 良好な景観の形成	46.8	49.7	44.5	41.4	44.7	46.7	46.9	48.7	52.8
28 公園の整備	52.3	49.7	48.5	57.5	53.2	44.8	51.5	54.0	55.6
29 河川の整備	43.2	46.0	52.5	45.3	38.0	39.3	44.6	44.4	49.6
30 生活道路の整備	62.2	60.9	60.4	62.0	62.1	61.0	62.9	60.3	58.8
31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	54.5	57.1	49.5	58.1	49.8	51.8	59.3	54.3	54.7
32 下水道の整備	61.0	57.1	62.4	53.6	58.7	56.6	56.5	64.1	64.8
33 上水道の安全供給	67.9	46.0	65.4	64.6	65.9	61.0	67.5	67.1	74.0
34 人権意識の高揚	47.9	49.7	49.5	45.3	43.0	51.4	46.9	47.0	54.2
35 男女共同参画の推進	44.5	49.7	49.5	46.6	42.6	45.2	43.6	43.4	48.2
36 ワークライフバランスの推進	45.3	42.2	57.5	56.2	49.8	48.5	37.7	41.2	42.3
37 多文化共生の推進	37.9	57.1	42.6	42.7	36.3	38.2	41.4	35.6	41.3
38 公共交通の推進	58.3	46.0	66.4	53.0	60.0	63.6	62.0	53.0	51.5
39 防災対策	64.2	53.4	61.4	60.7	67.1	63.2	64.8	63.1	58.4
40 消防・救急体制の整備	61.9	57.1	58.5	59.4	57.0	66.2	56.0	63.8	59.8
41 防犯体制の整備	66.4	68.3	69.4	65.2	62.1	71.3	65.7	62.6	59.8
42 交通安全の推進	59.4	64.6	56.5	59.4	59.1	62.9	57.4	57.8	54.2
43 DX(デジタル技術による改革)の推進	43.7	49.7	47.5	52.4	47.3	50.7	42.3	39.4	36.7
44 市の情報の発信	44.7	34.8	34.6	38.9	40.5	44.5	47.8	51.5	48.2
45 市民の自治意識の高揚	36.1	34.8	28.6	31.8	33.3	36.0	35.4	45.0	41.3
46 市の運営への市民意見の反映	54.3	49.7	52.5	50.4	57.0	53.7	59.7	49.7	56.1
47 市民と市で協働のまちづくり	48.8	46.0	45.5	44.0	50.2	47.8	56.5	49.0	46.9
48 健全な行財政運営	52.1	42.2	52.5	55.6	54.5	52.2	55.6	50.5	45.9
49 周辺市町村との連携	43.6	42.2	39.6	44.0	43.9	42.6	45.5	46.5	44.1

	… 各年代で重要度偏差値が最も高い項目
	… 各年代で重要度偏差値が55以上の項目
	… 各年代で重要度偏差値が45未満の項目
	… 各年代で重要度偏差値が最も低い項目

Ⅲ. アンケートの分析

改善度指数（年代別）

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	627	10	40	55	97	110	105	134	75
1 健康づくりの推進	2.5	-0.6	-1.1	4.7	2.9	-0.6	3.6	1.2	6.0
2 母子保健の推進	1.0	9.5	5.2	4.8	0.0	-2.7	-0.2	-1.9	5.5
3 医療体制の整備	0.9	-2.2	1.1	2.1	3.3	1.0	-0.3	0.4	-1.3
4 障がい者福祉の推進	1.5	12.4	1.4	2.3	0.8	3.4	0.4	0.8	0.4
5 介護・高齢者福祉の推進	7.1	13.8	2.3	1.7	5.0	9.6	10.3	8.4	2.8
6 子育て支援の推進	4.1	8.8	7.2	10.9	4.6	-1.1	2.6	1.9	1.3
7 発達支援の推進	3.3	16.8	5.3	6.2	2.2	2.3	1.1	1.3	3.9
8 市民福祉の推進	3.1	11.1	0.5	-3.5	4.5	0.2	5.4	4.2	4.7
9 地域福祉の推進	-3.3	1.9	-5.9	-3.8	-1.4	-2.6	-6.3	-1.4	-2.6
10 保育の充実	-3.5	-2.5	-3.5	-2.2	-9.1	-6.1	-4.2	-1.3	-0.8
11 学校教育の充実	0.0	7.0	1.4	2.5	-0.1	-1.2	-1.9	0.1	-0.8
12 青少年の健全育成	-1.5	-2.9	-6.1	-1.5	-2.3	-2.1	-1.3	0.2	-1.3
13 生涯学習の推進	-1.5	-9.3	0.1	-1.0	-3.5	-0.2	-1.9	-1.6	-0.6
14 文化・芸術の振興	-7.4	-11.6	-8.1	-15.9	-12.1	-11.3	-4.4	-2.7	-2.8
15 スポーツ活動の推進	-8.3	-9.3	-7.1	-10.7	-12.0	-10.9	-7.6	-3.5	-4.4
16 環境保全	-2.2	-3.6	-1.1	-6.5	-0.8	-0.3	-5.5	-0.7	-2.7
17 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	-0.4	-1.5	-1.1	-3.4	1.0	1.1	0.1	-0.3	-2.0
18 特産品などの発展と創造	-0.9	1.5	-3.0	0.1	1.5	-1.0	-3.9	1.2	-2.2
19 労働環境の整備	5.5	6.7	4.1	5.0	11.4	7.4	0.1	4.2	3.1
20 商業の振興	8.8	2.5	13.2	8.2	12.3	7.6	9.6	9.1	1.7
21 工業の振興	0.5	-17.6	-7.0	-0.6	0.4	4.1	0.0	3.2	-0.7
22 市街地の整備	10.4	8.0	15.7	9.5	13.3	12.4	9.3	7.1	6.5
23 農林業の振興	-4.6	-14.3	-5.2	-10.3	-7.7	-8.7	-2.4	-1.8	-1.1
24 観光の振興	5.1	2.5	6.0	8.8	7.0	5.7	3.9	4.4	2.0
25 里山の整備	-7.3	-12.1	-8.6	-14.1	-10.8	-10.1	-4.1	-2.9	-2.9
26 住宅地の整備	-2.8	-11.6	-4.4	-3.7	-6.5	-3.9	-3.9	-1.3	2.8
27 良好な景観の形成	-5.0	2.4	-9.3	-9.6	-9.4	-5.2	-4.6	-1.8	0.6
28 公園の整備	0.2	3.9	-4.0	5.2	3.3	-5.8	2.1	0.2	1.0
29 河川の整備	-6.2	-9.3	-2.8	-10.5	-9.3	-7.0	-3.3	-2.7	-1.5
30 生活道路の整備	5.3	0.5	2.4	4.7	7.8	8.7	5.9	3.3	2.6
31 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	3.6	-2.5	0.8	4.5	-0.1	2.9	10.9	2.1	3.2
32 下水道の整備	-3.4	-5.4	-1.6	-4.6	-3.1	-2.7	-4.4	-3.0	-1.9
33 上水道の安全供給	-2.6	-10.7	-1.4	-2.0	-2.6	-2.1	-3.8	-2.5	-0.8
34 人権意識の高揚	-3.2	2.4	-1.6	-1.6	-4.0	-0.1	-4.5	-4.8	0.0
35 男女共同参画の推進	-3.3	-0.6	1.1	-2.8	-4.2	-3.6	-2.4	-3.5	-3.3
36 ワークライフバランスの推進	-2.4	-2.6	6.4	8.1	0.5	-3.0	-8.0	-5.8	-1.9
37 多文化共生の推進	-9.1	5.2	-13.4	-10.4	-9.5	-10.8	-6.6	-8.6	-3.6
38 公共交通の推進	12.7	-5.4	23.3	8.4	15.8	20.4	14.9	5.6	3.3
39 防災対策	9.9	6.7	10.5	14.9	11.2	9.4	11.1	7.6	4.5
40 消防・救急体制の整備	-3.5	1.5	-0.6	-1.8	-5.1	-2.5	-5.3	-3.0	-4.1
41 防犯体制の整備	1.3	2.5	3.4	2.1	0.6	3.0	0.4	-0.3	0.3
42 交通安全の推進	1.2	13.8	1.2	3.9	1.9	2.0	0.5	0.1	-1.6
43 DX(デジタル技術による改革)の推進	-5.0	-3.6	-0.8	-4.9	-4.3	-2.7	-7.5	-4.7	-5.0
44 市の情報の発信	-9.8	-8.1	-11.5	-7.6	-10.6	-11.1	-8.5	-5.3	-6.9
45 市民の自治意識の高揚	-5.6	-6.3	-6.8	-7.8	-5.7	-6.5	-5.2	-1.9	-4.9
46 市の運営への市民意見の反映	7.7	6.9	7.5	5.9	11.4	10.0	13.9	0.9	5.2
47 市民と市で協働のまちづくり	2.9	4.7	1.7	-0.5	4.1	3.8	11.0	0.3	0.9
48 健全な行財政運営	4.8	0.2	6.2	9.9	7.0	6.6	8.7	0.2	1.1
49 周辺市町村との連携	-0.5	1.5	-0.1	0.5	-1.5	0.2	-0.3	-0.6	-0.5

	… 各年代で改善度指数が最も高い項目
	… 各年代で改善度指数が10以上の項目（即改善）
	… 各年代で改善度指数が5以上の項目（要改善）

Ⅲ. アンケートの分析

④ その他

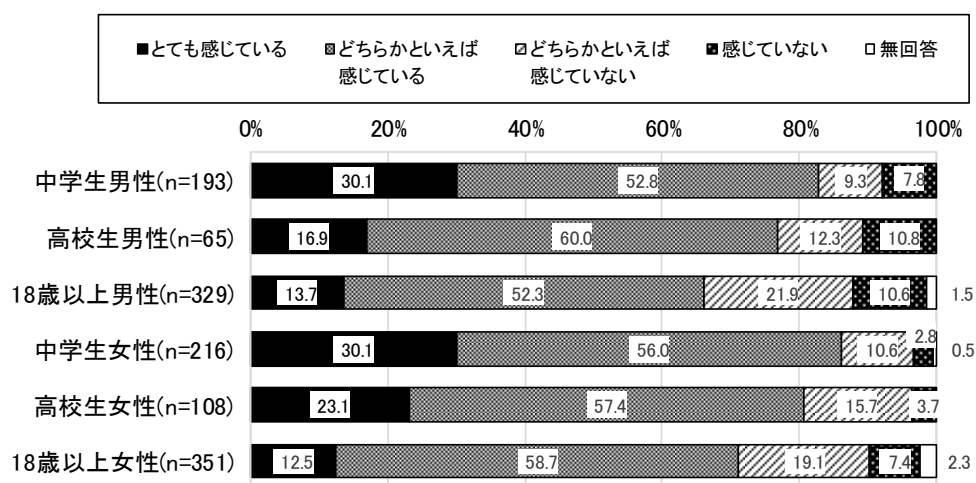
【市への愛着・誇り】

（未来のまちづくりアンケート（中学生）、若者の「生活とまちに対する意識」アンケート、令和5年度美濃加茂市市民満足度調査）

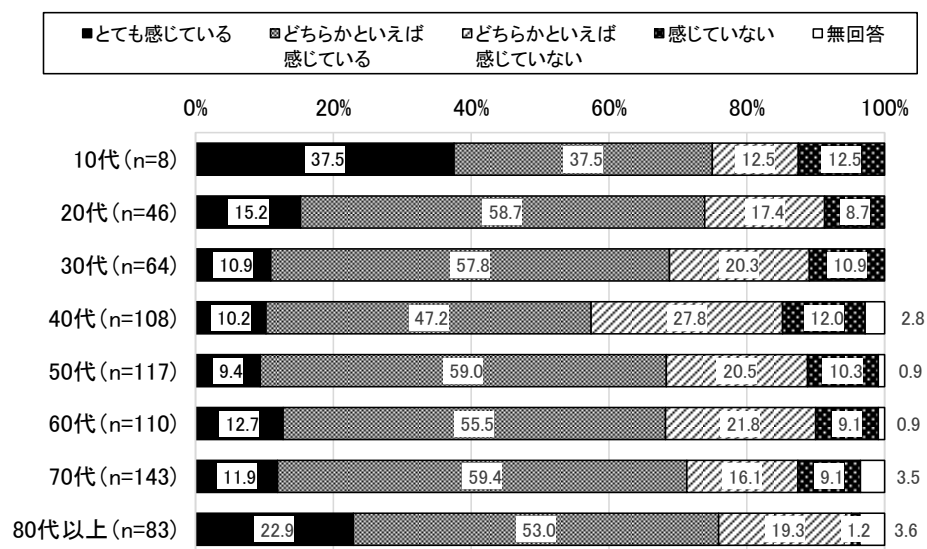
全体的に美濃加茂市への誇りや愛着は強く、中高生でも8割以上がそうした気持ちを持っていることがわかる。中学生から40代にかけて「愛着を感じている」の回答割合は減少傾向にある。50代以上では同割合は増加傾向にある。

高校生アンケートでは、愛着を感じる理由として「自然環境」「生活のしやすさ」「地元への愛着」などが挙げられている。

あなたは、美濃加茂市に誇りや愛着を感じていますか



あなたは、美濃加茂市に誇りや愛着を感じていますか



Ⅲ. アンケートの分析

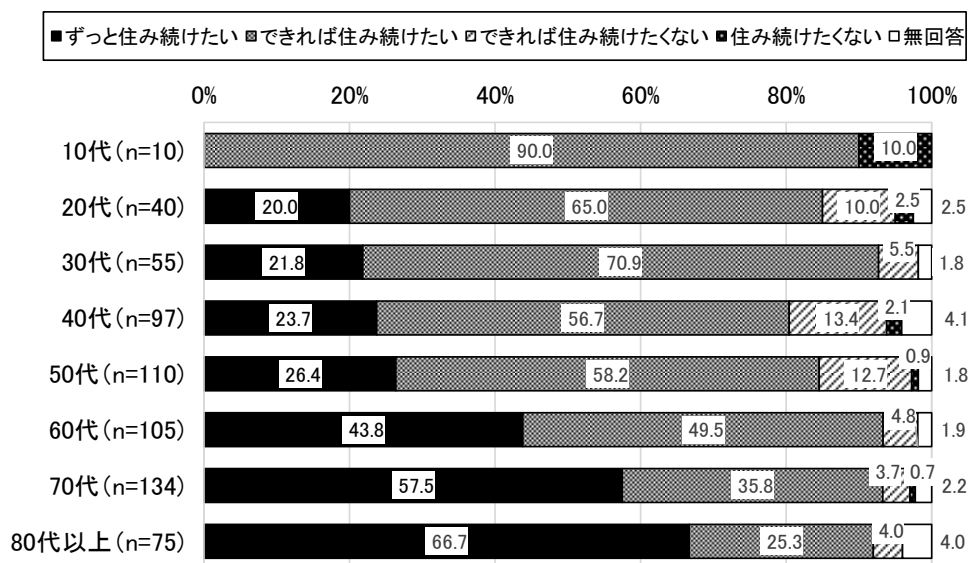
【定住意向】

(未来のまちづくりアンケート、未来のまちづくりアンケート(中学生)、若者の「生活とまちに対する意識」アンケート)

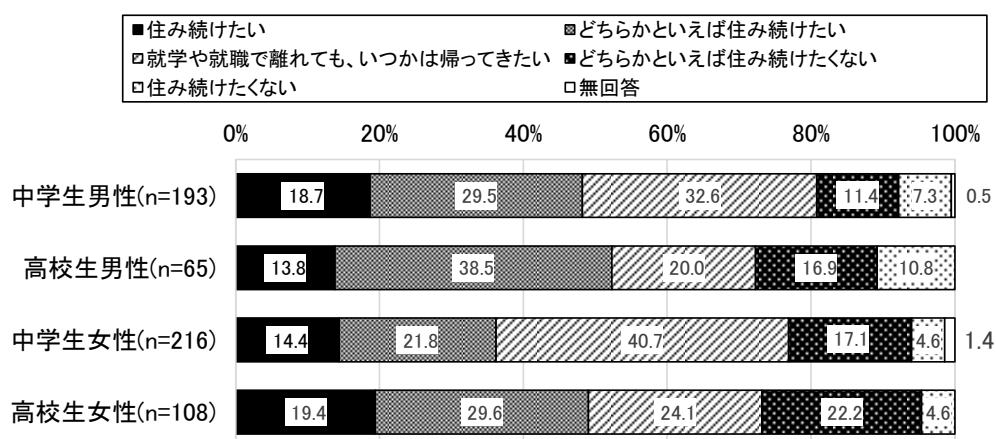
18歳以上市民では全年代を通して、美濃加茂市に対する定住意向は8割程度と比較的高いことがうかがえる。年代が上がるにつれ「ずっと住み続けたい」が増加傾向にあり、特に中高年層での増加は顕著である。

中高生については定住意向が二分される傾向にある。中学生は41.7%、高校生は49.7%が住み続けたいと考えている一方で、中学生の36.9%、高校生の22.1%が「就職で離れてもいつかは戻りたい」と回答しており、一旦は市外に出る意向を示している。

あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいと思いますか



あなたは、今後も美濃加茂市に住み続けたいと思いますか



Ⅲ. アンケートの分析

【市の印象・魅力】

(未来のまちづくりアンケート (どなたでも))

市の印象や魅力として、「自然環境の豊かさ」「災害リスクの低さ」「買い物や飲食のしやすさ」が上位に挙げられている。

あなたが感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか

	全体	性別			年代別							
		男性	女性	その他	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	1,172	514	647	7	44	84	165	177	235	240	195	28
災害が少ない	49.2	52.0	47.1	42.9	38.6	31.0	37.6	42.4	48.9	54.8	63.6	85.7
自然に恵まれている	43.9	40.8	45.8	85.7	50.0	36.9	47.3	46.9	35.7	49.0	43.9	46.4
買い物、飲食がしやすい	30.2	26.7	33.0	28.6	27.3	38.1	29.1	27.7	31.5	28.2	31.3	32.1
交通の便が良い	25.9	30.8	22.2	14.3	13.6	27.4	24.8	31.1	25.1	24.9	24.2	39.3
治安がよい	22.2	21.7	22.8	0.0	20.5	16.7	13.3	20.3	22.6	24.5	30.3	25.0
水や空気、食べ物が美味しい	12.1	11.0	12.8	28.6	20.5	7.1	7.3	7.9	12.3	12.9	18.2	14.3
まちなみや風景が美しい	12.0	13.5	10.8	14.3	25.0	11.9	13.3	9.6	11.1	13.7	10.1	3.6
祭りやイベントが豊富で楽しめる	7.3	6.0	8.0	42.9	36.4	19.0	9.1	7.3	5.1	3.3	2.5	0.0
子育てしやすい	6.6	3.9	8.6	14.3	0.0	21.4	13.9	9.0	5.1	2.5	1.0	0.0
自分の趣味がしやすい	5.6	8.1	3.5	14.3	6.8	1.2	3.6	2.8	5.5	7.5	9.6	3.6
多文化共生が進んでいる	5.5	3.9	6.8	0.0	11.4	9.5	10.9	6.2	4.3	3.7	1.5	0.0
仕事・勉強がしやすい	2.9	3.3	2.6	0.0	6.8	4.8	1.2	2.8	3.8	2.1	2.0	7.1
保育・教育環境が良い	2.0	2.7	1.4	0.0	2.3	1.2	1.8	1.1	1.7	2.5	3.0	0.0
その他	4.6	6.2	3.4	0.0	2.3	4.8	6.1	3.4	5.5	4.1	5.1	3.6
無回答	1.1	1.4	0.9	0.0	0.0	1.2	1.2	2.8	0.9	0.4	1.0	0.0

※ 1位 2位 3位 **太字** … 全体+10ポイント超

Ⅲ. アンケートの分析

【まちづくりへの要望】

(未来のまちづくりアンケート (どなたでも))

まちづくりへの主な要望は、「生活インフラ(住宅、道路、公共交通)の整備」「医療・福祉の充実」「防災・防犯体制の強化」といった生活環境の改善を求める声が多数を占めている。

特に若年層の自由意見からは「遊び場の増設」「バス本数の増加」など、娯楽施設や交通利便性の向上を望む意見が目立つ。

どのようなまち(美濃加茂市)であれば、住みたい、住み続けたいと思いますか(3つまで)

	全体	性別			年代別							
		男性	女性	その他	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
回答数(n)	1,172	514	647	7	44	84	165	177	235	240	195	28
住宅や道路、公共交通が整備された 便利で快適なまち	45.7	45.1	46.1	57.1	36.4	33.3	40.6	45.8	49.8	49.0	48.5	53.6
医療や福祉の充実したまち	44.6	40.6	47.8	42.9	18.2	32.1	24.2	39.5	48.9	56.4	56.6	53.6
防災・防犯・交通安全などの体制が整った 安心して暮らせるまち	41.0	40.2	41.8	14.3	31.8	31.0	36.4	37.3	41.3	47.7	43.9	57.1
買い物や飲食できる場所がたくさんあるまち	29.9	28.8	30.9	28.6	38.6	41.7	30.9	26.6	35.7	27.4	21.7	32.1
子どもからお年寄りまで、 みんなが健康に暮らしているまち	24.3	23.4	25.0	28.6	18.2	21.4	21.2	19.8	25.5	29.0	25.3	28.6
安心して子育てができるまち	19.2	15.7	22.2	0.0	4.5	50.0	52.1	28.8	8.5	6.2	4.0	3.6
農業や自然環境を大切に守り育てるまち	17.0	17.4	16.7	14.3	25.0	8.3	15.2	15.8	13.2	15.4	26.8	21.4
美しい風景や景色が誇れるまち	15.8	18.4	13.7	14.3	27.3	15.5	13.9	13.6	12.3	17.8	19.2	7.1
働くところがたくさんあるまち	10.3	10.4	9.9	42.9	9.1	9.5	13.9	13.0	14.0	6.6	6.1	7.1
教育環境が充実したまち	8.0	7.7	8.3	0.0	13.6	9.5	14.5	12.4	7.2	3.3	4.0	0.0
スポーツや文化活動が活発なまち	6.8	8.7	5.2	14.3	27.3	10.7	3.6	5.6	6.4	5.8	5.6	10.7
様々な行政サービスが インターネットから利用できるまち	5.7	6.2	5.1	28.6	4.5	11.9	6.1	7.3	6.8	3.7	3.0	3.6
多文化共生(異なる文化を持つ人々が 互いに仲良く暮らす)を推進するまち	3.8	4.6	3.1	0.0	4.5	6.0	0.6	5.6	2.1	5.0	5.1	0.0
たくさんの観光客が訪れるまち	2.5	3.3	1.9	0.0	9.1	6.0	0.6	2.3	2.6	2.1	2.0	0.0
その他	2.8	4.3	1.7	0.0	0.0	2.4	3.0	4.5	3.8	1.7	2.5	0.0

※ 1位 2位 3位 **太字** … 全体+10ポイント超

Ⅲ. アンケートの分析

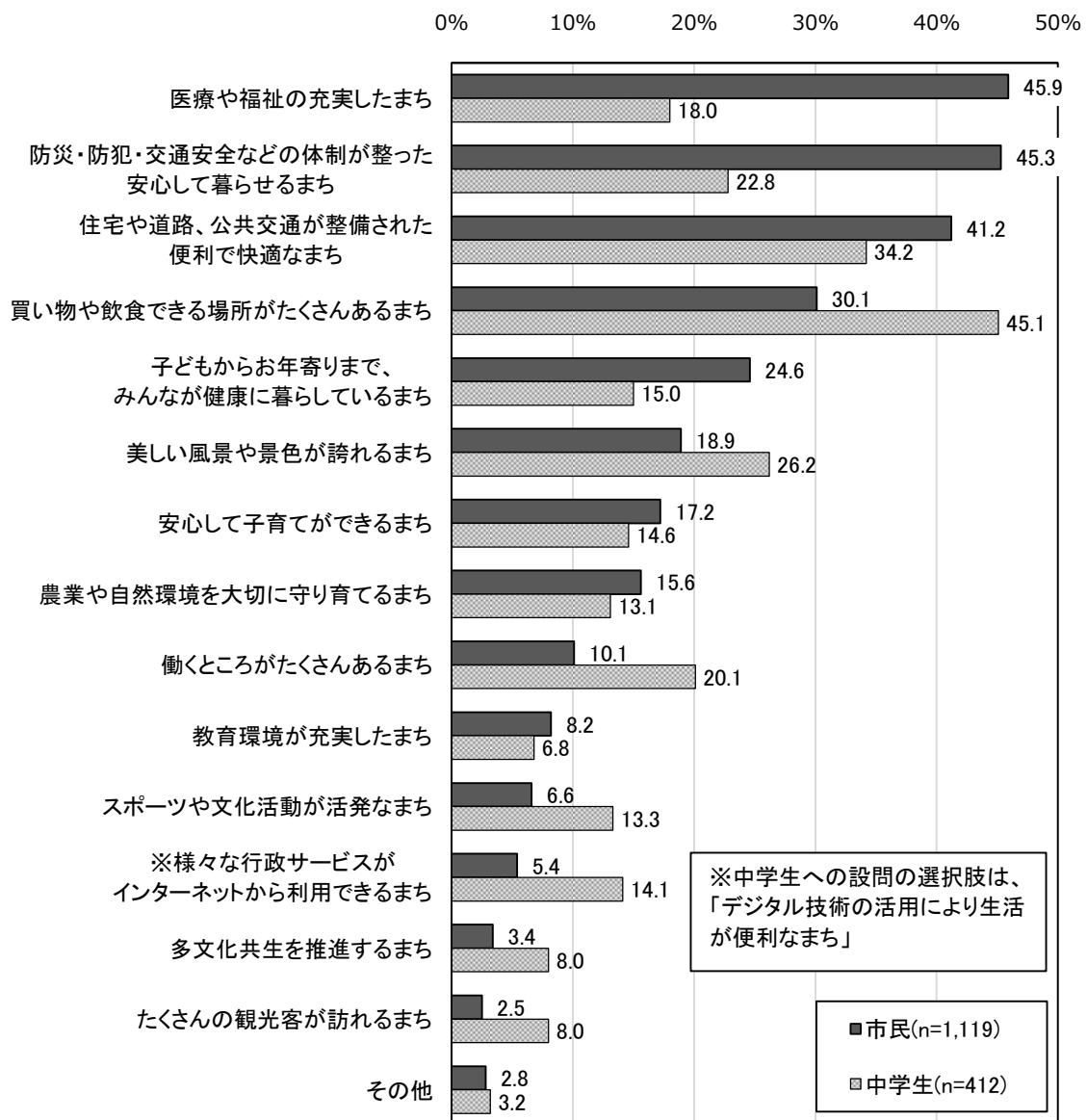
【まちづくりへの要望－市民（18歳以上）と中学生の比較】

（未来のまちづくりアンケート（中学生）、未来のまちづくりアンケート（どなたでも））

上記にみられるとおり、市民（18歳以上）では「医療・福祉の充実」「防災・防犯対策」といった安心して暮らせる環境を重視する傾向にある。

中学生へのアンケートでは「買い物や飲食できる場所」「美しい景観」「働く場所の多さ」「デジタル化の進展」などを求める結果となった。また、高校生のコメントでは「遊ぶ場所や娯楽施設の増設」「公共交通機関の整備」を求める意見がみられた。

どのようなまち（美濃加茂市）であれば、好きになる、また住み続けたいと思いますか（3つまで）



III. アンケートの分析

【市の魅力・まちづくりへの要望-市民と市外在住者の比較】

(未来のまちづくりアンケート (どなたでも))

市内在住者は災害リスクの低さや自然環境の豊かさといった生活環境面を重視する傾向があった一方、市外在住者は、子育て環境や多文化共生、祭りやイベントによる活気のある点を魅力であると感じる傾向にある。

まちづくりについては、市内在住者は医療・福祉の充実を重視する傾向にある。一方、市外在住者は多文化共生の推進など魅力をさらに磨く環境づくりを望んでいる。

市外在住者との比較

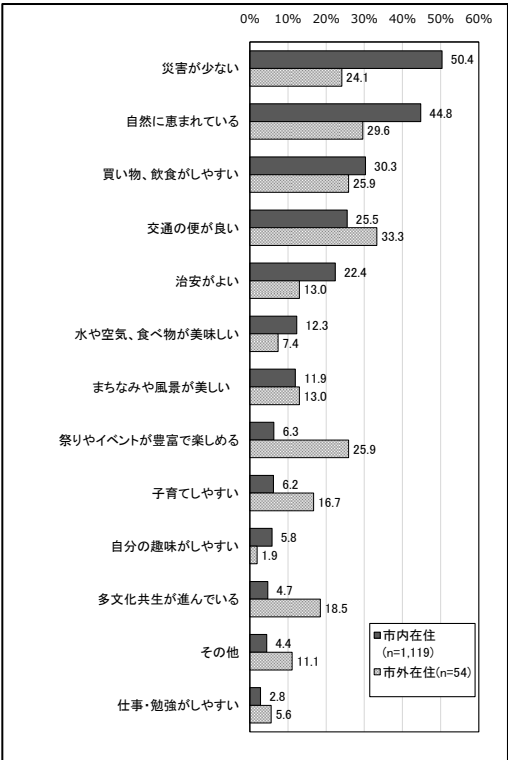
①美濃加茂市との関係

	件数	割合(%)
在勤	27	50.0
在学	3	5.6
実家がある、親族がいる	10	18.5
以前住んでいた	4	7.4
市内施設の利用者	4	7.4
近く市内に転居予定	2	3.7
その他	4	7.4
全体	54	100

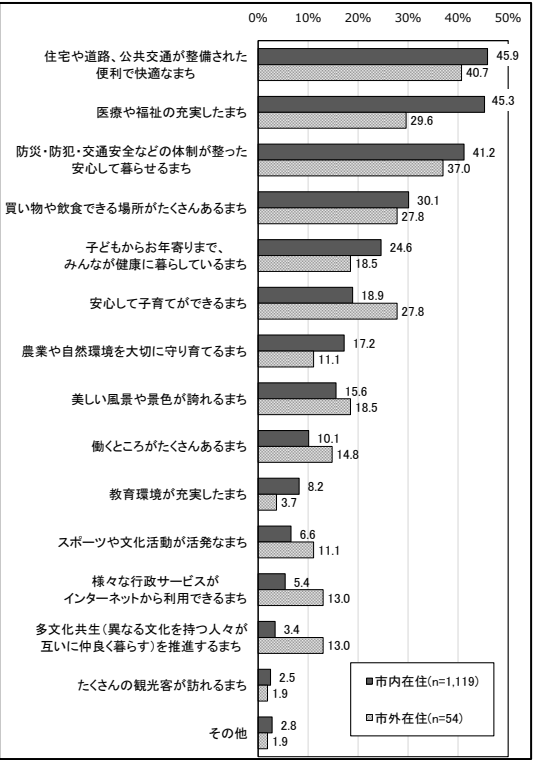
②居住地

	件数	割合(%)
加茂郡の町村内	11.0	20.4
可児市、関市、各務原市	21.0	38.9
岐阜市、名古屋市	6.0	11.1
岐阜市・加茂郡・可児市・関市・各務原市を除く県内の他市町村	10.0	18.5
その他	6.0	11.1
全体	54	100

③あなたが感じる美濃加茂市の印象や魅力は何ですか(3つまで)



④どのようなまち(美濃加茂市)であれば、好きになる、また住みたいと思いますか(3つまで)



Ⅲ. アンケートの分析

【まとめ】

世代や居住意向によってまちづくりへのニーズは異なるが、総じて生活利便性の向上を望む声が最も多い。加えて、中学生などの若年層は買い物や飲食を楽しめる魅力的なまちづくりや自然環境の保全、働く場所の充実やデジタル技術の活用推進なども重視している。

美濃加茂市民は市の魅力を評価しつつも、特に若年層を中心に生活環境の更なる充実を求める傾向が見て取れる。市への愛着と定住意向を維持しながら、生活インフラ整備や商業・娯楽施設の充実などを進めることが、まちづくりの課題となっている。

この資料は美濃加茂市から委託を受けて株式会社 OKB 総研が作成したものです。